

## 2. 縄文土器観察表

## 2 区・土器觀察表

No.	区	遺構	遺構 No.	図版 番号	器種	部位	胎土砂 粒径	黒雲 母	長石・ 石英	その他	焼成	硬度	色調	色調備考	文様要素	施文具	時期 型式	備考
1	2	SI	2	1	浅鉢	口縁	～ 3.0mm	少	ふつう	結晶片岩	やや良	やや軟	にぶい橙	7.5YR7/3				
2	2	SI	2	2	深鉢	口縁	～5.0mm	少	ふつう		やや良	やや硬	にぶい褐	7.5YR5/3	沈線・縄文	縄文LR縦位	加曽利E I	
3	2	SI	2	3	深鉢	口縁	～7.0mm		ふつう		ふつう	やや軟	にぶい褐	7.5YR5/3	隆帯・沈線	篋状工具	加曽利E II	
4	2	SI	2	4	深鉢	胴上	～ 2.0mm		ふつう		やや良	やや硬	にぶい橙	7.5YR7/3	隆帯・沈線・縄文	縄文RL横位	加曽利E II	
5	2	SI	2	5	深鉢	口縁	～ 2.0mm		ふつう	結晶片岩	良	硬	にぶい橙	5YR7/3	隆帯・沈線	棒状工具	加曽利E I（異系統か？）	
6	2	SI	2	6	深鉢	胴上	～1.0mm	少	少		やや良	やや硬	にぶい橙	7.5YR7/4	隆帯・沈線・燃糸	燃糸R縦位・棒状工具	加曽利E I	
7	2	SI	2	7	深鉢	口縁	～1.0mm		少		やや良	やや硬	にぶい橙	7.5YR7/4	隆帯・沈線	棒状工具	加曽利E II	
8	2	SI	2	8	深鉢	口縁	～ 2.0mm	少	ふつう		やや良	やや硬	にぶい橙	5YR6/4	刻みのある隆帯	篋状工具	加曽利E I	
9	2	SI	2	9	深鉢	底	～ 2.0mm	少	ふつう		ふつう	やや硬	にぶい橙	5YR7/3			不明	
10	2	SI	2	10	浅鉢	底	～ 3.0mm		やや多い	結晶片岩	良	やや硬	にぶい橙	5YR6/4			不明	
11	2	SI	2	11	深鉢	口縁	～1.0mm	少	少		やや良	やや硬	にぶい橙	7.5YR7/3	隆帯・沈線・縄文	縄文LR縦位	不明	
12	2	SI	2	12	深鉢	把手	～1.0mm	少	ふつう		良	硬	にぶい赤褐	5YR5/3	隆帯・沈線	棒状工具	加曽利E I	
13	2	SI	2	13	深鉢	口縁	～ 2.0mm	少	少		良	硬	にぶい橙	7.5YR7/3	隆帯・沈線	棒状工具	（加曽利E II）	
14	2	SI	2	14	深鉢	把手	～4.0mm	少	多		良	やや硬	にぶい橙	7.5YR7/3	隆帯・沈線	棒状工具	加曽利E II	SI2-15と同一個体
15	2	SI	2	15	深鉢	把手	～ 2.0mm	少	多		良	やや硬	にぶい橙	7.5YR7/3	隆帯・沈線	棒状工具	加曽利E II	SI2-14と同一個体
16	2	SI	2	16	深鉢	胴上	～1.0mm		ふつう		やや良	やや硬	にぶい橙	5YR6/4	隆帯・沈線・燃糸	棒状工具・燃糸R縦位	加曽利E I（新）	
17	2	SI	2	17	深鉢	胴上	～ 2.0mm	少	少		やや良	やや硬	にぶい橙	7.5YR7/4	刻みのある隆帯・隆帯・沈線	篋状工具・丸棒	勝坂系	
18	2	SI	2	18	深鉢	胴	～1.0mm	少	少		やや良	やや硬	にぶい橙	7.5YR7/4	刻みのある隆帯・沈線	篋状工具・丸棒	勝坂系	
19	2	SI	2	19	深鉢	胴上	～ 2.0mm		ふつう		やや良	やや硬	にぶい橙	7.5YR7/3	縄文後沈線	丸棒・縄文RL縦位	加曽利E II	
20	2	SI	2	20	深鉢	口縁	～1.0mm		少		良	硬	灰褐	7.5YR6/2	細い沈線	棒状工具	加曽利E I	
21	2	SI	2	21	深鉢	胴	～5.0mm	少	ふつう		良	硬	にぶい橙	7.5YR7/4	縄文後隆帯・沈線	棒状工具・縄文LR横位	加曽利E II	
22	2	SI	2	22	深鉢	胴上	～ 2.0mm	少	ふつう		やや良	やや硬	にぶい橙	7.5YR7/4	隆帯・沈線	棒状工具	加曽利E II	
23	2	SI	2	23	深鉢	胴下	～ 2.0mm	少	やや少		良	硬	にぶい橙	7.5YR7/3	燃糸	燃糸L縦位	加曽利E I	
24	2	SI	3	1	深鉢	胴上	～4.0mm		少	結晶片岩	良	硬	にぶい赤褐	5YR5/4	押引・隆帯	棒状工具	阿玉台Ⅱ併行	
25	2	SI	3	2	深鉢	胴	～ 2.0mm	やや多	少		良	硬	にぶい橙	5YR6/4	隆帯指頭圧痕・沈線・隆帯に縄文	棒状工具・縄文RL縦位	勝坂Ⅲ	
26	2	SI	3	3	深鉢	胴	～ 2.0mm	少	多		やや良	やや硬	にぶい橙	7.5YR6/4	縄文後隆帯	縄文RL縦位	加曽利E I ～E II	網代痕有り
27	2	SI	3	4	深鉢	底	～ 3.0mm		ふつう	金雲母	良	硬	にぶい橙	5YR6/4			阿玉台Ⅰb	底部に繊維痕あり。底径8.5cm。

No.	区	遺構	遺構 No.	図版 番号	器種	部位	胎土砂 粒径	黒雲 母	長石・ 石英	その他	焼成	硬度	色調	色調備考	文様要素	施文具	時期 型式	備考
28	2	SI	3	5	深鉢	胴下 ～底	～ 2.0mm	やや 多	やや 多		良	やや 硬	にぶい橙	5YR6/4			阿玉台 I b	
29	2	SI	3	6	深鉢	口縁 ～胴	～4.0mm		ふつう		良	硬	にぶい橙	5YR6/4			阿玉台 I b	
30	2	SI	3	7	深鉢	口縁 ～胴	～4.0mm		ふつう	金雲母	良	硬	灰褐	5YR4/2	刺突	篋状工具	阿玉台 I b	
31	2	SI	3	8	深鉢	口縁	～ 2.0mm	少	少		良	硬	にぶい灰褐	7.5YR5/2	隆帯・沈線・刺突	角棒・丸棒	勝坂 I	
32	2	SI	3	9	深鉢	口縁	～ 2.0mm	少	少	金雲母	良	硬	にぶい橙	7.5YR6/4	隆帯		阿玉台 I b	
33	2	SI	3	10	深鉢	胴	～ 3.0mm		やや 少	結晶片岩	良	硬	にぶい橙	7.5YR6/4	押引・隆帯に圧痕	篋状工具	阿玉台 I b	
34	2	SI	3	11	深鉢	口縁	～5.0mm	少	少	チャート	良	硬	にぶい橙	7.5YR6/4	押引・沈線	篋状工具・丸棒	勝坂式 I	SI3-16と同一個体
35	2	SI	3	12	深鉢	胴	～5.0mm	少	ふつう	結晶片岩	良	硬	にぶい赤褐	5YR5/3	隆帯・沈線	棒状工具	阿玉台 I b	
36	2	SI	3	13	深鉢	口縁	～ 2.0mm	少	少		良	硬	にぶい赤褐	5YR5/3	隆帯・沈線・縄文	棒状工具・縄文RL縦位	加曽利E I	
37	2	SI	3	14	深鉢	口縁	～1.0mm		やや 多	結晶片岩	良	硬	灰褐	5YR5/2	隆帯・縄文	縄文RL斜位	不明	
38	2	SI	3	15	深鉢	口縁	～ 2.0mm	少	やや 少		良	硬	にぶい褐	7.5YR5/3	隆帯・押引	篋状工具	勝坂 I	
39	2	SI	3	16	深鉢	口縁	～1.0mm	少	少		良	硬	にぶい橙	7.5YR6/3	押引・沈線	棒状工具・篋状工具・丸棒	勝坂 I	SI3-11と同一個体
40	2	SI	3	17	深鉢	胴上	～ 2.0mm		やや 多	結晶片岩	やや良	やや 硬	灰褐	7.5YR6/2	隆帯・沈線・縄文	棒状工具・縄文RL縦位	加曽利E I	
41	2	SI	3	18	深鉢	胴	～5.0mm	少	少	結晶片岩	良	硬	にぶい橙	5YR6/3	押引	篋状工具・丸棒	勝坂 I	SI3-21と同一個体
42	2	SI	3	19	深鉢	口縁	～1.0mm	少	少	結晶片岩	良	硬	にぶい橙	5YR6/4	隆帯・沈線	丸棒	加曽利E I	
43	2	SI	3	20	深鉢	胴	～1.0mm	少	少		良	硬	にぶい橙	5YR6/3	隆帯・沈線	丸棒	勝坂Ⅲ	
44	2	SI	3	21	深鉢	胴	～3.0mm	少	少	結晶片岩	良	やや 硬	にぶい赤褐 色	5YR5/4	押引・隆帯	丸棒	勝坂 I	SI3-18と同一個体
45	2	SI	4	1	深鉢	口縁	～4.0mm	少	少	結晶片岩	良	硬	にぶい赤褐	5YR5/3			勝坂Ⅲ	
46	2	SI	4	2	深鉢	口縁	～1.0mm	少	やや 少		良	硬	にぶい褐	7.5YR6/3	沈線・縄文	丸棒・縄文LR縦位	不明	
47	2	SI	4	3	深鉢	口縁	～1.0mm	少	少		良	硬	にぶい褐	7.5YR5/3	縄文	縄文LR縦位	加曽利E I	
48	2	SI	4	4	深鉢	口縁	～ 3.0mm	少	やや 少	結晶片岩	良	やや 硬	灰褐	7.5YR6/2	隆帯に刺突・押引・隆帯	丸棒・篋状工具	勝坂系	
49	2	SI	4	5	深鉢	口縁	～1.0mm	少	ふつう		やや良	やや 軟	にぶい橙	7.5YR7/4	隆帯		加曽利E I	
50	2	SI	4	6	深鉢	口縁	～1.0mm	少	ふつう		やや良	やや 硬	にぶい橙	7.5YR7/4	隆帯・沈線・刺突	棒状工具	加曽利E I	
51	2	SI	4	7	深鉢	口縁	～ 2.0mm	少	ふつう	金雲母	良	硬	にぶい橙	7.5YR6/4	隆帯・押引	角棒	勝坂系	
52	2	SI	4	8	深鉢	口縁	～ 3.0mm	ふつう	ふつう		良	硬	にぶい橙	7.5YR6/3	隆帯・沈線・撚糸	丸棒・撚糸R縦位	加曽利E I	
53	2	SI	4	9	深鉢	胴	～ 2.0mm	ふつう	ふつう		やや良	やや 硬	灰褐	7.5YR5/2	撚糸	撚糸R縦位	加曽利E I	
54	2	SI	4	10	深鉢	胴	～ 2.0mm	少	やや 多		やや良	やや 硬	褐灰	7.5YR5/2	隆帯・縄文	縄文RL縦位	加曽利E I	
55	2	SI	4	11	深鉢	胴	～ 3.0mm	少	少	結晶片岩	良	硬	にぶい橙	7.5YR7/3	隆帯・沈線	ヘラ状工具	加曽利E I（曽利 系）	

No.	区	遺構	遺構 No.	図版 番号	器種	部位	胎土砂 粒径	黒雲 母	長石・ 石英	その他	焼成	硬度	色調	色調備考	文様要素	施文具	時期 型式	備考
56	2	SI	5	1	深鉢	胴	～ 2.0mm	少	ふつう		良	硬	にぶい橙	7.5YR6/3	隆帯・沈線	丸棒	加曽利E I	
58	2	SI	5	2	深鉢	胴	～1.0mm	少	やや多		やや良	やや硬	にぶい橙	5YR6/3	縄文	縄文RL縦位	勝坂系	
59	2	SI	5	3	深鉢	胴	～ 2.0mm	ふつう	ふつう		やや良	やや硬	にぶい橙	5YR6/4	縄文	縄文LR横位	勝坂系	図版左が下
60	2	SI	5	4	深鉢	胴	～ 2.0mm	やや少	やや少		やや良	やや硬	橙	7.5YR6/6	沈線	棒状工具	諸磯b	
61	2	SI	5	5	深鉢	胴	～ 3.0mm	やや少	やや少		やや良	やや硬	橙	7.5YR6/6	隆帯・沈線・縄文	丸棒・縄文LR横位	勝坂系	向き90° 違う。図版左が上
62	2	SI	5	6	深鉢	底	～4.0mm	ふつう	ふつう		やや良	やや硬	明赤褐	5YR5/6	隆帯・押引・縄文	条線	勝坂系	
63	2	SI	6	1	深鉢	口縁	～ 3.0mm	ふつう	やや多	結晶片岩	やや良	やや軟	明赤褐	5YR5/6			勝坂Ⅲ	
64	2	SI	6	2	深鉢	口縁	～ 2.0mm	やや少	ふつう	結晶片岩	やや良	やや硬	橙	5YR6/6	隆帯・押引・刺突・縄文	篋状工具・縄文RL縦位	勝坂Ⅲ	
65	2	SI	6	3	深鉢	口縁	～ 2.0mm	少	やや少		やや良	硬	橙	7.5YR6/6			勝坂Ⅲ	
66	2	SI	6	4	深鉢	胴	～ 3.0mm	ふつう	ふつう	結晶片岩	やや良	硬	橙	5YR6/6	隆帯・沈線	丸棒	加曽利E I（曽利系）	
67	2	SI	6	5	深鉢	口縁	～4.0mm	やや少	ふつう		ふつう	やや軟	にぶい赤褐	5YR5/4	隆帯・沈線・撚糸	丸棒・撚糸L縦位	加曽利E I	
68	2	SI	6	6	深鉢	口縁	～ 2.0mm	やや少	ふつう		ふつう	やや軟	褐	7.5YR4/6	沈線	棒状工具	加曽利E I	
69	2	SI	6	7	深鉢	胴	～ 3.0mm	やや少	ふつう		ふつう	やや軟	にぶい赤褐	5YR4/4	沈線	丸棒	加曽利E I	
70	2	SI	6	8	深鉢	胴下 ～底	～ 2.0mm	少	やや少	結晶片岩	良	硬	橙	7.5YR6/6			加曽利E I	
71	2	SI	8	1	深鉢	口縁	～ 3.0mm	少	やや少		やや良	やや硬	明赤褐	5YR5/8	沈線・縄文	丸棒・縄文LR縦位	加曽利E I	
72	2	SI	8	2	深鉢	口縁	～ 2.0mm	少	やや少		やや不良	軟	にぶい橙	7.5YR7/4	隆帯・縄文	縄文RL横位	加曽利EⅣ	
73	2	SI	8	3	深鉢	口縁	～ 3.0mm	やや少	やや少		やや良	やや硬	褐	7.5YR4/6	沈線	条線	加曽利EⅢ	
74	2	SI	8	4	深鉢	胴	～ 2.0mm	少	やや少	結晶片岩	ふつう	ふつう	明赤褐	5YR5/8	隆帯・縄文	縄文LR縦位	加曽利EⅡ	
75	2	SI	14	1	深鉢	口縁	～4.0mm	やや多	ふつう	金雲母	ふつう	ふつう	にぶい赤褐	5YR4/4	隆帯・押引	棒状工具	阿玉台Ⅰb	
76	2	SI	14	2	深鉢	口縁	～ 3.0mm	少	やや少		やや良	やや硬	橙	7.5YR7/6	隆帯		加曽利EⅢ	
77	2	SI	14	3	浅鉢	口縁	～ 2.0mm	少	やや少		やや良	やや硬	橙	5YR6/6			阿玉台	
78	2	SI	14	4	深鉢	口縁	～ 2.0mm	やや少	やや少		ふつう	ふつう	明赤褐	5YR5/6	隆帯・沈線	棒状工具	阿玉台Ⅱ	
79	2	SI	14	5	深鉢	口縁	～1.0mm	やや少	やや少		ふつう	ふつう	赤褐	5YR4/6			加曽利EⅢ	
80	2	SI	14	6	深鉢	口縁	～1.0mm	やや少	やや少		やや良	やや硬	明赤褐	5YR5/6	口縁に刻み・平行沈線	棒状工具	中期中葉	
81	2	SI	14	7	深鉢	口縁	～ 3.0mm	やや少	ふつう		やや良	やや硬	明赤褐	5YR5/6	隆帯・沈線	棒状工具	加曽利EⅡ	
82	2	SI	14	8	深鉢	口縁	～ 2.0mm	やや少	やや少	結晶片岩	やや良	やや硬	橙	5YR6/6			中期中葉	
83	2	SI	14	9	深鉢	口縁	～1.0mm	やや少	ふつう		やや良	硬	にぶい褐	7.5YR5/4			加曽利EⅢ	
84	2	SI	14	10	深鉢	口縁	～1.0mm	やや多	やや多		ふつう	やや軟	暗褐	7.5YR3/4	隆帯・沈線・縄文	丸棒・縄文RL縦位	加曽利EⅡ	

No.	区	遺構	遺構 No.	図版 番号	器種	部位	胎土砂 粒径	黒雲 母	長石・ 石英	その他	焼成	硬度	色調	色調備考	文様要素	施文具	時期 型式	備考
85	2	SI	14	11	深鉢	胴	～1.0mm	少	少		やや良	やや硬	明赤褐	5YR5/6	隆帯・沈線・縄文	棒状工具・縄文RL縦位	加曽利EⅡ	
86	2	SI	14	12	深鉢	胴	～1.0mm	少	少		やや良	やや硬	明赤褐	5YR5/8	隆帯・沈線・縄文	棒状工具・縄文RL縦位	加曽利EⅠ	
87	2	SI	14	13	垂飾	完形	～ 2.0mm	ふつう	ふつう		ふつう	ふつう	にぶい赤褐	5YR4/4			不明	
88	2	SI	14	14	深鉢	胴～ 底	～5.0mm	少	やや多	金雲母	ふつう	ふつう	赤褐	5YR4/6	刺突	篋状工具	阿玉台Ⅰb	
89	2	SI	15	1	深鉢	口縁	～ 3.0mm	やや少	ふつう		やや不良	やや軟	明赤褐	5YR5/6			勝坂系	発泡
90	2	SI	15	2	浅鉢	口縁	～ 2.0mm	少	ふつう		やや良	やや硬	明赤褐	5YR5/6			不明	波状口縁
91	2	SI	15	3	深鉢	口縁	～ 2.0mm	少	ふつう		やや良	やや硬	明褐	7.5YR5/6	隆帯・縄文	縄文RL縦位	加曽利EⅠ	
92	2	SI	15	4	深鉢	底	～ 3.0mm	少	ふつう	結晶片岩	やや良	やや硬	明赤褐	5YR5/6	沈線	篋状工具	加曽利EⅠ	
93	2	SI	15	5	深鉢	口縁	～ 3.0mm	やや多	ふつう	金雲母	やや不良	やや軟	明黄褐	10YR6/6	隆帯・押引・縄文	篋状工具・竹管	阿玉台Ⅰb	内側に文様(押引・竹管)/ 内向施文有り
94	2	SI	15	6	深鉢	胴	～ 2.0mm	少	やや少		やや不良	やや軟	橙	7.5YR7/6	縄文	縄文RL縦位	加曽利EⅠ	
95	2	SI	15	7	深鉢	胴	～ 2.0mm	やや少	やや少	金雲母	やや良	やや硬	明褐	7.5YR5/6	隆帯に圧痕・沈線	篋状工具	堀之内	
96	2	SI	16	1	浅鉢	口縁	～ 3.0mm	やや少	ふつう	金雲母	ふつう	ふつう	橙	7.5YR6/8			加曽利EⅠ	
97	2	SI	16	2	把手	口縁	～ 3.0mm	やや少	ふつう		ふつう	やや軟	明赤褐	5YR5/6	隆帯・沈線	丸棒	加曽利EⅠ	
98	2	SI	16	3	深鉢	口縁	～ 3.0mm	やや少	やや少		やや良	やや硬	赤褐	5YR4/6			中期中葉	
99	2	SI	16	4	浅鉢	口縁	～4.0mm	少	やや多		やや不良	やや軟	明褐	7.5YR5/6			中期中葉	
100	2	SI	16	5	深鉢	口縁	～4.0mm	ふつう	やや多	金雲母	ふつう	ふつう	明赤褐	5YR5/6	隆帯・押引・沈線	篋状工具	阿玉台Ⅰb	
101	2	SI	16	6	深鉢	胴	～ 2.0mm	少	やや多		やや不良	やや軟	明褐	7.5YR5/6	沈線・縄文	丸棒・縄文RL縦位	中期中葉	
102	2	SI	16	7	深鉢	口縁	～ 2.0mm	やや少	やや少		やや不良	やや軟	明赤褐	5YR5/6	沈線・縄文	丸棒	加曽利EⅠ	
103	2	SI	16	8	深鉢	胴	～ 2.0mm	少	ふつう		やや不良	やや軟	橙	7.5YR6/8	沈線・縄文	棒状工具・縄文RL縦位	加曽利EⅢ	
104	2	SI	16	9	深鉢	胴	～4.0mm	少	やや少	金雲母	ふつう	やや軟	橙	7.5YR6/6	沈線・縄文	棒状工具・縄文RL縦位	加曽利EⅢ	
105	2	SI	16	10	深鉢	胴	～ 2.0mm	やや多	やや多	金雲母	やや良	やや硬	明褐	7.5YR5/6	刺突・隆帯に圧痕	竹管	阿玉台Ⅰb	
106	2	SI	17	1	深鉢	口縁	～4.0mm	少	やや少		やや良	やや硬	橙	7.5YR6/6	隆帯・沈線・撚糸	丸棒・撚糸R縦位	加曽利EⅡ	
107	2	SI	17	2	深鉢	口縁	～ 2.0mm	少	やや少		ふつう	やや軟	明黄褐	10YR7/6	隆帯・沈線	丸棒	加曽利EⅡ	
108	2	SI	17	3	深鉢	口縁	～ 2.0mm	少	ふつう		やや不良	やや軟	にぶい黄褐	10YR5/4	隆帯・沈線・縄文	丸棒・縄文LR縦位	加曽利EⅢ	
109	2	SI	17	4	深鉢	口縁	～ 3.0mm	少	やや少		やや良	やや硬	橙	7.5YR7/6	沈線・縄文	棒状工具・縄文LR縦位	加曽利EⅢ	
110	2	SI	17	5	深鉢	口縁	～4.0mm	少	やや少		やや良	やや硬	明黄褐	10YR7/6			加曽利EⅢ	
111	2	SI	17	6	深鉢	口縁	～ 3.0mm	やや少	少		やや良	やや硬	明赤褐	5YR5/6	刺突・沈線・押引	竹管・丸棒・篋状工具	加曽利EⅡ	
112	2	SI	17	7	深鉢	胴	～4.0mm	やや少	少		やや良	やや硬	橙	5YR6/6	隆帯・縄文	縄文LR縦位	加曽利EⅢ	

No.	区	遺構	遺構 No.	図版 番号	器種	部位	胎土砂 粒径	黒雲 母	長石・ 石英	その他	焼成	硬度	色調	色調備考	文様要素	施文具	時期 型式	備考
113	2	SI	17	8	深鉢	胴	～ 2.0mm	少	ふつう	結晶片岩	ふつう	ふつう	明赤褐	5YR5/6	隆帯・沈線	篋状工具・丸棒	加曽利E I	
114	2	SI	17	9	深鉢	胴	～ 3.0mm	少	少		やや不良	ふつう	にぶい黄褐	10YR6/4	沈線・縄文	棒状工具・縄文LR縦位	加曽利E II	
115	2	SI	17	10	深鉢	胴	～ 2.0mm	少	少		やや良	やや硬	橙	7.5YR6/6	縄文	縄文RL縦位	諸磯b	
116	2	SI	17	11	深鉢	胴	～ 2.0mm	少	やや少		やや良	やや硬	明黄褐	10YR6/6	沈線・縄文・スリケシ縄文	棒状工具・縄文RL縦位	加曽利E III	
117	2	SI	21	1	深鉢	口縁	～ 2.0mm	少	少	金雲母	やや良	やや硬	にぶい褐	7.5YR5/3	沈線	棒状工具	阿玉台 I b	
118	2	SI	21	2	深鉢	把手	～5.0mm	ふつう	やや多		やや良	ふつう	にぶい橙	5YR7/4	隆帯		加曽利E II	
119	2	SI	21	3	深鉢	胴上	～ 4.0mm	少	やや多		やや良	ふつう	橙	5YR6/6	隆帯		加曽利E I	
120	2	SI	21	4	浅鉢	口縁	～ 2.0mm	少	少		良	硬	橙	5YR6/6			加曽利E I	
121	2	SI	21	5	深鉢	口縁	～ 3.0mm	少	やや多		やや良	やや軟	橙	5YR6/8	押引	篋状工具	勝坂 II	
122	2	SI	21	6	深鉢	胴上	～ 2.0mm	やや多	やや多		やや良	ふつう	橙	5YR6/6	隆帯・沈線	棒状工具	加曽利E I 併行？	
123	2	SI	21	7	深鉢	口縁	～ 2.0mm	少	少		ふつう	軟	浅黄橙	7.5YR8/3	撚糸	撚糸L縦位	加曽利E III	
124	2	SI	21	8	深鉢	胴	～ 4.0mm	やや少	ふつう	金雲母	ふつう	ふつう	にぶい橙	5YR6/3	隆帯・縄文	縄文LR縦位	加曽利E II	
125	2	SI	21	9	深鉢	胴	～ 3.0mm	少	やや多		やや良	ふつう	橙	5YR6/6	隆帯・撚糸	棒状工具・撚糸L縦位	加曽利E I	
126	2	SI	21	10	深鉢	胴	～ 2.0mm	やや多	ふつう		ふつう	やや軟	にぶい橙	7.5YR7/3	沈線・縄文	棒状工具・縄文RL縦位	加曽利E II	
127	2	SI	21	11	深鉢	胴	～ 3.0mm	少	やや多	金雲母	良	やや硬	灰褐	5YR5/2	押引	篋状工具	阿玉台 I b	
128	2	SI	21	12	深鉢	底	～ 2.0mm	少	ふつう	金雲母	良	やや硬	にぶい橙	7.5YR6/4			阿玉台	網代痕有り
129	2	SI	22	1	深鉢	口縁	～ 2.0mm	少	やや少		やや不良	やや軟	明黄褐	10YR6/6	沈線	丸棒	加曽利E I	
130	2	SI	25	1	深鉢	胴	～5.0mm	少	ふつう		ふつう	ふつう	明黄褐	10YR6/6	沈線・縄文	棒状工具・縄文RL縦位	加曽利E III	
131	2	SI	25	2	深鉢	胴上	～ 2.0mm	少	少		やや良	やや硬	明赤褐	5YR5/6	隆帯・沈線	棒状工具	中期中葉	
132	2	SI	27	1	深鉢	口縁	～ 3.0mm	少	少		ふつう	ふつう	橙	7.5YR6/6	隆帯・縄文	縄文RL縦位	加曽利E III	
133	2	SI	27	2	深鉢	胴上	～ 3.0mm	少	ふつう		やや不良	やや軟	明黄褐	10YR6/6	隆帯・縄文	縄文RL縦位	加曽利E III	
134	2	SI	27	3	深鉢	胴	～ 2.0mm	少	少		やや不良	やや軟	橙	7.5YR6/8	隆帯・縄文	縄文RL縦位	加曽利E II	
135	2	SI	30	1	深鉢	口縁	～ 2.0mm	やや少	少		やや不良	やや軟	橙	7.5YR6/6			中期	
136	2	SI	30	2	深鉢	胴	～ 2.0mm	少	少		ふつう	ふつう	明褐	7.5YR5/6	縄文	縄文LR縦位	加曽利E III	
137	2	SI	30	3	深鉢	胴	～ 3.0mm	少	少		不良	軟	明黄褐	10YR6/6	隆帯		加曽利E II	
138	2	SI	30	4	深鉢	胴上	～ 2.0mm	やや少	やや少		不良	軟	橙	7.5YR6/6	隆帯・縄文	縄文RL縦位	加曽利E III	
139	2	SI	31	1	深鉢	胴	～ 3.0mm	やや少	ふつう	結晶片岩	やや良	やや硬	明赤褐	5YR5/8	沈線	丸棒	勝坂系	
140	2	SI	31	2	深鉢	口縁	～5.0mm	やや少	やや多	金雲母	やや良	やや硬	赤褐	5YR4/6			阿玉台	

No.	区	遺構	遺構 No.	図版 番号	器種	部位	胎土砂 粒径	黒雲 母	長石・ 石英 やや 少	その他	焼成	硬度	色調	色調備考	文様要素	施文具	時期 型式	備考
141	2	SI	31	3	深鉢	胴	～ 3.0mm	ふつう	やや 少	金雲母	やや良	やや 硬	にぶい赤褐	5YR4/4	沈線	篋状工具	阿玉台Ⅱ	
142	2	SI	32	1	浅鉢	口縁	～ 3.0mm	少	やや 少		やや良	やや 硬	明褐	7.5YR5/6	沈線	丸棒	加曽利E	
143	2	SI	32	2	深鉢	口縁	～ 4.0mm	少	やや 少		ふつう	やや 軟	にぶい橙	7.5YR6/4	沈線	丸棒	加曽利EⅡ	
144	2	SI	32	3	深鉢	口縁	～ 2.0mm	少	やや 少		ふつう	やや 軟	にぶい赤褐	5YR4/4	隆帯		加曽利EⅢ	
145	2	SI	32	4	深鉢	口縁	～ 2.0mm	少	ふつう		やや良	やや 硬	明赤褐	5YR5/6	沈線	丸棒	加曽利EⅡ	
146	2	SI	32	5	深鉢	口縁	～5.0mm	少	やや 多		やや良	やや 硬	赤褐	5YR4/6	隆帯		加曽利EⅠ古	
147	2	SI	32	6	深鉢	胴	～ 3.0mm	やや 少	ふつう		やや良	やや 硬	橙	7.5YR6/6	沈線	丸棒	加曽利EⅠ古	
148	2	SI	32	7	深鉢	胴	～ 2.0mm	少	やや 少		やや不良	軟	橙	7.5YR6/6	沈線	丸棒	加曽利EⅡ	
149	2	SI	32	8	深鉢	胴	～ 2.0mm	少	少		やや良	やや 硬	にぶい橙	7.5YR6/4	沈線・縄文	丸棒・縄文LR縦位	加曽利EⅡ	
150	2	SI	32	9	深鉢	胴	～ 4.0mm	少	ふつう	結晶片岩	やや良	やや 硬	橙	7.5YR6/6	縄文	縄文LR縦位	加曽利EⅢ	
151	2	SI	32	10	深鉢	胴	～ 3.0mm	やや 少	ふつう		やや良	やや 硬	赤褐	5YR4/8	隆帯・沈線・撚糸	丸棒・撚糸L縦位	加曽利EⅠ	
152	2	SI	32	11	深鉢	胴	～ 2.0mm	少	少		やや良	やや 硬	にぶい黄褐	10YR5/4	沈線・縄文	棒状工具・縄文LR縦位	加曽利EⅡ	
153	2	SI	33	1	深鉢	口縁	～ 2.0mm	ふつう	やや 多		ふつう	やや 軟	明褐	7.5YR5/6	縄文	縄文LR縦位	中期中葉末	
154	2	SI	33	2	深鉢	胴	～ 2.0mm	少	少		やや良	やや 硬	橙	7.5YR6/6			加曽利EⅢ	
155	2	SI	33	3	深鉢	胴～ 底	～ 3.0mm	ふつう	ふつう		やや良	やや 硬	赤褐	5YR4/6	隆帯・沈線・刺突	篋状工具	新巻類型	
156	2	SI	33	4	深鉢	胴	～ 2.0mm	やや 多	ふつう		やや良	やや 硬	明褐	7.5YR5/6			加曽利EⅠ	
157	2	SI	33	5	深鉢	胴	～ 2.0mm	少	やや 少		やや良	やや 硬	橙	7.5YR6/6	沈線・縄文	丸棒・縄文RL縦位	加曽利EⅢ	
158	2	SI	34	1	深鉢	口縁	～ 4.0mm	少	やや 少		良	やや 硬	明赤褐	5YR5/6	隆帯・刺突	棒状工具	加曽利EⅠ	
159	2	SI	34	2	深鉢	口縁	～ 2.0mm	少	やや 少		ふつう	ふつう	橙	7.5YR6/6	隆帯・刻み	棒状工具	加曽利EⅠ	
160	2	SI	34	3	深鉢	口縁	～5.0mm	やや 少	少		やや良	やや 硬	にぶい赤褐	5YR4/4	隆帯・沈線	棒状工具	加曽利EⅠ	
161	2	SI	34	4	深鉢	口縁	～ 3.0mm	少	やや 少		やや良	やや 硬	にぶい褐	7.5YR5/4	沈線・刺突・縄文	棒状工具・縄文RL縦位	加曽利EⅢ	SI34-6と同一個体
162	2	SI	34	5	深鉢	口縁	～ 2.0mm	少	やや 少		やや良	硬	明黄褐	10YR6/6	隆帯・沈線・縄文	棒状工具・縄文LR縦位	加曽利EⅢ	
163	2	SI	34	6	深鉢	口縁	～ 2.0mm	少	少		やや良	やや 硬	明黄褐	10YR7/6	隆帯・沈線・刺突・縄文	棒状工具・縄文RL縦位	加曽利EⅢ	SI34-4と同一個体
164	2	SI	34	7	深鉢	胴	～ 2.0mm	少	少		やや良	ふつう	明黄褐	10YR6/6	沈線	棒状工具	加曽利EⅢ	
165	2	SI	34	8	深鉢	胴	～ 2.0mm	やや 少	やや 少		やや良	やや 硬	明赤褐	5YR5/6	隆帯・沈線	棒状工具	加曽利EⅠ	
166	2	SI	34	9	深鉢	胴	～ 4.0mm	やや 少	やや 多		やや良	やや 硬	明褐	7.5YR5/6	隆帯		加曽利EⅢ	
167	2	SI	34	10	深鉢	胴	～ 3.0mm	少	ふつう		ふつう	ふつう	橙	7.5YR6/6	隆帯・縄文	縄文LR縦位	加曽利EⅠ	
168	2	SI	34	11	深鉢	胴	～ 3.0mm	少	ふつう		ふつう	やや 硬	橙	7.5YR6/6	刺突・縄文	竹管・縄文LR縦位	阿玉台Ⅱ	



No.	区	遺構	遺構 No.	図版 番号	器種	部位	胎土砂 粒径	黒雲 母	長石・ 石英	その他	焼成	硬度	色調	色調備考	文様要素	施文具	時期 型式	備考
169	2	SI	34	12	深鉢	胴	～ 4.0mm	少	ふつう	金雲母	ふつう	ふつう	明赤褐	5YR5/6			加曽利EⅢ	
170	2	SI	34	13	深鉢	底	～ 3.0mm	少	ふつう		ふつう	やや 硬	橙	5YR6/6	隆帯・縄文	縄文RL縦位	中期中葉末	
171	2	SI	34	14	深鉢	胴	～ 2.0mm	少	少		ふつう	やや 硬	明黄褐	10YR6/6	隆帯・沈線・刺突・捺糸	捺糸L縦位	加曽利EⅢ	
172	2	SI	35	1	深鉢	胴	～ 2.0mm	少	やや 少		ふつう	やや 軟	明赤褐	5YR5/6	沈線・縄文	縄文RL縦位	加曽利E I	
173	2	SI	35	2	深鉢	胴	～ 4.0mm	やや 少	ふつう		ふつう	ふつう	橙	5YR6/6	沈線・縄文	棒状工具・縄文RL縦位	加曽利EⅢ	
174	2	SI	35	3	深鉢	口縁	～ 3.0mm	少	ふつう	結晶片岩	ふつう	やや 硬	明赤褐	5YR5/6	沈線・捺糸	棒状工具	加曽利E I	
175	2	SI	35	4	深鉢	胴	～ 3.0mm	少	少		ふつう	やや 硬	橙	7.5YR7/6	沈線・縄文	棒状工具・縄文LR縦位	加曽利EⅢ	
176	2	SI	35	5	深鉢	胴	～5.0mm	少	ふつう	結晶片岩	ふつう	やや 硬	橙	5YR6/6	隆帯・沈線	棒状工具	加曽利E I	
177	2	SI	36	1	深鉢	口縁	～ 4.0mm	少	ふつう		やや不良	やや 軟	明褐	7.5YR5/6	沈線	丸棒	加曽利E I	
178	2	SI	36	2	浅鉢	口縁	～ 2.0mm	少	少		やや良	やや 硬	橙	5YR6/6			中期中葉末	
179	2	SI	37	1	深鉢	口縁	～ 2.0mm	少	ふつう		やや良	やや 硬	明褐	7.5YR5/6	隆帯・沈線	棒状工具	加曽利E I 古	
180	2	SI	37	2	深鉢	口縁	～ 2.0mm	少	少		やや不良	軟	橙	7.5YR7/6	隆帯・沈線	棒状工具	加曽利EⅡ	
181	2	SI	37	3	深鉢	口縁	～ 3.0mm	少	やや 少		ふつう	やや 軟	にぶい橙	7.5YR6/4	沈線・櫛描	丸棒	加曽利EⅡ	
182	2	SI	37	4	深鉢	胴	～1.0mm	ふつう	やや 少		ふつう	やや 軟	明褐	7.5YR5/6	隆帯		加曽利EⅡ	
183	2	SI	37	5	深鉢	口縁	～ 2.0mm	やや 少	ふつう		ふつう	やや 軟	明赤褐	5YR5/6	隆帯・沈線	丸棒	加曽利E I	
184	2	SI	37	6	深鉢	口縁	～ 2.0mm	少	少		やや不良	やや 軟	明褐	7.5YR5/6	隆帯・沈線	丸棒	加曽利EⅡ	
185	2	SI	37	7	深鉢	口縁	～ 3.0mm	少	ふつう		やや不良	やや 軟	明褐	7.5YR5/6	隆帯		加曽利EⅢ	
186	2	SI	37	8	深鉢	胴	～ 3.0mm	少	ふつう	結晶片岩	ふつう	やや 硬	明黄褐	10YR6/6	沈線・縄文	縄文RL縦位	加曽利EⅢ	
187	2	SI	38	1	深鉢	口縁	～ 3.0mm	少	やや 多	金雲母	ふつう	ふつう	橙	7.5YR6/6	押引・沈線	角棒・丸棒	阿玉台 I b	
188	2	SI	38	2	深鉢	口縁	～ 2.0mm	少	やや 少		やや良	やや 硬	にぶい赤褐	5YR5/4	隆帯・縄文	丸棒・縄文LR横位	加曽利E I	
189	2	SI	38	3	深鉢	把手	～ 2.0mm	やや 少	少	結晶片岩	やや良	やや 硬	明赤褐	5YR5/6	押引・口縁に刻み	丸棒	阿玉台 I b	
190	2	SI	38	4	深鉢	胴	～1.0mm	少	少		やや不良	やや 軟	橙	7.5YR6/6	櫛描	棒状工具	加曽利E I	
191	2	SI	38	5	深鉢	胴下	～ 3.0mm	少	少		やや不良	ふつう	橙	7.5YR6/6			中期中葉	
192	2	SI	38	6	深鉢	口縁	～ 2.0mm	少	やや 少		やや良	やや 硬	にぶい褐	7.5YR5/3	隆帯・沈線	棒状工具	加曽利E I	
193	2	SI	38	7	深鉢	胴上	～ 4.0mm	少	やや 多	結晶片岩	やや良	やや 硬	橙	7.5YR7/6	隆帯に刻み・沈線	丸棒	加曽利E I	
194	2	SI	38	8	深鉢	胴	～ 5.0mm	少	やや 少		やや不良	やや 軟	にぶい赤褐	5YR5/3	隆帯・沈線・捺糸	丸棒・捺糸L縦位・捺糸R縦位	加曽利E I	
195	2	SI	38	9	深鉢	胴下	～ 2.0mm	少	少		やや不良	ふつう	橙	7.5YR6/6			中期中葉	
196	2	SI	40	1	深鉢	胴	～ 2.0mm	少	やや 少	結晶片岩	やや不良	やや 軟	橙	5YR6/6	沈線	丸棒	勝坂	

No.	区	遺構	遺構 No.	図版 番号	器種	部位	胎土砂 粒径	黒雲 母	長石・ 石英 やや 少	その他	焼成	硬度	色調	色調備考	文様要素	施文具	時期 型式	備考
197	2	SI	40	2	深鉢	口縁	～1.0mm	少	やや 少		ふつう	ふつう	明褐	7.5YR5/6	隆帯・縄文	縄文RL横位	加曽利EⅢ	
198	2	SI	41	1	深鉢	口縁	～ 3.0mm	ふつう	ふつう	結晶片岩	やや良	やや 硬	橙	7.5YR6/6	隆帯		加曽利EⅠ	
199	2	SI	41	2	深鉢	口縁	～1.0mm	少	少		不良	軟	明黄褐	10YR7/6	櫛描	棒状工具	加曽利EⅢ	
200	2	SI	41	3	深鉢	口縁	～ 5.0mm	やや 少	やや 少	金雲母	やや不良	やや 軟	橙	7.5YR6/6	隆帯・縄文	縄文LR縦位	加曽利EⅢ	
201	2	SI	41	4	深鉢	口縁	～ 3.0mm	少	やや 少		やや良	やや 硬	橙	5YR6/6	隆帯に刻み・沈線	へら状工具・丸棒	加曽利EⅠ	
202	2	SI	41	5	深鉢	口縁	～1.0mm	少	やや 少		やや良	やや 硬	にぶい橙	7.5YR6/4	隆帯・縄文	縄文RL横位	加曽利EⅢ	
203	2	SI	41	6	深鉢	口縁	～ 2.0mm	やや 少	やや 少		やや良	やや 硬	橙	5YR6/8	隆帯に刻み・沈線・刺突	篋状工具・棒状工具	勝坂Ⅲ	
204	2	SI	41	7	深鉢	口縁	～ 2.0mm	少	少		やや良	やや 硬	にぶい橙	7.5YR6/4	沈線・縄文	棒状工具・縄文RL斜位	加曽利EⅢ	
205	2	SI	41	8	深鉢	口縁	～ 4.0mm	やや 少	やや 少	結晶片岩	やや不良	ふつう	にぶい褐	7.5YR5/4	沈線・縄文	棒状工具・縄文RL縦位	加曽利EⅢ	
206	2	SI	41	9	深鉢	口縁	～ 2.0mm	やや 少	やや 少		やや良	やや 硬	にぶい黄褐	10YR5/4	隆帯		加曽利EⅢ	
207	2	SI	41	10	深鉢	口縁	～ 2.0mm	やや 少	ふつう		ふつう	やや 硬	橙	7.5YR6/6	隆帯		加曽利EⅢ	
208	2	SI	41	11	深鉢	口縁	～ 4.0mm	やや 少	やや 多	チャート	ふつう	やや 硬	橙	5YR6/6			勝坂系	
209	2	SI	41	12	深鉢	胴上	～ 4.0mm	少	ふつう		ふつう	やや 硬	明黄褐	10YR7/6	隆帯・縄文	縄文RL縦位	加曽利EⅢ	
210	2	SI	41	13	深鉢	胴	～ 4.0mm	やや 少	やや 少		ふつう	やや 硬	表:褐 ワ レ口:橙	7.5YR4/47. 5YR6/6	縄文	縄文RL縦位・縄文LR縦位	加曽利EⅠ	
211	2	SI	41	14	深鉢	胴	～ 7.0mm	少	やや 少		やや良	やや 硬	にぶい橙	5YR6/3	隆帯・沈線・縄文	棒状工具・縄文RL縦位	加曽利EⅢ	
212	2	SI	41	15	深鉢	胴	～ 6.0mm	少	ふつう	結晶片岩 チャート	ふつう	ふつう	橙	7.5YR6/6	隆帯・縄文	縄文RL横位	加曽利EⅢ	
213	2	SI	41	16	深鉢	胴下 ～底	～ 5.0mm	少	少	金雲母	やや良	やや 硬	橙	7.5YR6/6	隆帯		加曽利EⅠ	SI41-22と同一か
214	2	SI	41	17	深鉢	胴	～ 2.0mm	少	やや 少		ふつう	ふつう	明赤褐	5YR5/6	刻みのある隆帯・沈線・縄 文	丸棒・縄文RL縦位	加曽利EⅠ	
215	2	SI	41	18	深鉢	胴上	～ 3.0mm	やや 少	ふつう		やや良	やや 硬	橙	7.5YR6/6	隆帯		加曽利EⅢ	
216	2	SI	41	19	深鉢	胴	～ 3.0mm	やや 少	やや 少	チャート	やや不良	ふつう	橙	7.5YR7/6	沈線・縄文	棒状工具・縄文RL縦位	加曽利EⅢ	
217	2	SI	41	20	深鉢	胴下	～ 3.0mm	少	やや 少	金雲母	やや良	やや 硬	橙	7.5YR6/6			加曽利EⅢ	
218	2	SI	41	21	深鉢	胴下 ～底	～ 3.0mm	ふつう	ふつう		ふつう	やや 軟	明赤褐	5YR5/8			不明	
219	2	SI	41	22	深鉢	胴	～ 4.0mm	少	やや 少	結晶片岩 金雲母	やや良	やや 硬	橙	7.5YR6/6	隆帯・沈線	棒状工具	加曽利EⅠ	SI41-16と同一か
220	2	SI	41	23	深鉢	口縁	～ 2.0mm	やや 少	やや 少		やや良	やや 硬	橙	5YR6/6	刻みのある隆帯		加曽利EⅠ 古	
221	2	SI	41	24	深鉢	胴	～ 3.0mm	少	やや 少	金雲母	やや良	やや 硬	にぶい橙	7.5YR6/4	隆帯・沈線・刺突・押引	棒状工具	阿玉台Ⅱ	
222	2	SI	41	25	深鉢	口縁 ～胴	～ 2.0mm	少	ふつう		ふつう	やや 軟	にぶい橙	7.5YR6/4	沈線・縄文	棒状工具・縄文RL縦位	加曽利EⅢ	
223	2	SI	41	26	深鉢	口縁 ～胴	～ 3.0mm	少	少		ふつう	やや 軟	にぶい橙	7.5YR6/4	沈線・縄文	棒状工具・縄文RL縦位	加曽利EⅢ	
224	2	SI	41	27	深鉢	胴～ 底	～ 2.0mm	少	少		ふつう	やや 軟	橙	5YR6/6	沈線・縄文	棒状工具・縄文RL縦位	加曽利EⅢ	

No.	区	遺構	遺構 No.	図版 番号	器種	部位	胎土砂 粒径	黒雲 母	長石・ 石英	その他	焼成	硬度	色調	色調備考	文様要素	施文具	時期 型式	備考
225	2	SI	42	1	深鉢	口縁	～ 2.0mm	やや 少	ふつう		やや良	やや 硬	表:褐 口明褐	7.5YR4/47. 5YR5/6	隆帯・沈線・縄文	丸棒・縄文LR縦位	加曽利EⅡ	
226	2	SI	42	2	耳飾	完形	～ 2.0mm	少	やや 多	チャート	ふつう	軟	明赤褐	5YR5/6			不明	
227	2	SI	43	1	鉢?	口縁	～1.0mm	少	少		やや不良	やや 軟	橙	7.5YR6/6	刺突・沈線	丸棒	加曽利BⅡ	補修孔有り
228	2	SI	43	2	深鉢	口縁	～1.0mm	少	少		ふつう	やや 軟	にぶい橙	7.5YR6/4	隆帯		加曽利EⅢ	
229	2	SI	43	3	深鉢	口縁	～ 4.0mm	少	少		やや良	やや 硬	にぶい橙	7.5YR6/4	隆帯		加曽利EⅢ	
230	2	SI	43	4	深鉢	口縁	～1.0mm	少	少		やや不良	やや 軟	にぶい黄褐	10YR7/4			加曽利EⅢ	補修孔有り
231	2	SI	43	5	深鉢	口縁	～ 5.0mm	少	ふつう	結晶片岩	ふつう	やや 硬	にぶい黄褐	10YR5/4	隆帯・縄文	縄文RL横位	加曽利EⅢ	
232	2	SI	43	6	深鉢	口縁	～1.0mm	少	少		良	硬	橙	5YR6/6	沈線・縄文	棒状工具・縄文RL横位	加曽利EⅢ	
233	2	SI	43	7	深鉢	口縁	～ 3.0mm	少	やや 多	金雲母	やや良	やや 硬	橙	7.5YR6/6	押引	篋状工具	阿玉台Ⅰb	
234	2	SI	43	8	深鉢	口縁	～ 3.0mm	少	やや 少	チャート金 雲母	ふつう	やや 硬	にぶい黄褐	7.5YR6/4	沈線・縄文	棒状工具・縄文RL横位	加曽利EⅢ	
235	2	SI	43	9	深鉢	口縁	～ 3.0mm	やや 少	ふつう		ふつう	やや 軟	褐	7.5YR4/4	隆帯・沈線	丸棒	加曽利EⅡ	
236	2	SI	43	10	深鉢	口縁	～ 3.0mm	少	やや 少		やや不良	やや 軟	表:暗褐 口:褐	10YR3/3 7.5YR6/6	隆帯		加曽利EⅢ	
237	2	SI	43	11	浅鉢	口縁	～ 2.0mm	少	やや 少	金雲母	ふつう	やや 硬	にぶい赤褐	5YR5/4			不明	波状口縁
238	2	SI	43	12	深鉢	胴下 ～底	～ 5.0mm	少	多	結晶片岩 金雲母	やや良	硬	明赤褐	5YR5/6	櫛描	棒状工具	加曽利EⅢ	
239	2	SI	43	13	深鉢	口縁	～1.0mm	少	少		やや良	硬	にぶい褐	7.5YR5/4	沈線・縄文	丸棒・縄文LR縦位	加曽利EⅢ	
240	2	SI	43	14	深鉢	口縁	～ 2.0mm	やや 少	ふつう		やや良	やや 硬	明赤褐	5YR5/6	隆帯・押引	篋状工具	勝坂Ⅰ	
241	2	SI	43	15	深鉢	底	～ 8.0mm	少	多	チャート	不良	軟	明赤褐	5YR5/6			加曽利EⅢ	
242	2	SI	43	16	深鉢	胴上	～ 3.0mm	少	やや 少		やや良	やや 硬	にぶい褐	7.5YR5/3	隆帯・縄文	縄文RL横位	加曽利EⅢ	
243	2	SI	44	1	深鉢	口縁	～ 3.0mm	少	やや 少		やや不良	やや 軟	橙	7.5YR6/6			加曽利EⅢ	
244	2	SI	44	2	深鉢	口縁	～ 2.0mm	少	やや 少		やや不良	やや 軟	橙	5YR6/6			加曽利EⅢ	
245	2	SI	44	3	深鉢	口縁	～ 3.0mm	やや 少	ふつう		やや良	やや 硬	にぶい赤褐	5YR4/4	隆帯・刺突		加曽利EⅡ	
246	2	SI	44	4	深鉢	口縁	～ 7.0mm	やや 少	やや 多	金雲母	やや良	やや 硬	にぶい赤褐	5YR4/4	押引	棒状工具	阿玉台Ⅱ	
247	2	SI	44	5	深鉢	胴	～ 2.0mm	少	ふつう		やや不良	やや 硬	にぶい赤褐	5YR5/4	櫛描	棒状工具	加曽利EⅠ	
248	2	SI	44	6	深鉢	胴	～ 4.0mm	少	ふつう		やや良	やや 硬	橙	5YR6/6	隆帯・櫛描	棒状工具	加曽利EⅠ	
249	2	SI	44	7	深鉢	胴	～ 3.0mm	やや 少	少		ふつう	ふつう	赤褐	5YR4/6	沈線・捺糸	丸棒・捺糸R縦位・捺糸L縦位	加曽利EⅠ	90° 違う。左が上
250	2	SI	44	8	深鉢	胴	～ 6.0mm	少	やや 少		やや不良	やや 軟	黄橙	10YR7/8	隆帯に圧痕		加曽利EⅠ	
251	2	SI	44	9	深鉢	胴上 ～底	～ 6.0mm	ふつう	やや 多		ふつう	ふつう	明赤褐	5YR5/6	隆帯・刺突・捺糸	棒状工具・捺糸R縦位・捺糸L縦位	加曽利EⅠ	
252	2	SI	45	1	深鉢	胴	～ 3.0mm	やや 少	やや 少		やや不良	やや 軟	明黄褐	10YR6/6	沈線・縄文	丸棒・縄文RL縦位	加曽利EⅡ	

No.	区	遺構	遺構 No.	図版 番号	器種	部位	胎土砂 粒径	黒雲 母	長石・ 石英 やや 多	その他	焼成	硬度	色調	色調備考	文様要素	施文具	時期 型式	備考
253	2	SI	45	2	深鉢	口縁	～ 4.0mm	少	やや 多		やや不良	やや 軟	橙	7.5YR6/6			勝坂系	
254	2	SI	45	3	深鉢	胴	～ 3.0mm	やや 少	やや 多	結晶片岩	ふつう	やや 硬	明赤褐	5YR5/6	隆帯・縄文	縄文RL縦位	加曽利EⅡ	
255	2	SI	48	1	浅鉢	口縁	～ 4.0mm	やや 少	少	結晶片岩	やや良	やや 硬	明赤褐	5YR5/6			中期中葉	
256	2	SI	48	2	深鉢	口縁	～ 2.0mm	少	少		良	硬	明赤褐	5YR5/6			中期中葉	
257	2	SI	48	3	浅鉢	口縁	～ 5.0mm	少	やや 多		やや良	やや 硬	橙	7.5YR6/6			中期中葉	
258	2	SI	48	4	深鉢	口縁	～ 4.0mm	少	やや 多		ふつう	やや 硬	にぶい褐	7.5YR5/4	隆帯・沈線・縄文	棒状工具・縄文RL縦位	加曽利EⅢ	
259	2	SI	48	5	深鉢	口縁	～ 2.0mm	ふつう	やや 少		やや良	やや 硬	明赤褐	5YR5/6	沈線	棒状工具・丸棒	中期中葉	北陸系か
260	2	SI	48	6	深鉢	胴	～ 3.0mm	少	やや 多		やや不良	やや 軟	橙	5YR6/6	隆帯		加曽利EⅡ	
261	2	SI	49	1	深鉢	口縁	～ 5.0mm	少	やや 多		やや不良	ふつう	橙	5YR6/6	隆帯		中期中葉末	
262	2	SI	49	2	深鉢	胴	～1.0mm	少	やや 少		ふつう	ふつう	明赤褐	5YR5/6	隆帯・沈線	丸棒	加曽利EⅡ	
263	2	SI	49	3	深鉢	胴	～1.0mm	少	少		ふつう	ふつう	橙	5YR6/6	沈線	丸棒	加曽利EⅢ	
264	2	SI	49	4	深鉢	胴	～ 4.0mm	少	やや 少		やや不良	ふつう	橙	5YR6/8	沈線	丸棒	加曽利EⅡ	
265	2	SI	49	5	深鉢	胴下	～ 3.0mm	少	やや 少		やや良	やや 硬	橙	7.5YR6/6	燃糸	燃糸L縦位	加曽利EⅠ	
266	2	SI	53	1	深鉢	胴上	～ 3.0mm	少	やや 多		不良	やや 軟	にぶい黄褐	10YR6/6	隆帯・縄文	縄文LR縦位	加曽利EⅢ	
267	2	SI	53	2	深鉢	胴上	～ 2.0mm	少	少		やや良	やや 硬	橙	5YR6/6	隆帯・縄文	縄文LR縦位	加曽利EⅢ	
268	2	SI	53	3	深鉢	胴	～ 3.0mm	少	やや 少		ふつう	ふつう	表：暗褐 フレ口明褐	7.5YR3/4 7.5YR5/6	燃糸	燃糸R縦位・燃糸L縦位	加曽利EⅠ	
269	2	SI	53	4	深鉢	胴	～1.0mm	少	やや 少		やや良	やや 硬	橙	5YR6/6	沈線・縄文	丸棒・縄文RL縦位	加曽利EⅡ	
270	2	SI	53	5	深鉢	胴	～ 4.0mm	少	やや 少		やや良	やや 硬	橙	5YR6/6	隆帯・沈線・縄文	棒状工具・縄文RL縦位	加曽利EⅡ	
271	2	SI	53	6	深鉢	胴下 ～底	～ 4.0mm	少	やや 少	結晶片岩	やや不良	ふつう	明赤褐	5YR5/6			加曽利EⅡ	
272	2	SI	62	1	深鉢	胴上	～ 3.0mm	少	やや 多		ふつう	ふつう	にぶい赤褐	5YR4/4	隆帯		勝坂系	
273	2	SI	62	2	深鉢	口縁	～ 3.0mm	少	少		やや不良	ふつう	明黄褐	10YR7/6	沈線	丸棒	加曽利EⅡ	
274	2	SI	62	3	深鉢	胴	～ 4.0mm	少	やや 少		やや不良	ふつう	明赤褐	5YR5/6	沈線	棒状工具	中期中葉	
275	2	SI	62	4	深鉢	胴	～ 4.0mm	少	やや 少		やや不良	やや 軟	明黄褐	10YR7/6	縄文	縄文RL縦位	加曽利EⅢ	
276	2	SI	62	5	深鉢	胴	～ 4.0mm	少	やや 少	結晶片岩	やや良	やや 硬	橙	5YR6/6	縄文	縄文RL縦位	中期中葉	
277	2	SI	68	1	深鉢	口縁	～ 2.0mm	少	やや 少		やや不良	やや 軟	明赤褐	5YR5/6			中期中葉末	
278	2	SI	68	2	深鉢	口縁	～ 4.0mm	少	やや 少		やや良	やや 硬	明赤褐	5YR5/8	隆帯・刺突	棒状工具・竹管・半裁竹管	勝坂Ⅲ	
279	2	SI	68	3	深鉢	口縁	～ 3.0mm	少	少		良	硬	橙	7.5YR6/6	隆帯・縄文	縄文LR縦位	加曽利EⅢ	
280	2	SI	68	4	深鉢	胴	～ 2.0mm	少	やや 多	金雲母	ふつう	やや 軟	黄橙	7.5YR7/8	隆帯・沈線	棒状工具	焼町類型	

No.	区	遺構	遺構 No.	図版 番号	器種	部位	胎土砂 粒径	黒雲 母	長石・ 石英 やや多	その他	焼成	硬度	色調	色調備考	文様要素	施文具	時期 型式	備考
281	2	SI	68	5	深鉢	口縁	～ 5.0mm	ふつう	やや多		やや良	やや硬	明赤褐	5YR5/6	隆帯・沈線	丸棒	焼町類型	
282	2	SI	68	6	深鉢	胴	～ 2.0mm	少	やや多	金雲母	やや良	やや硬	明赤褐	5YR5/6	隆帯・沈線	棒状工具	焼町類型	
283	2	SI	68	7	深鉢	胴	～ 5.0mm	やや多	やや多	結晶片岩	やや良	やや硬	橙	5YR6/6	隆帯・沈線・縄文	棒状工具	勝坂系	
284	2	SI	95	1	深鉢	胴	～ 2.0mm	ふつう	やや少		ふつう	やや硬	明黄褐	10YR6/6	沈線・縄文	棒状工具・縄文LR縦位	加曽利EⅢ	
285	2	SI	95	2	深鉢	口縁	～ 2.0mm	少	やや少		やや良	やや硬	明黄褐	10YR7/6	隆帯・沈線・縄文	棒状工具・縄文LR横位・縄文LR縦位	加曽利EⅢ	

No.	区	遺構	遺構	図版番号	器種	部位	胎土砂粒径	黒雲母	長石・石英	その他	焼成	硬度	色調	色調備考	文様要素	施文具	時期	型式	備考
1	2	SK	2	1	深鉢	胴	～ 2.0mm	多	多	結晶片岩	ふつう	やや軟	濁	7.5YR4/3	縄文	縄文RL斜位	加曽利EⅡ		
2	2	SK	2	2	深鉢	胴	～ 3.0mm	少	多	結晶片岩	やや良	やや硬	明赤褐	5YR5/6	沈線・縄文	丸棒・縄文LR縦位	加曽利EⅡ		
3	2	SK	3	1	深鉢	口縁	～ 3.0mm	少	多	結晶片岩	良	硬	にぶい赤褐	5YR5/4	隆帯・沈線・細い併行沈線	丸棒	加曽利EⅠ		
4	2	SK	3	2	深鉢	胴	～ 4.0mm	少	多	結晶片岩	良	硬	橙	5YR6/6	隆帯・沈線・細い併行沈線	丸棒	加曽利EⅠ		
5	2	SK	3	3	深鉢	胴上	～ 3.0mm	少	多	結晶片岩 チャート	やや良	やや硬	灰褐	7.5YR4/2	隆帯(渦巻)沈線	丸棒	加曽利EⅠ		
6	2	SK	3	4	深鉢	胴上	～ 5.0mm	少	多	結晶片岩	良	硬	明赤褐	2.5YR5/6	隆帯(渦巻)沈線	丸棒	加曽利EⅠ		
7	2	SK	4	1	深鉢	胴	～ 2.0mm	少	多	結晶片岩	やや良	やや硬	明赤褐	5YR5/6	隆帯・沈線・細い斜位併行沈線	棒状工具	加曽利EⅠ		
8	2	SK	5	1	深鉢	胴	～ 2.0mm	少	少		ふつう	やや軟	橙	7.5YR6/6	縄文	縄文RL縦位	加曽利EⅡ		表面やや風化
9	2	SK	5	2	深鉢	胴	～ 3.0mm	少	ふつう	チャート	良	硬	明赤褐	2.5YR5/6	条線	ササウ状工具・丸棒	加曽利EⅡ		
10	2	SK	14	1	深鉢	口縁	～ 1.0mm	少	やや多		ふつう	やや軟	灰褐	7.5YR5/2			不明		
11	2	SK	14	2	深鉢	胴上	～ 6.0mm	少	少	チャート	良	硬	にぶい褐	7.5YR5/3	縄文・隆帯	縄文RL斜位	加曽利EⅡ		縄文施文後隆帯貼付
12	2	SK	14	3	深鉢	底	～ 4.0mm	少	多	結晶片岩	良	硬	灰褐	7.5YR4/2			加曽利EⅢ		平底か？
13	2	SK	14	4	深鉢	口縁～ 胴	～ 3.0mm	少	多		やや良	やや軟	灰褐	7.5YR6/2	縄文・隆帯・沈線	縄文RL縦位・棒状工具	加曽利EⅢ		
14	2	SK	14	5	深鉢	胴	～ 4.0mm	少	多		良	やや軟	にぶい褐	7.5YR7/3	縄文・隆帯・沈線	縄文RL縦位・棒状工具	加曽利EⅢ		波状口縁
15	2	SK	16	1	深鉢	口縁	～ 1.0mm	少	少	結晶片岩	良	硬	にぶい赤褐	5YR5/4	隆帯・沈線	棒状工具	中期中葉末		
16	2	SK	16	2	深鉢	胴	～ 4.0mm	少	やや多		良	硬	褐	7.5YR4/3	撚糸	撚糸R縦位	加曽利EⅠ		
17	2	SK	16	3	深鉢	胴	～ 2.0mm	ふつう	ふつう	結晶片岩	やや良	やや硬	褐	7.5YR4/3	撚糸	撚糸R縦位	加曽利EⅠ		
18	2	SK	17	1	深鉢	口縁	～ 2.0mm	少	少		やや良	やや軟	灰褐	7.5YR4/2	縄文・隆帯	縄文RL斜位	加曽利EⅢ		
19	2	SK	17	2	深鉢	胴	～ 3.0mm	ふつう	多		やや良	やや軟	橙	5YR6/6	隆帯・沈線	丸棒	加曽利EⅡ		
20	2	SK	18	1	深鉢	口縁～ 胴	～ 4.0mm	少	ふつう		ふつう	やや軟	橙	7.5YR	隆帯・沈線・縄文	縄文LR縦位・棒状工具	加曽利EⅢ		
21	2	SK	19	1	深鉢	口縁	～ 2.0mm	少	少	結晶片岩	やや良	やや硬	灰褐	7.5YR4/2			加曽利EⅠ		口縁(平縁内凸)
22	2	SK	20	1	深鉢	口縁	～ 2.0mm	ふつう	少		やや良	やや軟	にぶい赤褐	5YR5/4	隆帯・沈線(楕円文様)・縄文	棒状工具・縄文LR縦位	加曽利EⅡ		楕円文様内縄文
23	2	SK	20	2	深鉢	胴上	～ 2.0mm	少	ふつう	結晶片岩	やや良	やや硬	橙	5YR6/6	隆帯・沈線・縄文	丸棒・縄文RL斜位	加曽利EⅡ		縄文施文後隆帯貼付
24	2	SK	21	1	深鉢	胴上	～ 4.0mm	少	少	チャート	良	硬	橙	5YR6/6	隆帯・沈線	棒状工具	加曽利EⅡ		
25	2	SK	25	1	深鉢	胴	～ 2.0mm	やや多	少	結晶片岩	良	硬	暗赤褐	2.5YR5/6	隆帯・沈線	ヘラ状工具による押圧痕 竹管による押圧痕・丸棒	勝坂系		三叉文
26	2	SK	25	2	深鉢	胴	～ 2.0mm	少	少	チャート	良	硬	にぶい赤褐	5YR5/4	隆帯・沈線	ヘラ状工具による矢羽根状爪形文・隆帯・沈線	勝坂系		
27	2	SK	25	3	深鉢	胴	～ 4.0mm	多	やや多		やや良	やや硬	橙	5YR6/6	縄文	縄文RL斜位	加曽利EⅠ		

No.	区	遺構	遺構番号	図版番号	器種	部位	胎土砂粒径	黒雲母	長石・石英	その他	焼成	硬度	色調	色調備考	文様要素	施文具	時期 型式	備考
28	2	SK	25	4	深鉢	底	～ 2.0mm	ふつつ	ふつつ		やや良	やや硬	橙	5YR6/6	縄文(胴部分)	縄文LR縦位	加曽利E I	底部に繊維痕あり。底径8.5cm。平底 表面風化
29	2	SK	26	1	深鉢	口縁	～ 2.0mm	多	多		良	硬	褐灰	7.5YR4/1	隆帯・沈線	棒状工具	加曽利E I	
30	2	SK	26	2	深鉢	口縁	～ 2.0mm	ふつつ	ふつつ		良	やや硬	にぶい橙	7.5YR6/4	撚糸	丸棒・撚糸R横位	加曽利E I	
31	2	SK	26	3	深鉢	口縁	～ 2.0mm	少	少		ふつつ	やや硬	にぶい褐	7.5YR5/4	隆帯・沈線・縄文	丸棒・縄文RL横位	加曽利E II	
32	2	SK	26	4	深鉢	口縁～ 胴下	～ 4.0mm	少	やや多		ふつつ	やや軟	橙	5YR6/6	沈線・縄文	丸棒・縄文LR縦位	加曽利E III	
33	2	SK	26	5	深鉢	把手	～ 2.0mm	少	ふつつ	チャート	やや良	やや硬	橙	2.5YR6/8	隆帯・沈線	棒状工具	加曽利E I 古	
34	2	SK	26	6	深鉢	胴上	～ 1.0mm	少	少		やや不良	軟	橙	7.5YR7/6	刺突	棒状工具	加曽利E II	
35	2	SK	26	7	深鉢	胴	～ 2.0mm	少	少		ふつつ	ふつつ	にぶい褐	7.5YR5/4	櫛描・沈線	棒状工具	加曽利E II	
36	2	SK	27	1	深鉢	口縁～ 胴	～ 2.0mm	少	ふつつ	結晶片岩	やや良	やや硬	橙	7.5YR6/6	沈線・刺突	丸棒	加曽利E II	
37	2	SK	27	2	深鉢	口縁	～ 1.0mm	少	やや少		やや良	やや硬	橙	7.5YR4/3	沈線・縄文	棒状工具・縄文RL横位	加曽利E III	
38	2	SK	28	1	深鉢	口縁	～ 1.0mm	少	少		やや良	やや硬	橙	7.5YR6/6	沈線	棒状工具	加曽利E III	
39	2	SK	28	2	深鉢	胴上	～ 3.0mm	少	少		やや良	やや硬	にぶい赤褐	5YR4/3	隆帯		阿玉台 I b	
40	2	SK	28	3	深鉢	胴	～ 4.0mm	少	ふつつ		やや良	やや軟	明赤褐	2.5YR5/8	隆帯・刺突・押引	竹管・棒状工具	勝坂 I	
41	2	SK	28	4	深鉢	胴	～ 2.0mm	少	やや少		やや不良	ふつつ	橙	7.5YR6/6	沈線・縄文	棒状工具・縄文LR横位	加曽利E II	
42	2	SK	28	5	深鉢	胴	～ 3.0mm	やや少	やや少		ふつつ	ふつつ	明赤褐	5YR5/6	撚糸	撚糸R縦位	加曽利E I	
43	2	SK	30	1	深鉢	口縁	～ 4.0mm	少	やや少		ふつつ	やや軟	明黄褐	10YR6/6	沈線	丸棒	加曽利E II	
44	2	SK	30	2	深鉢	胴上	～ 3.0mm	少	やや少		やや良	やや硬	にぶい黄褐	10YR4/3	隆帯・沈線	丸棒	加曽利E II	
45	2	SK	30	3	深鉢	胴	～ 2.0mm	少	やや少	金雲母	やや良	やや硬	にぶい赤褐	5YR5/4	沈線	丸棒	阿玉台 II	
46	2	SK	30	4	深鉢	胴	～ 2.0mm	少	やや少		やや不良	やや軟	橙	7.5YR6/6	撚糸	撚糸L縦位	加曽利E I	
47	2	SK	32	1	深鉢	口縁	～ 5.0mm	少	やや少	結晶片岩 金雲母	やや良	硬	明赤褐	5YR5/6	隆帯		阿玉台 II	
48	2	SK	32	2	深鉢	口縁	～ 2.0mm	やや少	やや少		やや良	やや硬	にぶい赤褐	5YR4/4	沈線・口縁に圧痕	棒状工具	勝坂 I	
49	2	SK	32	3	深鉢	把手	～ 2.0mm	やや少	やや少		やや良	硬	明赤褐	5YR5/6	隆帯・隆帯先端に刻み	丸棒	阿玉台 II	SK32-5と同一個体
50	2	SK	32	4	深鉢	口縁	～ 2.0mm	やや少	やや少		やや良	やや硬	にぶい褐	7.5YR5/4	隆帯・縄文	縄文LR横位	加曽利E III	
51	2	SK	32	5	深鉢	把手	～ 3.0mm	やや少	やや少		やや良	やや硬	明赤褐	5YR5/6	隆帯・隆帯先端に刻み	丸棒	阿玉台 II	SK32-3と同一個体
52	2	SK	32	6	深鉢	口縁	～ 1.0mm	少	少		やや良	ふつつ	明褐	7.5YR5/6	刺突のある隆帯・沈線	棒状工具	阿玉台 II	SK32-9と同一個体
53	2	SK	32	7	深鉢	胴上	～ 2.0mm	少	少		やや良	硬	明赤褐	5YR5/6	沈線・縄文	棒状工具・縄文RL縦位	加曽利E III	
54	2	SK	32	8	深鉢	胴上	～ 5.0mm	少	少		やや良	やや硬	褐	7.5YR4/6	隆帯・沈線	棒状工具	阿玉台 II	
55	2	SK	32	9	深鉢	胴	～ 3.0mm	少	少		やや良	やや硬	明赤褐	5YR5/6	刺突のある隆帯・沈線	棒状工具	阿玉台 II	SK32-6と同一個体

No.	区	遺構	遺構	図版 番号	器種	部位	胎土砂 粒径	黒雲 母	長石・ 石英	その他	焼成	硬度	色調	色調備考	文様要素	施文具	時期	型式	備考
56	2	SK	32	10	深鉢	胴上	～ 4.0mm	やや 少	少	結晶片岩	やや良	やや硬	赤褐	5YR4/8	刺突のある隆帯・沈線	棒状工具	勝坂 I		
58	2	SK	32	11	深鉢	胴	～ 5.0mm	やや 少	やや 少	結晶片岩 金雲母	やや良	やや硬	橙	5YR6/6	刺突のある隆帯・沈線・刺 突	棒状工具	勝坂 I		SK32-16と同一個体
59	2	SK	32	12	深鉢	胴	～ 2.0mm	やや 少	やや 少	結晶片岩	やや良	やや硬	明赤褐	5YR5/6	刺突の有る隆帯・沈線・刺 突	棒状工具	阿玉台 II		SK32-6、9、12、13は同一個体
60	2	SK	32	13	深鉢	胴	～ 5.0mm	やや 少	やや 少		やや良	やや硬	明赤褐	5YR5/6	刺突の有る隆帯・沈線・刺 突	棒状工具	阿玉台 II		
61	2	SK	32	14	深鉢	胴	～ 4.0mm	ふつう	やや 少	結晶片岩	やや良	やや硬	明赤褐	5YR5/6	刺突・沈線	棒状工具	勝坂 I		
62	2	SK	32	15	深鉢	胴	～ 5.0mm	やや 少	やや 少		やや良	やや硬	明赤褐	5YR5/6	刺突・沈線	棒状工具	勝坂 I		
63	2	SK	32	16	深鉢	胴	～ 5.0mm	ふつう	やや 少	結晶片岩	やや良	やや硬	明赤褐	5YR5/6	刺突・沈線	棒状工具	勝坂 I		SK32-11と同一個体
64	2	SK	32	17	深鉢	胴	～ 2.0mm	少	少	金雲母	やや不 良	やや軟	橙	5YR6/6	刺突	棒状工具	阿玉台 II		
65	2	SK	32	18	深鉢	底	～ 3.0mm	少	ふつう	結晶片岩	ふつう	やや硬	橙	5YR6/6			中期中葉		
66	2	SK	33	1	深鉢	胴～底	～ 1.0mm	やや 少	やや 少		やや良	やや硬	赤褐	5YR4/6	刺突のある隆帯・沈線・押 引	棒状工具	阿玉台 II		
67	2	SK	33	2	深鉢	底	～ 1.0mm	少	少	金雲母	やや良	硬	明赤褐	5YR5/6			不明		底に何かの痕/網代痕
68	2	SK	33	3	深鉢	胴	～ 1.0mm	少	少		やや不 良	やや軟	明赤褐	5YR5/8			中期中葉		
69	2	SK	34	1	深鉢	口縁	～ 2.0mm	少	やや 少		やや不 良	やや軟	にぶい褐	7.5YR5/4	縄文	縄文LR縦位	加曽利E II		
70	2	SK	34	2	深鉢	胴	～ 1.0mm	少	やや 少		やや不 良	ふつう	にぶい赤 褐	5YR4/4	隆帯・押引	棒状工具	阿玉台 I b		
71	2	SK	34	3	深鉢	口縁	～ 3.0mm	少	やや 少	結晶片岩	ふつう	やや軟	明赤褐	5YR5/8	隆帯・沈線	丸棒	勝坂 I		
72	2	SK	34	4	深鉢	胴	～ 1.0mm	少	やや 少		やや不 良	やや軟	橙	5YR6/6	沈線・縄文	棒状工具・縄文RL縦位	加曽利E III		
73	2	SK	36	1	深鉢	胴	～ 2.0mm	少	少		ふつう	やや硬	にぶい橙	7.5YR6/4	隆帯・櫛描	棒状工具	加曽利E II		
74	2	SK	36	2	深鉢	口縁～ 胴	～ 4.0mm	やや 少	ふつう		やや良	やや硬	橙	7.5YR6/6	隆帯・沈線・縄文	棒状工具・縄文LR縦位	加曽利E III		
75	2	SK	36	3	深鉢	胴	～ 4.0mm	やや 少	ふつう		ふつう	やや軟	橙	5YR6/6	沈線・縄文	棒状工具・縄文RL横位	不明		
76	2	SK	36	4	深鉢	胴	～ 1.0mm	ふつう	ふつう		やや不 良	ふつう	褐	7.5YR4/3	隆帯・沈線	棒状工具	阿玉台 II		
77	2	SK	36	5	深鉢	胴	～ 3.0mm	やや 少	ふつう	チャート	やや不 良	やや軟	橙	5YR6/8	縄文	縄文LR斜位	加曽利E III		
78	2	SK	37	1	深鉢	口縁	～ 1.0mm	ふつう	やや 少		やや不 良	やや軟	褐	7.5YR4/4			中期中葉		
79	2	SK	37	2	深鉢	胴	～ 1.0mm	少	少		ふつう	やや軟	橙	7.5YR6/6	沈線	棒状工具	加曽利E I		
80	2	SK	38	1	深鉢	胴	～ 3.0mm	少	やや 多	金雲母	やや不 良	やや軟	明褐	7.5YR5/6	沈線・押引	棒状工具	阿玉台 I b		
81	2	SK	38	2	深鉢	胴	～ 2.0mm	少	少		やや良	やや硬	明赤褐	5YR5/6	沈線・刻みのある隆帯	棒状工具	勝坂 I		
82	2	SK	38	3	深鉢	底	～ 2.0mm	少	ふつう		やや不 良	やや軟	明赤褐	5YR5/6			中期中葉		
83	2	SK	45	1	深鉢	底	～ 3.0mm	やや 少	ふつう	金雲母	ふつう	やや硬	明赤褐	2.5YR5/8			阿玉台 I b		網代痕？
84	2	SK	45	2	深鉢	胴上	～ 4.0mm	やや 少	ふつう		ふつう	やや軟	明赤褐	5YR6/8	隆帯・刺突	棒状工具	勝坂 I		



No.	区	遺構	遺構	図版 番号	器種	部位	胎土砂 粒径	黒雲 母	長石・ 石英 やや 少	その他	焼成	硬度	色調	色調備考	文様要素	施文具	時期 型式	備考
85	2	SK	46	1	深鉢	胴	～ 2.0mm	少	やや 少	金雲母	やや良	やや硬	にぶい褐	7.5YR5/4	沈線	丸棒	中期中葉	
86	2	SK	55	1	深鉢	胴	～ 5.0mm	やや 少	やや 多		ふつう	ふつう	明褐	7.5YR5/6			加曽利EⅢ	
87	2	SK	55	2	深鉢	胴	～ 4.0mm	やや 少	やや 多		ふつう	やや軟	褐	10YR4/6	沈線	棒状工具	加曽利EⅢ	
88	2	SK	55	3	深鉢	胴～底	～ 5.0mm	やや 少	やや 少		ふつう	ふつう	明赤褐	5YR5/6			加曽利EⅢ	
89	2	SK	56	1	深鉢	胴上	～ 3.0mm	少	やや 少		やや良	やや硬	橙	7.5YR6/6	隆帯・縄文	縄文RL縦位	加曽利EⅢ	
90	2	SK	56	2	深鉢	口縁	～ 3.0mm	少	やや 多		やや良	やや硬	橙	5YR6/6	隆帯・沈線	丸棒	加曽利EⅡ	
91	2	SK	56	3	深鉢	胴	～ 2.0mm	やや 少	少		やや良	硬	明赤褐	5YR5/8	刻みと沈線のある隆帯・撚 糸	撚糸R縦位	加曽利EⅠ	
92	2	SK	56	4	深鉢	口縁	～ 7.0mm	少	やや 少	金雲母	やや良	硬	明褐	5YR5/6	刻みのある隆帯・押引	棒状工具	阿玉台Ⅰb	
93	2	SK	57	1	深鉢	胴	～ 3.0mm	少	やや 多	結晶片岩	ふつう	やや軟	黄橙	10YR8/6	縄文	縄文RL縦位	加曽利EⅡ	
94	2	SK	58	1	深鉢	口縁	～ 3.0mm	やや 少	やや 多	チャート	ふつう	ふつう	橙	5YR6/8	隆帯・縄文	縄文LR縦位	加曽利EⅡ	
95	2	SK	58	2	深鉢	胴上	～ 4.0mm	少	やや 多		やや不 良	やや軟	明褐	7.5YR5/6	撚糸?・隆帯		加曽利EⅡ	
96	2	SK	59	1	深鉢	口縁	～ 2.0mm	少	ふつう		やや不 良	軟	灰黄褐	10YR6/2	沈線	棒状工具	不明	
97	2	SK	60	1	深鉢	口縁	～ 2.0mm	やや 少	やや 少		ふつう	やや軟	明褐	7.5YR5/6	隆帯		加曽利EⅡ	
98	2	SK	60	2	深鉢	胴上	～ 2.0mm	やや 少	ふつう		ふつう	ふつう	明赤褐	5YR5/8	隆帯・押引	へら状工具	勝坂Ⅰ	
99	2	SK	60	3	深鉢	胴下	～ 3.0mm	少	やや 多		ふつう	ふつう	明褐	7.5YR5/6	隆帯・刺突	半裁竹管	勝坂Ⅱ	
100	2	SK	60	4	深鉢	胴	～ 4.0mm	少	やや 多	チャート	ふつう	ふつう	明赤褐	5YR5/6			中期中葉	
101	2	SK	69	1	深鉢	胴	～ 5.0mm	少	やや 多	チャート	ふつう	やや硬	明赤褐	5YR5/6	隆帯・縄文	縄文RL縦位	加曽利EⅠ	
102	2	SK	69	2	深鉢	口縁	～ 5.0mm	少	やや 少	結晶片岩	やや良	ふつう	明赤褐	5YR5/6	隆帯・沈線	丸棒・棒状工具	加曽利EⅠ	
103	2	SK	69	3	深鉢	口縁	～ 7.0mm	少	やや 多		ふつう	やや軟	明赤褐	5YR5/6	隆帯・沈線・縄文	丸棒・縄文LR縦位	加曽利EⅠ	
104	2	SK	69	4	深鉢	胴	～ 2.0mm	少	やや 少		やや良	やや硬	にぶい褐	7.5YR5/4	隆帯・縄文	縄文RL縦位	加曽利EⅠ	
105	2	SK	69	5	深鉢	胴	～ 4.0mm	少	ふつう		ふつう	ふつう	褐	7.5YR4/4	隆帯・縄文	縄文RL縦位	加曽利EⅠ	
106	2	SK	69	6	深鉢	胴	～ 3.0mm	少	ふつう		ふつう	ふつう	橙	7.5YR6/6	縄文	縄文RL縦位	加曽利EⅠ	
108	2	SK	69	7	深鉢	胴	～ 3.0mm	少	やや 多		ふつう	やや硬	明褐	7.5YR5/6	隆帯・沈線・縄文	丸棒・縄文RL縦位	加曽利EⅠ	
107	2	SK	70	1	深鉢	把手	～ 2.0mm	少	ふつう		やや良	やや硬	明赤褐	5YR5/6	隆帯・沈線	丸棒	加曽利EⅠ古	
109	2	SK	81	1	深鉢	口縁	～ 2.0mm	少	やや 少		やや不 良	軟	橙	5YR6/6			不明	
110	2	SK	81	2	深鉢	胴上	～ 2.0mm	少	少		ふつう	やや軟	橙	5YR6/8	隆帯		加曽利EⅡ	
111	2	SK	81	3	深鉢	胴下～ 底	～ 5.0mm	やや 少	ふつう		ふつう	やや硬	橙	7.5YR6/8	沈線・縄文	棒状工具・縄文RL縦位	加曽利EⅢ	
112	2	SK	83	1	深鉢	胴	～ 1.0mm	少	少		ふつう	やや硬	明黄褐	10YR7/6	沈線・縄文	棒状工具・縄文RL縦位	加曽利EⅢ	

No.	区	遺構	遺構	図版 番号	器種	部位	胎土砂 粒径	黒雲 母	長石・ 石英	その他	焼成	硬度	色調	色調備考	文様要素	施文具	時期 型式	備考
113	2	SK	83	2	深鉢	胴	～ 1.0mm	少	少		良	やや硬	灰黄褐	10YR6/2	隆帯・縄文	縄文LR縦位	加曽利EⅢ	
114	2	SK	84	1	深鉢	口縁	～ 3.0mm	少	少		やや良	硬	橙	5YR6/8			勝坂Ⅲ	
115	2	SK	84	2	深鉢	口縁	～ 1.0mm	少	やや 少	金雲母	ふつう	やや硬	橙	7.5YR6/6	沈線	棒状工具	中期中葉末	
116	2	SK	84	3	深鉢	口縁	～ 3.0mm	少	やや 少	結晶片岩	やや不 良	やや軟	橙	7.5YR6/8	隆帯・沈線	棒状工具	勝坂Ⅱ	
117	2	SK	84	4	深鉢	底部	～ 3.0mm	少	やや 少		ふつう	ふつう	橙	5YR6/6	隆帯・沈線	棒状工具	阿玉台	
118	2	SK	84	5	深鉢	胴	～ 5.0mm	少	やや 少	結晶片岩	やや良	やや硬	明赤褐	5YR5/6	隆帯・刺突	棒状工具	勝坂Ⅱ	
119	2	SK	84	6	深鉢	胴	～ 2.0mm	少	やや 少	チャート	ふつう	ふつう	橙	5YR6/6	隆帯・沈線・刺突	丸棒・棒状工具	焼町類型	
120	2	SK	84	7	深鉢	胴	～ 2.0mm	少	やや 少		やや不 良	やや軟	橙	7.5YR6/6	隆帯・沈線	棒状工具	加曽利EⅠ	
121	2	SK	84	8	深鉢	胴上	～ 2.0mm	少	ふつう		ふつう	やや硬	明赤褐	5YR5/6	隆帯・押引・縄文	棒状工具・縄文RL縦位	勝坂Ⅱ	SK84-11と同一個体
122	2	SK	84	9	深鉢	胴	～ 2.0mm	少	少	結晶片岩	やや良	やや硬	明赤褐	5YR5/6	沈線・燃糸	棒状工具・燃糸R縦位・燃糸L縦位	加曽利EⅠ	
123	2	SK	84	10	深鉢	胴	～ 2.0mm	少	少		やや良	やや硬	橙	7.5YR6/6	沈線・刺突・縄文	縄文RL縦位・半裁竹管・丸棒	加曽利EⅠ	
124	2	SK	84	11	深鉢	胴	～ 3.0mm	少	やや 少		やや良	やや硬	明赤褐	5YR5/6	隆帯・沈線・押引・縄文	縄文RL横位・縄文RL縦位・棒状工具	勝坂Ⅱ	SK84-8と同一個体
125	2	SK	84	12	深鉢	胴上	～ 2.0mm	少	やや 少		やや良	軟	にぶい橙	7.5YR6/4	縄文後沈線	縄文LR縦位・丸棒	加曽利EⅡ	
126	2	SK	85	1	深鉢	胴下～ 底	～ 5.0mm	やや 少	やや 少		やや不 良	やや軟	明黄褐	10YR7/6	沈線・縄文	棒状工具・縄文LR縦位	加曽利EⅢ	
127	2	SK	###	1	深鉢	口縁～ 胴	～ 5.0mm	やや 多	やや 少	チャート	ふつう	ふつう	明褐灰	7.5YR7/2	沈線・縄文	縄文LR横位・縄文LR縦位・棒状工具	加曽利EⅢ	

## 3 区・赤彩土器觀察表

No.	区	区備	遺構	遺構	整理	図版	器種	部位	胎土砂粒	雲母	長石・	その他	焼成	硬度	色調	色調備考	彩色部色調	彩色部色調備	文様要素	施文具	施文の特徴	口縁形態	時期・型式	備考	図版番号
1	3		SK	87	A	A	浅鉢	胴上	～4.0mm	少	少	結晶片岩	良	やや軟	明赤褐	5YR5/6	赤	7.5YR4/6	黒彩・赤彩		黒彩後、赤彩。		加曽利E併	以下、全て表面化粧粘土。	
2	3		SK	87	B	B	浅鉢	胴上	～3.0mm	少	やや多		良	やや硬	橙	5YR5/6	赤褐	10R4/3	赤彩				加曽利E併		
3	3		SK	87	C	C	浅鉢	口縁	～3.0mm	ふつう	ふつう		良	やや硬	にぶい橙	7.5YR6/4	赤	10R4/6	黒彩・赤彩			平縁内凸	加曽利E併		
4	3		SK	87	D	D	浅鉢	口縁	～2.0mm	やや多	やや多		良	やや硬	にぶい褐	7.5YR5/3	赤	10R5/8	沈線・黒彩・赤彩	丸棒	黒彩後、赤彩。	丸縁	加曽利E併		
5	3		SK	87	E	E	浅鉢	口縁	～7.0mm	少	やや少	結晶片岩	良	やや軟	橙	7.5YR7/6	にぶい赤褐	2.5YR4/6	赤彩			丸縁内凸	加曽利E併		
6	3		SK	87	F	F	浅鉢	口縁	～2.0mm	少	やや少	結晶片岩	良	ふつう	橙	7.5YR6/6	赤	10R4/4	沈線・黒彩・赤彩	丸棒	黒彩後、赤彩。	平縁	加曽利E併		
7	3		SK	87	G	G	浅鉢	口縁	～3.0mm	少	やや多	結晶片岩	良	ふつう	にぶい橙	7.5YR7/4	赤褐	10R4/4	沈線・黒彩・赤彩	丸棒		平縁	加曽利E併		
8	3		SK	87	H	H	浅鉢	胴	～2.0mm	少	やや少	結晶片岩	良	ふつう	にぶい橙	7.5YR6/4	暗赤	10R3/4	黒彩・赤彩		黒と赤混じる。		加曽利E併		
9	3		SK	88	A	A	浅鉢	胴	～3.0mm	少	やや少		良	やや硬	橙	2.5YR6/6	赤暗赤灰	10R5/8 2.5YR3/1	沈線・黒彩・赤彩	丸棒	黒彩後、赤彩。		加曽利E併行		
10	3		SK	92	A	A	浅鉢	胴	～2.0mm	やや少	やや少		良	やや硬	褐灰	7.5YR4/1	赤黒褐	10R5/6 10YR3/1	黒彩・赤彩		黒彩後、赤彩。		加曽利E併		
11	3		SK	93	A	A	浅鉢	口縁	～4.0mm	少	やや少	結晶片岩	良	ふつう	赤褐	5YR4/6	赤	10YR4/6	黒彩・赤彩		黒彩後、赤彩。	平縁外凸	加曽利E併		
12	3		SK	93	B	B	浅鉢	口縁～胴	～3.0mm	少	やや多	結晶片岩	やや良	やや軟	にぶい黄橙	10YR6/3	赤黒	7.5R4/6 7.5YR2/1	黒彩・赤彩		黒彩・赤彩色分け文様か。	平縁	加曽利E併	口径(推定)28.0cm	
13	3		SK	95	A	A	浅鉢	胴	～3.0mm	やや少	ふつう		良	ふつう	黒褐	10YR3/2	赤褐	10R4/4	条痕・黒彩・赤彩	ササラ	黒彩後、赤彩。		加曽利E併		
14	3		SK	96	A	A	浅鉢	胴	～3.0mm	少	ふつう		良	ふつう	明黄褐	10YR7/6	赤褐灰	10R5/8 10YR4/1	黒彩・赤彩		黒彩後、赤彩。		加曽利E併	表側風化。赤彩は表裏殆ど剥落。	
15	3		SK	96	B	B	浅鉢	胴	～3.0mm	やや少	やや多	結晶片岩	良	ふつう	にぶい黄橙	10YR6/4	明赤褐赤灰	2.5YR5/6 2.5YR4/1	黒彩・赤彩		黒彩後、赤彩。		加曽利E併		
16	3		SK	96	C	C	浅鉢	口縁	～2.0mm	少	やや多	結晶片岩	良	ふつう	にぶい黄橙	10YR7/4	赤黒褐	10R4/6 2.5YR3/1	隆帯・沈線・黒彩・赤彩	丸棒	黒彩後、赤彩。	突起あり内外凸	加曽利E併		
17	3		SK	96	D	D	浅鉢	口縁	～2.0mm	少	ふつう	結晶片岩	良	ふつう	明黄褐	10YR7/6	赤褐灰	10R4/6 10YR4/1	沈線・黒彩・赤彩	丸棒	黒彩後、赤彩。	平縁内凸	加曽利E併	内面剥落。	
18	3		SK	96	E	E	浅鉢	胴	～3.0mm	少	ふつう	結晶片岩	良	ふつう	にぶい赤褐	5YR5/4	赤褐黒褐	10R4/4 7.5YR2/2	黒彩・赤彩		黒と赤混じる。		加曽利E併		
19	3		SK	96	H	F	浅鉢	口縁	～2.0mm	少	やや少		良	ふつう	にぶい黄橙	10YR7/4	赤褐褐灰	2.5YR4/4 10YR4/1	黒彩・赤彩		黒彩後、赤彩。		加曽利E併		
20	3		SK	96	G	G	浅鉢	胴	～2.0mm	少	やや多		良	ふつう	明黄褐	10YR7/6	明赤褐褐灰	2.5YR5/8 10YR5/1	黒彩・赤彩		黒彩後、赤彩。		加曽利E併		
21	3		SK	96	F	H	浅鉢	胴	～2.0mm	少	やや多		やや良	やや軟	にぶい褐	10YR5/2	赤黒褐	10R4/8 10YR3/2	黒彩・赤彩		黒彩後、赤彩。		加曽利E併		
22	3		SK	96	I	I	浅鉢	口縁	～3.0mm	ふつう	ふつう	結晶片岩	良	ふつう	にぶい橙	7.5YR7/4	赤褐灰	10R 7.5YR4/1	隆帯?・黒彩・赤彩		黒彩後、赤彩。	平縁内凸	加曽利E併	体面浮き彫りか?口径(推定)24.0cm	
23	3		SK	96	J	J	浅鉢	把手～胴	～4.0mm 4	少	やや多	結晶片岩	やや良	ふつう	にぶい橙	7.5YR6/4	赤黒褐	10YR4/8 7.5YR3/1	沈線・黒彩・赤彩	丸棒	黒彩後、赤彩。		加曽利E併行?	把手部分に穴があいている(穴径1.6cm)。口径(推定)37.0cm	
24	3		SK	96	K	K	浅鉢	口縁～胴	～5.0mm	少	やや多	結晶片岩	良	やや硬	にぶい褐	7.5YR5/3	赤黒	7.5R4/6 N2/	黒彩・赤彩による半円2重文様		黒彩後、赤彩。	平縁内凸	加曽利E併	口縁折り返す口径(推定)24.0cm	
25	3		SK	96	L	L	浅鉢	口縁～胴	～3.0mm	少	やや多	結晶片岩	やや良	やや軟	にぶい黄橙	10YR7/3	赤褐灰	7.5R4/8 10YR4/1	隆帯(渦巻突起)沈線・黒彩・赤彩	丸棒	黒彩後、赤彩。	平縁内凸	加曽利E併	刺突文?口径(推定)30.4cm	
26	3		SK	98	A	A	浅鉢	胴	～3.0mm	ふつう	やや少	結晶片岩	良	硬	にぶい橙	7.5YR6/4	赤	7.5YR4/8	赤彩				加曽利E併		
27	3		SK	102	A	A	浅鉢?	把手	～1.0mm	少	ふつう		良	ふつう	灰褐	7.5YR4/2	赤黒	7.5R4/8 N2/	黒彩・赤彩		黒彩後、赤彩。		加曽利E併		
28	3		SK	103	F	A	浅鉢	胴上	～4.0mm	少	ふつう	結晶片岩	良	ふつう	にぶい褐	7.5YR5/3	赤黒褐	10R4/6 10YR3/1	黒彩・赤彩		黒彩後、赤彩。		加曽利E併		
29	3		SK	103	A	B	浅鉢	口縁	～2.0mm	少	やや少	結晶片岩	良	やや硬	灰褐	7.5YR4/2	赤	7.5R4/8	隆帯・沈線・赤彩			平縁外凸	加曽利E併行	口径(推定)41.0cm。補修孔あり(8.0mm)。	
30	3		SK	103	B	C	浅鉢	口縁	～2.0mm	少	ふつう	結晶片岩	良	ふつう	褐灰	7.5YR5/1	赤	7.5R4/8	赤彩			平縁外凸	加曽利E併		

No.	区	区備	遺構	遺構	整理	図版	器種	部位	胎土砂粒	雲母	長石・	その他	焼成	硬度	色調	色調備考	彩色部色調	彩色部色調備考	文様要素	施文具	施文の特徴	口縁形態	時期・型式	備考	図版番号
31	3		SK	103	D	D	浅鉢	口縁	～3.0mm	少	やや少		良	やや硬	にぶい橙	7.5YR6/4	赤	7.5R4/4	沈線・赤彩	丸棒		平縁外凸	加曽利E併		
32	3		SK	103	C	E	浅鉢？	胴	～2.0mm	やや少	ふつう		良	やや硬	にぶい橙	7.5YR6/4	暗赤	10R3/6	沈線・黒彩・赤彩	丸棒	黒彩後、赤彩。		加曽利E併		
33	3		SK	103	E	F	浅鉢	口縁	～1.0mm	少	ふつう		良	やや硬	にぶい橙	7.5YR6/4	赤黒褐	10R4/6 5YR2/1	黒彩・赤彩		黒彩後、赤彩。	平縁外凸	加曽利E併		
34	3		SK	111	A	A	浅鉢	胴	～2.0mm	やや少	やや多	結晶片岩	良	ふつう	橙	2.5YR6/6	赤褐 褐灰	10R4/4 7.5YR4/1	黒彩・赤彩		黒彩後、赤彩。		加曽利E併		
35	3		SK	125	A	A	浅鉢	口縁	～2.0mm	少	やや少		良	やや硬	黒褐	7.5YR3/2	赤黒	7.5R4/6 7.5YR2/1	黒彩・赤彩		黒彩後、赤彩。		加曽利E併		
36	3		SK	129	A	A	浅鉢	口縁	～2.0mm	やや少	やや多		良	やや硬	にぶい橙	7.5YR5/3	赤	10R4/6	沈線・赤彩		赤彩僅かに残る。	平縁外凸	加曽利E併		
37	3		SK	129	B	B	浅鉢	胴～底部	～3.0mm	少	やや少	結晶片岩	良	硬	明赤褐	2.5YR5/6	赤	7.5R4/6	隆帯・沈線・赤彩		渦巻文様に赤彩。		加曽利E併	平底・底径(推定)9.0cm。	
38	3		SK	132	A	A	浅鉢	口縁～胴	～3.0mm	多	やや多	結晶片岩	良	やや硬	にぶい橙	7.5YR7/4	赤褐 黒褐	10R4/4 5YR2/1	黒彩・赤彩 面赤彩のみ	内	口唇部黒彩。 渦巻隆帯一部分赤彩。	平縁内凸		2箇所対称に渦巻隆帯か。 口径17.8cm。	
39	3		SK	152	C	A	浅鉢	胴	～1.0mm	少	やや少		良	やや硬	褐灰	10YR4/1	赤褐 褐灰	10R4/6 5YR4/1	黒彩・赤彩		黒彩後、赤彩。		加曽利E併		
40	3		SK	152	B	B	浅鉢	胴	～1.0mm	少	やや少		良	やや硬	にぶい褐	7.5YR5/3	赤褐灰	10R4/8 10YR4/1	黒彩・赤彩		黒彩後、赤彩。		加曽利E併		
41	3		SK	152	D	C	浅鉢	口縁	～3.0mm	少	少	結晶片岩	良	やや硬	にぶい橙	5YR6/4	赤黒褐	10R4/6 5YR2/1	隆帯・沈線・(7区画文様)区画内半円山形3つの文様		黒彩後、赤彩。		加曽利E併 行？	口径(推定)38.0cm	
42	3		SK	152	A	D	浅鉢?	口縁	～2.0mm	多	多	金雲母	良	やや硬	にぶい橙	7.5YR6/4	赤	10R5/8	隆帯・沈線・赤彩		赤彩僅かに残る。	波状丸縁内凸	阿玉台併行		
43	3		SK	153	A	A	浅鉢	口縁	～1.0mm	少	ふつう		良	硬	にぶい黄橙	10YR5/3	赤黒	10R4/8 N2/	沈線・黒彩・赤彩	丸棒	黒彩後、赤彩。	平縁外凸	加曽利E併		
44	3		SK	153	B	B	浅鉢	口縁	～1.0mm	少	少		良	やや硬	明赤褐	5YR5/4	赤	10R4/6	赤彩			角縁内凸	加曽利E併	内外面剥落部分あり。	
45	3		SK	153	C	C	浅鉢？	胴	～2.0mm	少	少	結晶片岩	良	やや硬	にぶい褐	7.5YR5/4	赤 暗赤褐	10R4/6 5YR3/2	黒彩・赤彩		黒彩後、赤彩。		加曽利E併	外面剥落。	
46	3		SK	153	D	D	浅鉢	口縁	～1.0mm	少	少		良	やや硬	褐	7.5YR4/3	暗褐	10R3/4	赤彩			平縁内凸	加曽利E併		
47	3		SK	153	E	E	浅鉢	口縁	～3.0mm	少	やや少		良	やや硬	明褐	7.5YR5/6	赤 赤黒	7.5R4/6 2.5YR2/1	隆帯・沈線・黒彩・赤彩	丸棒	沈線内に黒彩。	平縁内凸？	加曽利E1～E2	内面剥落部分あり。	
48	3		SK	153	F	F	浅鉢	胴	～2.0mm	少	やや少		良	やや硬	にぶい橙	7.5YR5/2	赤褐 青黒	10R4/4 5PB1.7/	黒彩・赤彩		内面黒彩。		？		
49	3		SK	153	G	G	浅鉢	胴	～3.0mm	少	少		良	硬	にぶい橙	7.5YR6/4	赤褐灰	7.5R4/8 5YR4/1	内面黒彩・赤彩	丸棒	外面沈線内に赤彩。 内面黒彩後、赤彩で文様。		加曽利E併 行？		
50	3		SK	154	A	A	浅鉢	胴上	～2.0mm	少	やや少		良	やや硬	灰褐	7.5YR5/2	赤	10R4/8	赤彩			平縁外凸？	加曽利E併		
51	3		SK	154	B	B	浅鉢	ほぼ完形	～3.0mm	少	やや少		良	硬	にぶい黄橙	10YR6/4	赤黒	7.5R4/8 2.5YR2/1	黒彩・赤彩		外面上半黒彩後、8単位積載による波状文。内面黒彩後、赤彩による文様表現。	平縁外凸？	加曽利E併 行？	口径33.2cm・容積約8.0L 底径8.8cm 胴部彩色なし。	
52	3		SK	155	A	A	浅鉢	胴上	～2.0mm	少	やや少		良	やや硬	にぶい褐	7.5YR5/4	赤	10R4/8	把手？・沈線・赤彩	丸棒？			？	内外面剥落部分あり。	
53	3		SK	155	B	B	浅鉢	胴上	～1.0mm	少	ふつう		良	やや硬	にぶい褐	7.5YR5/3	赤	10R4/8	沈線・黒彩・赤彩	丸棒			加曽利E併		
54	3		SK	155	C	C	浅鉢	胴上	～1.0mm	少	やや少	結晶片岩	良	やや硬	にぶい褐	7.5YR6/3	赤黒褐	10R4/6 10YR3/1	黒彩・赤彩		黒彩後、赤彩だが、一部混じる。	内凸？	加曽利E併	補修孔あり。1箇所は未貫通。	
55	3		SK	157	A	A	浅鉢	口縁	～2.0mm	少	やや少	チャート	良	ふつう	にぶい橙	7.5YR7/4	赤 オリーブ黒	7.5R4/6 5Y3/1	黒彩・赤彩		黒彩後、赤彩。	平縁	加曽利E併		
56	3		SK	157	C	B	浅鉢	胴	～3.0mm	少	やや少	結晶片岩	良	やや硬	にぶい橙	5YR6/4	赤黒	10R4/6 10Y2/	赤彩		下塗りの痕跡あり。		加曽利E併		
57	3		SK	157	D	C	浅鉢	胴下	～2.0mm	やや多	ふつう		良	やや硬	にぶい黄褐	10YR5/2	赤 黒褐	7.5YR4/6 5YR3/1	黒彩・赤彩		黒彩後、赤彩。		加曽利E併		
58	3		SK	157	B	D	浅鉢	胴上	～3.0mm	少	ふつう	結晶片岩	良	やや硬	にぶい橙	5YR6/4	赤 黒褐	7.5R4/6 10YR3/1	隆帯・黒彩・赤彩		黒彩後、赤彩。		加曽利E1～E2		

No.	区	区備	遺構	遺構	整理	図版	器種	部位	胎土砂粒	雲母	長石・	その他	焼成	硬度	色調	色調備考	彩色部色調	彩色部色調備考	文様要素	施文具	施文の特徴	口縁形態	時期・型式	備考	図版番号
59	3		SK	163	—	A	浅鉢？	口縁	～3.0mm	少	ふつう		良	やや硬	にぶい褐	7.5YR5/3	赤褐 黒褐	10R4/4 10YR3/1	黒彩・赤彩		黒彩後、赤彩。		加曽利E併		
60	3		SK	163	—	B	浅鉢	胴	～1.0mm	少	少		良	ふつう	にぶい橙	7.5YR6/4	赤褐灰	10R4/6 5YR4/1	黒彩・赤彩		黒彩後、赤彩。		加曽利E併		
61	3		SK	163	—	C	浅鉢	口縁	～2.0mm	少	少	結晶片岩	良	やや硬	明赤褐	5YR5/6	赤	7.5R4/6	赤彩			平縁	加曽利E併		
62	3		SK	163	—	D	浅鉢	胴	～3.0mm	少	やや多		良	やや硬	橙	5YR6/6	赤	7.5R4/6	赤彩				加曽利E併		
63	3		SK	169	A	A	浅鉢	口縁	～2.0mm	少	やや少		やや不良	やや軟	暗灰	N3/	赤	10R4/8	赤彩		赤彩僅かに残る。	平縁	加曽利E併	孔4箇所。中央2箇所は紐吊し孔か？	
64	3		SK	169	—	B	浅鉢	胴～底部	～3.0mm	少	ふつう	結晶片岩		硬	にぶい橙	5YR6/4	赤褐灰	7.5R4/6 5YR4/2	黒彩・赤彩		外面黒彩。内面は黒彩後赤彩の可能性		加曽利E併	底径(推定)9.0cm	
65	3		SK	169	C	C	浅鉢	口縁	～1.0mm	少	やや少	結晶片岩	良	やや硬	褐灰	7.5YR4/1	赤黒	7.5R4/6 7.5YR2/1	沈線・黒彩・赤彩	丸棒	内面は黒彩後赤彩。	平縁外凸	加曽利E併		
66	3		SK	169	B	D	浅鉢	口縁	～1.0mm	少	ふつう	結晶片岩	良	やや硬	灰黄褐	10YR5/2	赤黒褐	10R4/8 7.5YR3/1	沈線・黒彩・赤彩	丸棒	沈線内に赤彩よく残る。	凹縁外凸	加曽利E併		
67	3		SK	170	B	A	浅鉢	口縁	～2.0mm	少	ふつう	結晶片岩	良	やや硬	灰	N4/	明赤褐	2.5YR5/6	沈線・赤彩	篋？	赤彩僅かに残る。	平縁外凸	加曽利E併	SK170-Aと同一固体か	
68	3		SK	170	A	B	浅鉢	口縁	～2.0mm	少	ふつう		良	やや硬	黒褐	10YR3/	赤	10R4/6	沈線・赤彩	篋？	赤彩僅かに残る。	平縁外凸	加曽利E併	SK170-Bと同一固体か	
69	3		SK	172	27	A	浅鉢	口縁近く	～4.0mm	少	やや多	結晶片岩	良	硬	にぶい黄褐	10YR5/3	赤黒	7.5R4/8 N1.5/	黒彩・赤彩		内面黒彩後、赤彩。		加曽利E併	口縁剥落。	
70	3		SK	172	3	B	浅鉢？	胴上	～3.0mm	少	ふつう	結晶片岩	良	やや軟	橙	2.5YR6/6	赤黒褐	7.5R4/8 7.5YR3/1	隆帯・沈線・黒彩・赤彩	丸棒	隆帯に黒彩後、赤彩。		加曽利E併	口縁部輪積痕より剥落。	
71	3		SK	172	24	C	浅鉢	口縁近く	～5.0mm	少	やや多	結晶片岩	良	やや硬	橙	5YR7/6	橙褐灰	2.5YR6/6 7.5YR5/	黒彩・赤彩		外面に赤彩がうっすらと残る。内面にうっすら黒彩。		加曽利E併行？		
72	3		SK	172	—	D	浅鉢	口縁	～1.0mm	少	少		良	やや硬	灰褐	7.5YR6/2	赤青黒	10R5/6 5PB2/1	黒彩・赤彩		黒彩後、赤彩。	平縁	加曽利E併		
73	3		SK	173	—	A	浅鉢	口縁近く	～1.0mm	やや多	ふつう	結晶片岩	良	やや硬	にぶい橙	7.5YR6/4	赤黒褐	10R5/8 2.5Y3/1	黒彩・赤彩		黒彩後、赤彩。	平縁外凸	加曽利E併	口縁部輪積痕より剥落。	
74	3		SK	173	—	B	浅鉢	口縁	～3.0mm	少	少	結晶片岩	良	やや硬	にぶい橙	5YR6/4	赤褐灰	7.5R4/8 5YR4/1	隆帯・沈線・黒彩・赤彩	丸棒	黒彩後、赤彩。	平縁	加曽利E併		
75	3		SK	173	—	C	浅鉢	口縁近く	～3.0mm	少	少		良	やや硬	にぶい褐	7.5YR6/3	赤褐黒	10R4/4 N2/	黒彩・赤彩		黒彩後、赤彩。		加曽利E併	口縁部輪積痕より剥落。	
76	3		SK	173	—	D	浅鉢	口縁	～6.0mm	少	多	結晶片岩	良	やや硬	灰褐	7.5YR6/2	赤	10R4/4	赤彩		赤彩		加曽利E併	口唇部剥落。	
77	3		SK	177	A	A	浅鉢	口縁～胴	～3.0mm	少	ふつう	結晶片岩	良	やや軟	灰褐	7.5YR6/2	赤褐灰	7.5R4/8 5YR4/1	隆帯・沈線 単位か黒彩・赤彩	6	口唇部黒彩後赤彩。赤彩僅かに残る。	平縁	加曽利E併		
78	3		SK	178	—	A	浅鉢	口縁近く	～2.0mm	少	少		良	やや硬	灰褐	7.5YR6/2	赤褐 黒褐	10R4/4 7.5YR3/1	黒彩・赤彩		黒彩後、赤彩。		加曽利E併		
79	3		SK	178	—	B	浅鉢	胴	～1.0mm	少	少		良	やや硬	灰褐	7.5YR5/2	赤褐 黒褐	10R4/4 7.5YR3/1	黒彩・赤彩		内面黒彩後、赤彩。		加曽利E併	外面剥落。	
80	3		SK	178	1	C	浅鉢	胴	～1.0mm	ふつう	少		良	やや硬	灰褐	7.5YR6/2	赤褐灰	10R5/6 7.5YR4/1	黒彩・赤彩		内面全面黒彩後、赤彩。		加曽利E併		
81	3		SK	178	—	D	浅鉢	胴	～3.0mm	少	少		良	やや硬	褐灰	10YR4/1	赤黒	10R4/8 10YR2/1	黒彩・赤彩		内面黒彩後、赤彩。		加曽利E併		
82	3		SK	178	8	E	浅鉢	胴	～2.0mm	少	やや多		良	やや硬	灰黄褐	10YR5/2	赤褐	10R4/4	赤彩				加曽利E併	外面剥落部分あり。	
83	3		SK	178	2	F	浅鉢	胴	～3.0mm	少	少		良	やや硬	灰褐	7.5YR5/2	赤黒	10R4/6 10YR2/1	黒彩・赤彩		外面黒彩。 内面黒彩後赤彩。		加曽利E併行？		
84	3		SK	178	—	G	浅鉢	胴	～5.0mm	少	少		良	やや硬	灰褐	7.5YR5/2	赤黒	10R4/6 N2/	黒彩・赤彩		外面黒彩。 内面黒彩、赤彩。		加曽利E併行？		
85	3		SK	178	—	H	浅鉢	口縁	～2.0mm	少	少		良	やや硬	灰褐	5YR6/2	赤黒	10R5/6 10YR2/1	黒彩・赤彩		外面赤彩。 内面口唇部黒彩後赤彩。	平縁外凸	加曽利E併行？		
86	3		SK	183	—	A	浅鉢	口縁	～1.0mm	少	少		良	やや硬	にぶい赤褐	7.5YR5/3	明赤褐 黒褐	2.5YR5/6 7.5YR3/1	黒彩・赤彩		内面黒彩後、赤彩。		加曽利E併		

No.	区	区備	遺構	遺構	整理	図版	器種	部位	胎土砂粒	雲母	長石・	その他	焼成	硬度	色調	色調備考	彩色部色調	彩色部色調備	文様要素	施文具	施文の特徴	口縁形態	時期・型式	備考	図版番号
87	3		SK	187	—	A	浅鉢	ほぼ完形	～3.0mm	多	少	結晶片岩	良	やや硬	灰黄褐	10YR6/2	赤黒	10R4/6 N1.5/	黒彩・赤彩		外面工十黒彩後、8単位赤彩による波状文。内面黒彩後、赤彩による文様表現	平縁外凸	加曽利E併行？	口径47.2cm、底径10.4cm 容積約19.0l。	
88	3		SK	188	27	A	浅鉢	口縁～胴	～4.0mm				良	やや硬	橙	5YR6/6	赤	10R5/8	赤彩(区画文様の痕跡あり)			平縁外凸		口縁折り返している 口径(推定)40.0cm	
89	3		SK	188	—	B	浅鉢	口縁	～3.0mm	少	やや多		良	やや硬	暗灰	N3/	赤	7.5R4/6	沈線・赤彩		赤彩僅かに残る。	平縁外凸	加曽利E併		
90	3		SK	188	12	C	浅鉢	底部～	～2.0mm	少	少		良	硬	灰黄褐	10YR4/2	赤黒	7.5R4/6 N2/	黒彩・赤彩		赤彩僅かに残る。		加曽利E併	底径(推定)9.6cm 平底	
91	3		SK	188	29	D	浅鉢	底部～胴	～4.0mm	ふつう	ふつう		良	やや硬	灰褐	7.5YR5/2	赤褐黒	10R4/4 N2/	黒彩・赤彩		内面黒彩後、赤彩。		加曽利E併	底径(推定)9.6cm 平底	
92	3		SK	192	A	A	浅鉢	口縁	～2.0mm	少	ふつう		良	やや硬	褐灰	10YR4/1	赤黒	10R5/8 10YR2/1	黒彩・赤彩	内外	内外面黒彩後、赤彩。	平縁	加曽利E併		
93	3		SK	194	3	A	浅鉢？	口縁	～4.0mm		やや多		良	やや硬	にぶい赤褐	5YR5/3	赤	7.5R4/6	赤彩		内外面赤彩文様。	丸縁	加曽利E併		
94	3		SK	194	—	B	浅鉢	口縁近く	～3.0mm	少	少		良	やや硬	橙	2.5YR6/6	赤黒褐	7.5R4/6 5YR3/1	黒彩・赤彩		黒彩後、赤彩。		加曽利E併		
95	3		SK	194	—	C	浅鉢？	口縁近くか？	～1.0mm	少	少		良	やや軟	灰褐	7.5YR6/2	赤赤黒	7.5R4/8 10R2/1	隆帯・沈線・黒彩・赤彩		黒彩後、赤彩。		加曽利E併	内面剥落。	
96	3		SK	194	7	D	浅鉢	口縁～胴	～1.0mm	ふつう	ふつう	結晶片岩	良	やや硬	褐灰	7.5YR6/1	赤暗赤灰	7.5R4/6 7.5R3/1	隆帯渦巻赤彩文様その間に撚り糸文様黒彩沈線。	丸棒	黒彩後、赤彩。	凹縁内凸	加曽利E併行？	口径(推定)22.5cm	

No.	区	遺構	遺構 No.	整 理	図 版	器種	部 位	胎土砂 粒径	雲母	長石・ 石英	その他	焼成	硬度	色調	色調備考	彩色部色 調	彩色部色 調備考	文様要素	施 文	施文の特徴	口縁形 態	時期 型式	備考	図版 番号
1	3	遺構 外	(砂層)		1	浅鉢	口 縁	～ 1.0mm	ふつ う	多		良	やや 硬	明赤褐	2.5YR5/6	赤 黒	7.5R4/6 N2/	隆帯・沈線・黒彩・赤彩 口縁上半楕円内赤彩後赤彩	丸棒		平縁内 凸	加曽利E 併行	口径(推 定) 19.0cm	
2	3	遺構 外	(砂層)		2	浅鉢	口 縁	～ 3.0mm	少	少	結晶片 石	良	やや 硬	橙	5YR6/6	赤 黒褐	7.5R4/8 10YR3/1	黒彩・赤彩 口縁上半半円形の赤彩文様		口唇部黒彩後赤彩	平縁内 凸	加曽利E 併行	口径(推 定) 41.0cm	
3	3	遺構 外	(砂層)		3	浅鉢	口 縁	～ 3.0mm	少	多	結晶片 石	良	やや 硬	橙	5YR6/6	赤褐 褐灰	10R4/6 5YR4/1	口縁部内外共に赤彩 胴部うつすら黒彩		黒彩後赤彩	平縁内 凸	加曽利E 併行	口径(推 定) 23.0cm	
4	3	遺構 外	(砂層)		4	浅鉢	口 縁	～ 2.0mm	少	ふつ う		良	硬	灰褐	5YR5/2	赤 黒	10R4/6 N2/	口縁部黒彩後赤彩 胴部上半円形文様か			平縁内 凸	加曽利E 併行	口径(推 定) 40.0cm	
5	3	遺構 外	(砂層)		5	浅鉢？	口 縁	～ 3.0mm	少	多		良	やや 硬	にぶい橙	5YR6/3	赤 暗赤灰	7.5R4/6 10R3/1	ところどころ黒彩 赤彩文様有り		波状口縁上面に沈 線文様	波状 口縁？	加曽利E 併行		
6	3	遺構 外	(砂層)		6	浅鉢	口 縁	～ 4.0mm	少	多		良	やや 硬	灰褐	7.5YR5/2	赤 黒	10R4/6 N2/	黒彩・赤彩		黒彩後赤彩	平縁や 外凸	加曽利E 併行		
7	3	遺構 外	(砂層)		7	浅鉢	口 縁	～ 4.0mm	少	多		良	やや 硬	橙	5YR6/6	赤 赤灰	7.5R4/6 2.5YR4/1	黒彩・赤彩 胴部全面うつすら黒彩		平縁上面、黒彩後赤 彩	平縁外 凸	加曽利E 併行		
8	3	遺構 外	(砂層)		8	浅鉢	口 縁	～ 1.0mm	少	少		良	やや 硬	にぶい赤 褐	5YR5/3	赤	7.5R4/8	口縁部内外共に赤彩				加曽利E 併行		
9	3	遺構 外	(砂層)		9	浅鉢	口 縁	～ 3.0mm	少	少	結晶片 石	良	やや 硬	橙	5YR6/6	赤	10R5/6	赤彩文様有り			平縁内 凸	加曽利E 併行		
10	3	遺構 外	(砂層)		10	浅鉢	口 縁	～ 3.0mm	少	少	結晶片 石	良	やや 硬	灰褐	7.5YR4/2	赤 赤黒	7.5R4/6 7.5R2/1	黒彩・赤彩		黒彩後赤彩	やや 丸縁	加曽利E 併行		
11	3	遺構 外	(砂層)		11	浅鉢	口 縁	～ 4.0mm	少	多	結晶片 石	良	やや 硬	にぶい橙	7.5YR6/4	赤 灰	10R4/8 N4/	黒彩・赤彩		平縁上面、黒彩後赤 彩	平縁	加曽利E 併行		
12	3	遺構 外	(砂層)		12	浅鉢	口 縁	～ 3.0mm	少	多	結晶片 石	良	やや 硬	灰褐	7.5YR5/2	赤 暗赤灰	10R4/8 10R4/1	黒彩・赤彩		黒彩後赤彩	平縁	加曽利E 併行		
13	3	遺構 外	(砂層)		13	浅鉢	口 縁	～ 3.0mm	少	ふつ う	結晶片 石	良	やや 硬	灰褐	7.5YR6/2	赤 暗赤灰	7.5R4/6 10R4/1	黒彩・赤彩		黒彩後赤彩	平縁	加曽利E 併行		
14	3	遺構 外	(砂層)		14	浅鉢	口 縁	～ 2.0mm	ふつ う	少	結晶片 石	良	やや 硬	橙	7.5YR6/6	赤 黒	10R4/8 N2/	黒彩・赤彩		黒彩後赤彩	平縁	加曽利E 併行		
15	3	遺構 外	(砂層)		15	浅鉢	口 縁	～ 2.0mm	少	ふつ う		良	硬	灰褐	7.5YR5/2	赤 青黒	10R5/6 5B2/1	黒彩・赤彩		平縁上面・内面、黒 彩後赤彩	平縁外 凸	加曽利E 併行		
16	3	遺構 外	(砂層)		16	浅鉢	口 縁	～ 1.0mm	少	ふつ う		良	やや 硬	暗灰	N3/	赤褐 青黒	2.5YR4/8 10BG2/1	黒彩・赤彩		平縁上面、黒彩 内面、黒彩後赤彩	平縁	加曽利E 併行		
17	3	遺構 外	(砂層)		17	浅鉢	口 縁	～ 2.0mm	やや 少	やや 多	結晶片 石	良	やや 硬	暗灰	5YR4/1	赤 黒	10R4/6 N2/	黒彩・赤彩		口縁部内面、黒彩後 赤彩	平縁	加曽利E 併行		
18	3	遺構 外	(砂層)		18	浅鉢	口 縁	～ 2.0mm	少	少		良	やや 硬	にぶい橙	7.5YR7/4	赤 褐灰	7.5R4/4 5YR4/1	黒彩・赤彩		口縁部外面、黒彩後 赤彩	やや 丸縁	加曽利E 併行		
19	3	遺構 外	(砂層)		19	浅鉢	口 縁	～ 4.0mm	少	多	結晶片 石	良	硬	にぶい橙	5YR5/4	赤 にぶい黄	10R4/8 10YR5/3	黒彩・赤彩		口縁上面部分、黒彩 後赤彩	平縁	加曽利E 併行		
20	3	遺構 外	(砂層)		20	浅鉢	口 縁	～ 3.0mm	少	多	結晶片 石	良	やや 軟	にぶい橙	5YR6/4	赤	7.5R4/6	赤彩文様痕跡有り				加曽利E 併行	内面剥離	
21	3	遺構 外	(砂層)		21	浅鉢	口 縁	～ 1.0mm	少	少		良	やや 硬	灰褐	7.5YR4/2	赤 褐灰	10R4/8 5YR4/1	渦巻隆帯部分赤彩		口縁近く内面、黒彩 後赤彩		加曽利E 併行		
22	3	遺構 外	(砂層)		22	浅鉢	胴	～ 2.0mm	ふつ う	ふつ う	結晶片 石	良	やや 硬	にぶい赤 褐	5YR5/4	赤 褐灰	7.5R4/6 5YR4/1	隆帯・沈線・黒彩・赤彩	丸棒	黒彩後赤彩 沈線内赤彩		加曽利E 併行		
23	3	遺構 外	(砂層)		23	浅鉢	胴	～ 1.0mm	少	少		良	やや 硬	灰褐	7.5YR5/2	にぶい赤 黒褐	7.5R4/6 7.5YR3/1	黒彩・赤彩		内面黒彩後赤彩曲 線文様		加曽利E 併行		
24	3	遺構 外	(砂層)		24	浅鉢	胴	～ 2.0mm	少	少		良	やや 硬	にぶい橙	7.5YR7/4	赤	10R5/6	内面赤彩文様				加曽利E 併行		
25	3	遺構 外	(砂層)		25	浅鉢	胴	～ 3.0mm	少	少	結晶片 石	良	やや 硬	にぶい橙	7.5YR5/3	赤	7.5R4/8	赤彩		赤彩による曲線文様		加曽利E 併行		
26	3	遺構 外	(砂層)		26	浅鉢	胴	～ 2.0mm	少	ふつ う	結晶片 石	良	やや 硬	にぶい橙	7.5YR6/4	暗赤 暗赤灰	10R3/6 10R3/1	黒彩・赤彩 内面(曲線文様)		黒彩後赤彩		加曽利E 併行		
27	3	遺構 外	(砂層)		27	浅鉢	胴	～ 1.0mm	少	少	結晶片 石	良	やや 硬	にぶい橙	5YR7/4	赤	10R4/6	赤彩文様				加曽利E 併行		



No.	区	遺構	遺構 No.	整理	図 版	器種	部位	胎土砂 粒径	雲母	長石・ 石英	その他	焼成	硬度	色調	色調備考	彩色部色 調	彩色部色 調備考	文様要素	施 文	施文の特徴	口縁形 態	時期 型式	備考	図版 番号
28	3	遺構 外	(砂層)		28	浅鉢	胴	～ 2.0mm	少	ふつ う	結晶片 石	良	やや 硬	にぶい橙	5YR6/4	赤	7.5R4/6	赤彩				加曽利E 併行		
29	3	遺構 外	(砂層)		29	浅鉢	胴	～ 3.0mm	少	ふつ う	結晶片 石	良	やや 硬	褐灰	7.5YR5/1	赤 灰褐	10R5/6 7.5YR5/2	黒彩・赤彩 内面(直線的文様)		黒彩後赤彩		加曽利E 併行		
30	3	遺構 外	(砂層)		30	浅鉢	胴	～ 2.0mm	少	少	結晶片 石	良	やや 硬	灰褐	7.5YR5/2	赤	10R4/8	赤彩				加曽利E 併行		
31	3	遺構 外	(砂層)		31	浅鉢	胴	～ 3.0mm	少	ふつ う		良	やや 硬	にぶい褐	7.5YR6/3	赤 黒褐	7.5R4/8 7.5YR3/1	黒彩・赤彩		黒彩後赤彩		加曽利E 併行		
32	3	遺構 外	(砂層)		32	浅鉢	胴	～ 4.0mm	少	多	結晶片 石	良	やや 硬	橙	2.5YR6/6	赤	10R4/8	赤彩(曲線渦巻文様)				加曽利E 併行		
33	3	遺構 外	(砂層)		33	浅鉢	胴 ～	～ 2.0mm	少	少	結晶片 石	良	やや 硬	明褐灰	7.5YR7/2	赤 暗灰	7.5R4/6 N3/	外面黒彩 内面黒彩後赤彩文様		黒彩後赤彩		加曽利E 併行		
34	3	遺構 外	(砂層)		34	浅鉢	底部	～ 1.0mm	少	ふつ う		やや 良	やや 軟	灰白	7.5YR8/2	赤 褐灰	10R4/8 7.5YR4/1	内面黒彩 赤彩		黒彩後赤彩		加曽利E 併行		
35	3	遺構 外	(砂層)		35	浅鉢	胴 ～	～ 2.0mm	多	ふつ う		良	やや 硬	にぶい褐	7.5YR6/3	赤 赤黒	10R4/8 2.5YR2/1	黒彩・赤彩		黒彩後赤彩		加曽利E 併行		
36	3	遺構 外	(砂層)		36	浅鉢	胴 ～	～ 3.0mm	少	ふつ う	結晶片 石	良	やや 硬	にぶい橙	7.5YR6/4	赤	7.5R4/6	内面赤彩僅かに残る				加曽利E 併行		
37	3	遺構 外	(砂層)		37	浅鉢	胴	～ 2.0mm	少	少	結晶片 石	良	やや 硬	にぶい橙	7.5YR6/4	にぶい橙	7.5YR6/4	赤彩文様				加曽利E 併行		

## 3 区・土器観察表

No.	区	区備考	遺構	遺構	整理	図版	器種	部位	胎土砂粒径	雲母	長石英	その他	焼成	硬度	色調	色調備考	文様要素	施文具	時期・型式	備考	図版番号
1	3		SK	87	1	1	吊手？	把手	～ 4.0mm	少	少		良	やや硬	黒褐	7.5YR3/2	沈線・キザミ・燃糸	丸棒・燃糸L縦位	勝坂Ⅰ		
2	3		SK	87	2	2	深鉢	口縁	～ 3.0mm	やや多	ふつう		やや良	やや硬	暗褐	7.5YR3/3	隆帯・縄文	縄文RL斜位	勝坂Ⅲ	隆帯貼付前・後とも縄文施文	
3	3		SK	87	6	3	深鉢	口縁	～ 2.0mm	ふつう	やや多		やや良	やや硬	暗褐	7.5YR3/3	沈線・縄文	篋状工具・縄文LR斜位	加曽利EⅠ		
4	3		SK	87	3	4	深鉢	口縁	～ 8.0mm	やや少	やや少	安山岩	やや良	やや硬	褐	7.5YR4/3	隆帯・沈線・刺突	丸棒	加曽利EⅠ		
5	3		SK	87	4	5	深鉢	口縁	～ 2.0mm	やや少	ふつう		良	やや硬	にぶい褐	7.5YR5/3	沈線・磨消縄文	丸棒・縄文RL斜位	加曽利EⅠ	SK87-7と同一個体。沈線区画内磨消	
6	3		SK	87	9	6	深鉢	胴上	～ 3.0mm	やや少	ふつう	チャート	やや良	やや硬	にぶい橙	7.5YR6/4	沈線	丸棒	加曽利EⅠ		
7	3		SK	87	5	7	深鉢	口縁	～ 2.0mm	やや少	ふつう		良	やや硬	にぶい褐	7.5YR5/3	沈線・縄文	丸棒・縄文RL縦位／斜位	加曽利EⅠ	SK87-5と同一個体	
8	3		SK	87	7	8	深鉢	胴上	～ 2.0mm	やや多	やや多		やや良	やや硬	にぶい褐	7.5YR5/4	隆帯・沈線・縄文	丸棒・縄文LR縦位／横位	加曽利EⅠ	隆帯貼付前・後とも縄文施文。地文は縦位、隆帯上は横位施文。	
9	3		SK	87	10	9	深鉢	胴上	～ 1.0mm	ふつう	やや少		良	硬	褐	7.5YR4/3	沈線・キザミ・磨消縄文	丸棒・篋状工具・縄文RL縦位	加曽利EⅠ	磨消不完全	
10	3		SK	87	8	10	深鉢	胴下	～ 4.0mm	やや少	少		良	硬	にぶい褐	7.5YR5/4	縄文	縄文RL縦位	加曽利EⅠ		
11	3		SK	87	A	11	深鉢	口縁	～ 3.0mm	やや少	少	結晶片岩	良	硬	褐	7.5YR4/3	隆帯・刺突	棒状工具	加曽利EⅠ		
12	3		SK	88	3	1	深鉢	胴上	～ 2.0mm	ふつう	ふつう		やや良	やや硬	にぶい褐	7.5YR5/4	把手・隆帯・沈線	丸棒	加曽利EⅠ古	三原田類型？	
13	3		SK	88	1	2	深鉢	胴上	～ 3.0mm	ふつう	やや多	チャート	良	やや硬	明赤褐	5YR5/6	沈線・縄文	竹管・縄文RL縦位	加曽利EⅠ		
14	3		SK	88	2	3	深鉢	胴上	～ 2.0mm	やや少	ふつう		やや良	やや硬	にぶい褐	7.5YR5/4	隆帯・沈線・縄文	竹管・縄文RL縦位	加曽利EⅠ		
15	3		SK	89	1	1	深鉢	胴	～ 3.0mm	少	多	金雲母	やや良	やや硬	橙	2.5YR6/6	隆帯	－	阿玉台Ⅱ		
16	3		SK	89	2	2	深鉢	胴	～ 7.0mm	少	多		やや良	やや硬	にぶい褐	7.5YR5/3	沈線	竹管	勝坂Ⅰ		
17	3		SK	90	1	1	深鉢	底	～ 3.0mm	ふつう	やや多		やや良	ふつう	にぶい橙	7.5YR6/4	－	－	中期		
18	3		SK	91	1	1	深鉢	胴上	～ 5.0mm	やや多	やや少		良	やや硬	灰褐	7.5YR5/2	粘土紐・沈線・刺突	丸棒・篋？	加曽利EⅠ		
19	3		SK	92	4	1	深鉢	把手	～ 2.0mm	やや少	ふつう		やや良	やや硬	橙	5YR6/6	隆帯・沈線	丸棒	加曽利EⅠ	すべて張付部分から破損	
20	3		SK	92	5	2	深鉢	口縁	～ 3.0mm	ふつう	ふつう		やや良	やや硬	橙	7.5YR6/6	隆帯・沈線・縄文	丸棒・縄文RL横位	加曽利EⅠ	SK92-3と同一個体	
21	3		SK	92	1	3	深鉢	口縁	～ 3.0mm	ふつう	やや少	チャート	やや良	やや硬	にぶい褐	7.5YR5/3	隆帯・沈線・縄文	丸棒・縄文RL横位	加曽利EⅠ	SK92-2と同一個体	
22	3		SK	92	2	4	深鉢	口縁	～ 3.0mm	少	やや少	チャート	やや良	やや硬	浅黄	7.5YR8/3	－	－	加曽利EⅠ		
23	3		SK	92	3	5	深鉢	口縁	～ 2.0mm	やや少	ふつう		やや良	ふつう	橙	5YR6/6	隆帯・沈線	丸棒	加曽利EⅠ	表面やや風化	
24	3		SK	93	2	1	深鉢	口縁	～ 3.0mm	やや少	多		やや良	やや硬	明褐灰	7.5YR7/2	隆帯	－	加曽利EⅠ		
25	3		SK	93	1	2	深鉢	胴	～ 5.0mm	少	やや少	チャート・結晶片岩	やや良	やや硬	にぶい橙	7.5YR6/4	隆帯・沈線	丸棒	加曽利EⅠ		
26	3		SK	93	4	3	深鉢	胴	～ 3.0mm	ふつう	ふつう		やや良	やや硬	にぶい橙	7.5YR7/4	縄文	縄文RL縦位	中期		
27	3		SK	93	3	4	深鉢	底	～ 3.0mm	やや少	やや多		ふつう	やや軟	橙	7.5YR7/6	－	－	中期	風化著しい	

No.	区	区備考	遺構	遺構	整理	図版	器種	部位	胎土砂 粒径	雲母	長石 石英	その他	焼成	硬度	色調	色調備考	文様要素	施文具	時期・型式	備考	図版 番号
28	3		SK	94	2	1	深鉢	口縁	～ 2.0mm	やや 多	ふつう		やや 良	やや 硬	にぶい橙	7.5YR7/4	隆帯・沈線・キザミ	丸棒	勝坂系		
29	3		SK	94	1	2	深鉢	胴	～ 3.0mm	少	多	チャート	やや 良	やや 硬	灰黄	10YR5/2	隆帯・沈線・キザミ	丸棒	堀之内		
30	3		SK	95	2	1	深鉢	底	～ 2.0mm	やや 少	ふつう	金雲母	やや 良	やや 硬	にぶい黄 橙	10YR7/3	—	—	中期		
31	3		SK	95	1	2	深鉢	口縁	～ 2.0mm	やや 少	ふつう		やや 良	やや 硬	橙	5YR6/6	隆帯・沈線・縄文	丸棒・縄文RL横位？	加曽利E I		
32	3		SK	96	9	1	深鉢	口縁	～ 3.0mm	ふつう	やや 多	炭化物	やや 良	やや 硬	にぶい赤 褐	5YR5/4	—	—	加曽利E I		
33	3		SK	96	8	2	深鉢	口縁	～ 3.0mm	ふつう	多		やや 良	やや 硬	明褐	7.5YR5/6	沈線・隆帯・キザミ	丸棒・篋状工具	勝坂系		
34	3		SK	96	2	3	深鉢	口縁	～ 1.0mm	少	少		良	やや 軟	にぶい橙	7.5YR6/4	隆帯・沈線・刺突	丸棒	加曽利E I	SK96-7と同一個体	
35	3		SK	96	7	4	深鉢	口縁	～ 3.0mm	やや 少	やや 多		やや 良	やや 硬	灰黄褐	10YR6/2	沈線	丸棒もしくは竹管	加曽利E I		
36	3		SK	96	6	5	深鉢	口縁	～ 3.0mm	やや 少	やや 多		やや 良	やや 硬	褐	7.5YR4/3	沈線・縄文	丸棒・縄文RL横位	加曽利E I		
37	3		SK	96	11	6	深鉢	胴	～ 3.0mm	ふつう	ふつう		やや 良	やや 硬	にぶい赤 褐	5YR5/4	隆帯・沈線・縄文	丸棒・縄文RL縦位／斜位	加曽利E I		
38	3		SK	96	1	7	深鉢	胴上	～ 3.0mm	少	少	チャート	良	やや 軟	にぶい橙	7.5YR6/4	隆帯・沈線	丸棒	加曽利E I	SK96-3と同一個体	
39	3		SK	96	5	8	深鉢	胴	～ 2.0mm	少	やや 少		良	やや 硬	にぶい橙	7.5YR5/4	隆帯・沈線・キザミ	丸棒・篋状工具	加曽利E I		
40	3		SK	96	4	9	深鉢	隆帯	～ 3.0mm	ふつう	ふつう		やや 良	やや 硬	にぶい橙	5YR6/4	隆帯・沈線・キザミ	丸棒・篋状工具	加曽利E I		
41	3		SK	96	10	10	深鉢	底	～ 3.0mm	ふつう	多	チャート	やや 良	やや 硬	明赤褐	5YR5/6	縄文	縄文RL縦位	加曽利E I		
42	3		SK	96	3	11	深鉢	胴上	～ 3.0mm	ふつう	やや 多		やや 良	やや 硬	褐	7.5YR4/3	隆帯・沈線・キザミ	丸棒	加曽利E I		
43	3		SK	97	1	1	深鉢	口縁	～ 3.0mm	ふつう	ふつう		やや 良	やや 硬	黒褐	5YR3/1	隆帯・沈線・キザミ・撚 糸	丸棒・撚糸R縦位／斜位	加曽利E I	撚糸施文後隆帯貼付	
44	3		SK	97	B	2	深鉢	完形	～ 2.0mm	少	少		ふつう	ふつう	橙	5YR7/6	隆帯・沈線・刺突・撚 糸	棒状工具・撚糸R縦位	不明	400ml・内面スス	
45	3		SK	97	A	3	深鉢	完形	～ 4.0mm	少	少		ふつう	ふつう	にぶい橙	5YR7/4	撚糸	撚糸R縦位	加曽利E I	内面焼き	
46	3		SK	97	3	4	深鉢	胴	～ 3.0mm	やや 少	多		やや 良	やや 硬	にぶい褐	7.5YR5/4	撚糸	撚糸R縦位	加曽利E I		
47	3		SK	97	2	5	深鉢	口縁	～ 3.0mm	やや 少	ふつう	結晶片岩	やや 良	やや 硬	にぶい赤 褐	5YR5/4	隆帯・沈線・撚糸	丸棒・撚糸L縦位	加曽利E I	撚糸施文後隆帯貼付	
48	3		SK	98	2	1	深鉢	把手	～ 2.0mm	やや 少	多		やや 良	やや 硬	橙	5YR6/6	隆帯・沈線	丸棒	加曽利E I		
49	3		SK	98	3	2	深 鉢？	口縁	～ 3.0mm	ふつう	やや 多		やや 良	やや 硬	にぶい橙	5YR6/4	隆帯・沈線	篋状工具	加曽利E I		
50	3		SK	98	1	3	深鉢	胴上	～ 2.0mm	やや 少	ふつう		やや 良	やや 硬	橙	5YR6/6	隆帯・沈線・キザミ・縄 文	丸棒・縄文RL縦位	加曽利E I		
51	3		SK	99	2	1	深鉢	口縁	～ 4.0mm	少	少	滑石	やや 良	やや 軟	にぶい赤 褐	5YR5/4	刺突	丸棒？	勝坂Ⅱ	異系統土器？	
52	3		SK	99	1	2	深鉢	胴	～ 3.0mm	やや 多	やや 多		やや 良	やや 硬	褐	7.5YR5/4	隆帯・沈線・縄文	丸棒・縄文RL縦位	加曽利E I		
53	3		SK	99	3	3	深鉢	底	～ 3.0mm	少	少		やや 良	やや 軟	橙	5YR6/6	—	—	中期		
54	3		SK	99	A	4	深鉢	口縁	～ 2.0mm	少	少		やや 良	やや 硬	にぶい褐	7.5YR6/3	刻みのある隆帯・沈 線・刺突・縄文	縄文RL縦位・棒状工具	加曽利E I		
55	3		SK	100	2	1	深鉢	口縁	～ 2.0mm	やや 少	ふつう	金雲母	ふつう	やや 硬	にぶい褐	7.5YR6/3	—	—	阿玉台Ⅰb	内面に文様	

No.	区	区備考	遺構	遺構	整理	図版	器種	部位	胎土砂 粒径	雲母	長石 石英	その他	焼成	硬度	色調	色調備考	文様要素	施文具	時期・型式	備考	図版 番号
56	3		SK	100	1	2	深鉢	胴	～ 2.0mm	ふつう	やや多		やや良	やや硬	浅黄橙	10YR8/3	撚糸	撚糸L縦位？	加曽利E I		
58	3		SK	100	3	3	深鉢	底	～ 3.0mm	少	やや多		良	硬	橙	5YR6/8	撚糸	撚糸L縦位？	加曽利E I		
59	3		SK	102	2	1	浅鉢	口縁	～ 3.0mm	多	やや多		やや良	やや硬	にぶい褐	7.5YR5/4	沈線	丸棒	中期中葉		
	3		SK	102	6	2	深鉢	把手	～ 3.0mm	少	やや少	結晶片岩	良	やや硬	にぶい橙	7.5YR6/4	隆帯・沈線	丸棒	勝坂Ⅱ		
60	3		SK	102	4	3	浅鉢？	胴上	～ 5.0mm	少	多		ふつう	やや軟	にぶい橙	7.5YR7/3	隆帯・沈線	棒状工具	加曽利E I		
61	3		SK	102	3	4	深鉢	胴	～ 4.0mm	少	ふつう	金雲母	やや良	やや硬	暗褐	7.5YR3/3	隆帯・刺突	棒状工具	阿玉台Ⅱ		
62	3		SK	102	5	5	深鉢	底	～ 2.0mm	やや少	ふつう		やや良	やや硬	橙	5YR6/6	—	—	中期		
63	3		SK	102	1	6	深鉢	底	～ 3.0mm	少	ふつう	金雲母	やや良	やや硬	灰褐	7.5YR4/2	網代	2種あり詳細不明	中期中葉	直径16～18cm	
64	3		SK	103	7	1	深鉢	口縁	～ 2.0mm	ふつう	やや少		良	やや硬	黒褐	7.5YR3/1	隆帯・沈線	丸棒	加曽利EⅡ		
65	3		SK	103	4	2	深鉢	把手	～ 2.0mm	やや多	ふつう		やや良	やや硬	明赤褐	5YR5/6	隆帯・沈線	丸棒	加曽利EⅡ		
66	3		SK	103	3	3	深鉢	口縁	～ 3.0mm	少	やや多		やや良	やや硬	褐	7.5YR4/3	隆帯・沈線・縄文	丸棒・縄文LR横位	加曽利E I		
67	3		SK	103	6	4	深鉢	口縁	～ 2.5mm	ふつう	やや多		やや良	やや硬	にぶい赤褐	5YR5/4	隆帯・沈線・撚糸	丸棒・撚糸L横位	加曽利E I		
68	3		SK	103	5	5	深鉢	口縁	～ 3.0mm	ふつう	ふつう		やや良	やや硬	明赤褐	5YR5/6	隆帯・沈線・刺突	丸棒	加曽利E I		
69	3		SK	103	2	6	深鉢	胴上	～ 2.0mm	やや少	ふつう		やや良	やや硬	灰褐	7.5YR5/2	隆帯・沈線・縄文	丸棒・無節縄文L横位？	加曽利E I		
70	3		SK	103	1	7	深鉢	胴	～ 2.0mm	少	やや少		良	やや硬	にぶい褐	7.5YR6/3	沈線・縄文	丸棒・縄文RL横位	加曽利EⅢ		
71	3		SK	104	2	1	深鉢	口縁	～ 4.0mm	少	少	滑石	良	やや硬	にぶい赤褐	10YR5/4	隆帯・押引・刺突	丸棒・角棒	阿玉台Ⅲ		
72	3		SK	104	1	2	深鉢	胴上	～ 2.0mm	やや少	ふつう		やや良	ふつう	褐灰	10YR5/1	隆帯・沈線	篋状工具	勝坂Ⅱ		
73	3		SK	104	3	3	深鉢	把手	～ 2.0mm	少	ふつう	金雲母	やや良	やや硬	褐	7.5YR4/4	隆帯・沈線・縄文	篋状工具・縄文RL縦位	勝坂Ⅱ		
74	3		SK	104	4	4	深鉢	人面 把手	～ 2.0mm	ふつう	やや少		やや良	やや硬	橙	2.5YR6/6	沈線・刺突・縄文	丸棒・縄文RL斜位	勝坂Ⅱ		
75	3		SK	105	4	1	深鉢	口縁	～ 2.0mm	やや少	やや少		やや良	やや硬	橙	5YR6/6	隆帯・沈線	丸棒	勝坂Ⅱ		
76	3		SK	105	1	2	深鉢	胴	～ 5.0mm	少	少	滑石	良	ふつう	橙	7.5YR7/6	沈線・押引・刺突・縄文	竹管・棒状工具・縄文RL横位	勝坂Ⅱ		
77	3		SK	105	3	3	浅鉢	底	～ 3.0mm	少	やや少	結晶片岩	やや良	やや硬	橙	7.5YR6/6	—	—	阿玉台	底径約9. 3cm	
78	3		SK	105	2	4	深鉢	胴	～ 2.5mm	ふつう	ふつう		良	硬	灰褐	7.5YR4/2	隆帯・沈線・押引	篋状工具	阿玉台Ⅱ		
79	3		SK	106	4	1	深鉢	口縁	～ 2.0mm	やや少	やや多		やや良	やや硬	にぶい赤褐	5YR5/3	隆帯・沈線・縄文？	丸棒・縄文？	加曽利E I	表面やや風化	
80	3		SK	106	3	2	深鉢	胴上	～ 3.0mm	やや少	ふつう	結晶片岩	やや良	やや硬	にぶい橙	5YR7/4	沈線	丸棒	勝坂系		
81	3		SK	106	1	3	深鉢	口縁	～ 2.0mm	やや少	ふつう		やや良	やや硬	淡橙	5YR8/3	—	—	勝坂系		
82	3		SK	106	2	4	深鉢	胴上	～ 3.0mm	やや多	やや多		やや良	やや硬	にぶい橙	5YR6/4	隆帯・撚糸	撚糸L縦位？	加曽利E I		
83	3		SK	107	3	1	深鉢	把手	～ 2.0mm	ふつう	ふつう		やや良	やや硬	橙	5YR6/6	沈線	丸棒	加曽利E I		

No.	区	区備考	遺構	遺構	整理	図版	器種	部位	胎土砂 粒径	雲母	長石 石英	その他	焼成	硬度	色調	色調備考	文様要素	施文具	時期・型式	備考	図版 番号
84	3		SK	107	2	2	深鉢	把手	～ 3.0mm	ふつう	ふつう		やや 良	やや 硬	にぶい褐	7.5YR5/4	隆帯・沈線	丸棒	加曽利E I 古	中空状突起	
85	3		SK	107	4	3	深鉢	口縁	～ 2.0mm	やや 少	やや 多		やや 良	やや 硬	にぶい橙	7.5YR6/4	沈線	丸棒	加曽利E I 古		
86	3		SK	107	1	4	深鉢	口縁	～ 2.0mm	やや 多	やや 多		やや 良	やや 硬	橙	5YR6/6	—	—	勝坂系		
87	3		SK	108	1	1	深鉢	口縁	～ 3.0mm	少	少	結晶片岩	やや 良	やや 硬	にぶい褐	7.5YR5/4	縄文	縄文RL縦位	加曽利E I	SK108-4と同一個体	
88	3		SK	108	3	2	深鉢	口縁	～ 3.0mm	やや 少	ふつう		やや 良	やや 硬	橙	5YR6/6	—	—	不明		
89	3		SK	108	2	3	深鉢？	口縁	～ 2.0mm	やや 多	やや 多		やや 良	やや 硬	橙	5YR6/6	縄文	縄文RL縦位／横位	加曽利E I		
90	3		SK	108	5	4	深鉢	胴上	～ 3.0mm	少	少	結晶片岩	やや 良	やや 硬	にぶい褐	7.5YR5/4	隆帯・縄文	縄文RL縦位	加曽利E I	SK108-1と同一個体	
91	3		SK	108	6	5	深鉢	胴上	～ 4.0mm	少	ふつう	金雲母	良	やや 硬	にぶい橙	7.5YR7/3	隆帯・押引	篋状工具	阿玉台Ⅱ		
92	3		SK	108	4	6	深鉢	胴上	～ 3.0mm	ふつう	ふつう		やや 良	やや 硬	橙	5YR6/6	隆帯・沈線・縄文	縄文RL縦位	加曽利E I		
93	3		SK	109	1	1	深鉢	口縁	～ 1.5mm	少	やや 少		やや 良	ふつう	にぶい橙	7.5YR7/4	沈線・刺突・縄文	丸棒・角棒・縄文RL斜位	加曽利E I		
94	3		SK	109	2	2	深鉢	底	～ 3.0mm	やや 少	多		良	硬	明赤褐	2.5YR5/8	縄文	縄文RL縦位	加曽利E I		
95	3		SK	110	2	1	深鉢	胴	～ 3.0mm	やや 少	ふつう		やや 良	やや 硬	にぶい褐	7.5YR5/3	隆帯・沈線	竹管？	阿玉台		
96	3		SK	110	1	2	深鉢	胴	～ 2.0mm	ふつう	ふつう		やや 良	やや 硬	明赤褐	5YR5/8	隆帯・沈線・押引	丸棒・篋状工具	阿玉台	押引後沈線施文	
97	3		SK	111	3	1	深鉢	胴	～ 2.0mm	ふつう	ふつう		やや 良	やや 硬	にぶい橙	7.5YR6/4	隆帯・沈線・刺突・燃 糸	丸棒・燃糸L縦位／横位 ／斜位	勝坂系		
98	3		SK	111	1	2	深鉢	口縁	～ 2.5mm	ふつう	ふつう		やや 良	ふつう	橙	7.5YR6/6	隆帯・沈線	丸棒	加曽利E I 古		
99	3		SK	111	2	3	深鉢	胴	～ 2.0mm	やや 少	ふつう		やや 良	やや 硬	明赤褐	5YR5/6	隆帯・沈線・燃糸	丸棒・燃糸L縦位	勝坂系		
100	3		SK	112	3	1	深鉢	口縁	～ 2.5mm	ふつう	やや 多	チャート	やや 良	やや 硬	にぶい褐	7.5YR6/3	隆帯・沈線・キザミ	篋状工具	加曽利E I	SK112-4と同一個体	
101	3		SK	112	2	2	深鉢	口縁	～ 2.0mm	多	ふつう		やや 良	やや 硬	橙	7.5YR6/6	沈線	丸棒	加曽利E I		
102	3		SK	112	6	3	深鉢	把手	～ 2.5mm	やや 少	多	チャート	良	やや 硬	橙	5YR6/6	隆帯・沈線	丸棒	加曽利E I 古		
103	3		SK	112	1	4	深鉢	胴上	～ 2.5mm	ふつう	やや 多	チャート	やや 良	やや 硬	にぶい褐	7.5YR6/3	隆帯・沈線・キザミ	篋状工具	加曽利E I	SK112-1と同一個体	
104	3		SK	112	4	5	深鉢	胴	～ 2.5mm	ふつう	やや 多		良	ふつう	橙	2.5YR6/6	隆帯・沈線	丸棒	勝坂系		
105	3		SK	112	5	6	深鉢	胴	～ 2.5mm	ふつう	やや 多		やや 良	やや 硬	橙	5YR6/6	隆帯・沈線・燃糸	丸棒・燃糸L縦位？	加曽利E I		
106	3		SK	112	A	7	深鉢	完形		やや 多	やや 多		やや 良	ふつう	橙	5YR6/6	隆帯・沈線・燃糸	丸棒・燃糸R縦位	加曽利E I	1000ml	
108	3		SK	114	1	1	深鉢	底	～ 2.5mm	ふつう	ふつう	結晶片岩	やや 良	やや 硬	にぶい橙	7.5YR6/4	—	—	中期		
107	3		SK	115	1	1	深鉢	胴	～ 2.0mm	やや 少	多		やや 良	やや 硬	にぶい褐	7.5YR5/4	隆帯・沈線・燃糸	丸棒・燃糸L斜位	加曽利E I		
109	3		SK	116	1	1	深鉢	胴	～ 2.0mm	やや 多	ふつう		やや 良	やや 硬	にぶい褐	7.5YR5/4	隆帯・沈線・キザミ	篋状工具	阿玉台Ⅱ		
110	3		SK	117	2	1	深鉢	胴上	～ 4.0mm	少	やや 少	チャート・ 安山岩	良	やや 硬	橙	2.5YR6/8	隆帯・沈線	丸棒	加曽利E I		
111	3		SK	117	1	2	深鉢	胴	～ 2.0mm	やや 少	ふつう		やや 良	やや 硬	橙	7.5YR6/6	隆帯・縄文？	—	加曽利E I		

No.	区	区備考	遺構	遺構	整理	図版	器種	部位	胎土砂 粒径	雲母	長石 石英	その他	焼成	硬度	色調	色調備考	文様要素	施文具	時期・型式	備考	図版 番号
112	3		SK	123	1	1	深鉢	胴	～ 3.0mm	やや 少	ふつう		やや 良	やや 硬	浅黄橙	7.5YR8/3	隆帯・沈線・櫛描	丸棒・櫛歯9本以上	加曽利EⅢ		
113	3		SK	125	9	1	深鉢	口縁	～ 1.0mm	ふつう	やや 少		やや 良	やや 硬	黒褐	5YR2/1	押引	篋状工具	加曽利EⅠ	SK125-8と同一個体	
114	3		SK	125	7	2	深鉢	口 縁？	～ 2.0mm	少	少		やや 良	やや 硬	黒褐	10YR3/1	沈線	竹管	阿玉台Ⅱ		
115	3		SK	125	2	3	深鉢	口縁	～ 3.0mm	少	やや 多		やや 良	やや 硬	明赤褐	5YR5/6	沈線・刺突・縄文	丸棒・縄文RL横位	加曽利EⅡ	内面炭化物付着	
116	3		SK	125	8	4	深鉢	口縁	～ 2.0mm	ふつう	やや 少		やや 良	ふつう	にぶい橙	7.5YR7/3	隆帯・沈線	丸棒	加曽利EⅠ		
117	3		SK	125	1	5	深鉢	胴上	～ 3.0mm	やや 多	ふつう		やや 良	やや 硬	褐	7.5YR4/3	隆帯・沈線・捺糸	丸棒・捺糸L縦位	加曽利EⅠ	捺糸施文後隆帯貼付	
118	3		SK	125	6	6	深鉢	胴	～ 4.0mm	少	やや 少		良	硬	にぶい黄 橙	10YR7/3	隆帯・沈線	竹管	加曽利EⅠ		
119	3		SK	125	4	7	深鉢	胴上	～ 2.0mm	やや 多	ふつう		やや 良	ふつう	にぶい褐	7.5YR5/4	隆帯・沈線	丸棒	加曽利EⅠ		
120	3		SK	125	5	8	深鉢	胴	～ 1.5mm	やや 多	少		やや 良	やや 硬	にぶい赤 褐	5YR4/4	押引・縄文	丸棒・縄文RL斜位	加曽利EⅠ	SK125-1と同一個体	
121	3		SK	125	3	9	深鉢	胴	～ 3.0mm	やや 少	やや 多		やや 良	やや 硬	にぶい赤 褐	5YR5/4	隆帯・沈線・捺糸	丸棒・捺糸L縦位	加曽利EⅠ		
122	3		SK	125	A	10	深鉢	口縁	～ 2.0mm	ふつう	やや 多		やや 良	やや 硬	橙	5YR6/6	隆帯・捺糸	捺糸R縦位	加曽利EⅠ		
123	3		SK	126	1	1	深鉢	胴	～ 2.0mm	少	やや 少		やや 良	やや 硬	浅黄橙	7.5YR8/4	隆帯・沈線・縄文	丸棒・縄文RL縦位	加曽利EⅡ		
124	3		SK	127	2	1	深鉢	口縁	～ 3.0mm	少	多	金雲母	やや 良	やや 硬	褐	7.5YR4/3	押引	丸棒	阿玉台Ⅱ		
125	3		SK	127	1	2	深鉢	胴	～ 2.0mm	やや 少	ふつう		やや 良	やや 硬	灰白	7.5YR8/2	隆帯・沈線・刺突	篋状工具	加曽利EⅠ		
126	3		SK	129	1	1	深鉢	口縁	～ 3.0mm	少	ふつう	金雲母	やや 良	やや 硬	にぶい褐	7.5YR5/3	キザミ	丸棒	阿玉台		
127	3		SK	129	2	3	深鉢	胴	～ 3.0mm	やや 少	ふつう		やや 良	やや 硬	灰褐	5YR5/2	沈線・キザミ	竹管	勝坂Ⅰ		
128	3		SK	129	3	4	深鉢	胴上	～ 8.0mm	少	やや 少	結晶片岩	やや 良	やや 硬	橙	7.5YR6/6	—	—	阿玉台		
129	3		SK	129	4	2	深鉢	把手	～ 3.0mm	やや 多	ふつう		やや 良	ふつう	にぶい褐	7.5YR5/4	隆帯・沈線	角棒	焼町類型		
130	3		SK	129	A	6	深鉢	底部	～ 3.0mm	ふつう	ふつう	結晶片岩	良	ふつう	にぶい橙	7.5YR7/4	縄文	縄文RL縦位	不明		
131	3		SK	129		5	深鉢	口縁	～ 4.0mm	ふつう	ふつう		ふつう	ふつう	にぶい橙	7.5YR7/4	隆帯・沈線・縄文	縄文RL縦位・棒状工具	加曽利EⅠ古	突帯5単位	
132	3		SK	131	1	1	深鉢	胴	～ 2.0mm	少	やや 少	結晶片岩	やや 良	やや 硬	明赤褐	5YR5/8	沈線・櫛描	丸棒・櫛歯8本以上	加曽利EⅢ		
133	3		SK	132	1	1	深鉢	口縁	～ 2.0mm	やや 少	ふつう		やや 良	やや 硬	浅黄橙	10YR8/3	隆帯	—	加曽利EⅢ		
134	3	拡張	SK	152	3	1	浅鉢	口縁	～ 2.0mm	やや 少	ふつう		やや 不良	やや 軟	灰白	10YR8/2	なし	—	中大類	風化著しい	
135	3	拡張	SK	152	2	2	深鉢	胴上 半	～ 2.5mm	少	やや 少		良	やや 硬	にぶい橙	5YR6/4	隆帯・沈線・押引	篋状工具・角棒	勝坂系		
136	3	拡張	SK	152	1	3	深鉢	胴上 半	～ 4.0mm	なし	やや 少	結晶片岩	やや 良	やや 硬	橙	5YR6/6	隆帯・沈線・キザミ・刺 突	丸棒	勝坂系		
137	3	拡張	SK	152	4	4	深鉢	口縁	～ 3.0mm	少	やや 多		やや 良	やや 軟	にぶい橙	7.5YR6/4	隆帯	—	阿玉台		
138	3	拡張	SK	152	A	5	深鉢	底	～ 4.0mm	少	やや 多	結晶片岩	ふつう	ふつう	橙	5YR6/8	捺糸	捺糸R縦位	加曽利EⅠ		
139	3	拡張	SK	152	5	6	深鉢	胴上 半	～ 2.0mm	少	やや 多		やや 良	ふつう	橙	5YR7/6	隆帯・沈線・縄文	丸棒・縄文LR横位	加曽利EⅠ		

No.	区	区備考	遺構	遺構	整理	図版	器種	部位	胎土砂 粒径	雲母	長石 石英	その他	焼成	硬度	色調	色調備考	文様要素	施文具	時期・型式	備考	図版 番号
140	3	拡張	SK	153	5	1	深鉢	口縁	～ 4.0mm	少	少	結晶片岩	やや 良	やや 硬	にぶい橙	5YR7/4	隆帯・沈線・刺突・縄 文	縄文RL横位・棒状工具	加曽利E I		
141	3	拡張	SK	153	4	2	深鉢	胴下 半	～ 1.0mm	なし	やや 多		やや 不良	やや 軟	灰	N4/	隆帯・沈線	丸棒	加曽利E I 古		
142	3	拡張	SK	153	3	3	深鉢	胴	～ 1.5mm	やや 多	ふつう		良	やや 硬	黒褐	2.5YR3/1	隆帯・沈線	丸棒・篋状工具	勝坂系	被熱有・同じ物有	
143	3	拡張	SK	153	2	4	深鉢	口縁	～ 1.5mm	ふつう	ふつう		良	ふつう	橙	5YR6/6	隆帯・沈線	丸棒	加曽利E I		
144	3	拡張	SK	153	A	5	深鉢	口縁	～ 4.0mm	ふつう	ふつう	結晶片岩	ふつう	やや 硬	にぶい橙	5YR6/3	隆帯・沈線・刺突・捺 糸	捺糸R縦位・棒状工具丸 棒	加曽利E I		
145	3	拡張	SK	153	1	6	深鉢	胴	～ 1.0mm	ふつう	ふつう		良	やや 硬	橙	5YR6/6	捺糸	捺糸L縦位	加曽利E I		
146	3	拡張	SK	154	2	1	深鉢	口縁	～ 2.0mm	やや 少	やや 多		ふつう	やや 軟	橙	5YR6/6	隆帯・沈線	丸棒	加曽利E I	風化著しい	
147	3	拡張	SK	154	1	2	深鉢	口縁	～ 3.0mm	やや 少	ふつう		やや 良	やや 硬	明赤褐	5YR5/6	隆帯・沈線・捺糸	丸棒・捺糸L横位	加曽利E I		
148	3	拡張	SK	154	7	3	深鉢	口縁	～ 2.0mm	少	やや 少		やや 良	やや 硬	にぶい褐	7.5YR5/3	隆帯・沈線・捺糸	丸棒・捺糸R横位	加曽利E I		
149	3	拡張	SK	154	3	4	深鉢	口縁	～ 1.0mm	やや 少	やや 少	結晶片岩	ふつう	ふつう	黒褐	7.5YR3/1	沈線・磨消縄文	丸棒・縄文LR斜位	加曽利E I		
150	3	拡張	SK	154	6	5	深鉢	口縁	～ 1.0mm	なし	少		やや 良	やや 軟	明褐灰	7.5YR7/2	沈線・磨消縄文？	丸棒・縄文RL斜位？	加曽利E II		
151	3	拡張	SK	154	9	6	深鉢	胴	～ 2.0mm	やや 少	ふつう		良	やや 硬	にぶい橙	7.5YR5/4	捺糸	捺糸L縦位	加曽利E I		
152	3	拡張	SK	154	8	7	深鉢	胴	～ 1.5mm	ふつう	やや 少		良	やや 硬	にぶい橙	7.5YR7/4	捺糸	捺糸L縦位	加曽利E I		
153	3	拡張	SK	154	11	8	深鉢	胴上 半	～ 3.0mm	少	やや 多	結晶片岩	やや 不良	やや 軟	にぶい橙	7. 5YR5 ／4	隆帯・沈線	丸棒	勝坂系	風化著しい	
154	3	拡張	SK	154	5	9	深鉢	胴	～ 3.0mm	少	やや 多	チャート	良	やや 硬	橙	5YR6/6	隆帯・沈線・捺糸	丸棒・捺糸L縦位	加曽利E I	SK154-10と同一個体	
155	3	拡張	SK	154	4	10	深鉢	底	～ 3.0mm	少	やや 少	チャート	良	やや 硬	橙	5YR6/6	捺糸	捺糸L縦位	加曽利E I	SK154-9と同一個体	
156	3	拡張	SK	154		11	深鉢	胴下 半	～ 4.0mm	少	ふつう	チャート	やや 良	やや 硬	にぶい橙	5YR7/3	隆帯・刺突・捺糸	捺糸L縦位	加曽利E I	内面スス	
157	3	拡張	SK	154	10	12	深鉢	胴下 半	～ 2.0mm	やや 少	ふつう		良	やや 硬	明赤褐	5YR5/6	捺糸	捺糸L縦位	加曽利E I		
158	3	拡張	SK	154	B	13	深鉢	胴下 半	～ 4.0mm	ふつう	やや 多	チャート	ふつう	ふつう	浅黄橙	7.5YR8/4	捺糸	捺糸R縦位	加曽利E I	内面スス	
159	3	拡張	SK	154	C	14	深鉢	胴下 半	～ 3.0mm	ふつう	ふつう		ふつう	ふつう	淡橙	5YR8/3	捺糸	捺糸L縦位	加曽利E I		
160	3	拡張	SK	154	A	15	深鉢	胴下 半	～ 3.0mm	ふつう	ふつう		ふつう	ふつう	にぶい橙	5YR7/4	捺糸・沈線	捺糸R縦位・棒状工具	加曽利E I		
161	3	拡張	SK	155	1	1	深鉢	口縁	～ 3.0mm	少	少		やや 良	やや 硬	にぶい橙	7.5YR6/4	条痕	？	中期中葉		
162	3	拡張	SK	155	2	2	深鉢	胴上 半	～ 3.0mm	やや 多	やや 多		ふつう	ふつう	灰白	10YR8/2	隆帯・押引	角棒	阿玉台Ⅱ	風化著しい	
163	3	拡張	SK	155	3	3	深鉢	胴上 半	～ 2.0mm	やや 多	やや 多		良	やや 硬	にぶい黄 橙	10YR7/4	隆帯・沈線	篋？	阿玉台Ⅱ		
164	3	拡張	SK	155	B	4	深鉢	胴	～ 4.0mm	ふつう	ふつう		ふつう	ふつう	にぶい橙	5YR7/4	隆帯・沈線・刺突・条 線	棒状工具・ササラ状工具	勝坂系	4700ml・内面スス	
165	3	拡張	SK	155	4	5	深鉢	胴	～ 2.0mm	少	ふつう		良	やや 硬	にぶい橙	7.5YR6/4	刺突	棒？	勝坂か		
166	3	拡張	SK	155	C	6	深鉢	胴	～ 2.0mm	やや 多	やや 多		やや 良	やや 硬	にぶい橙	5YR7/4	隆帯・沈線・刺突・捺 糸	捺糸R縦位・棒状工具	勝坂系		
167	3	拡張	SK	155	A	7	深鉢	胴	～ 3.0mm	ふつう	ふつう		ふつう	硬	橙	5YR7/6	縄文・沈線	縄文RL縦位・棒状工具	加曽利E I	3500ml・内面スス	



No.	区	区備考	遺構	遺構	整理	図版	器種	部位	胎土砂 粒径	雲母	長石 石英	その他	焼成	硬度	色調	色調備考	文様要素	施文具	時期・型式	備考	図版 番号
168	3	拡張	SK	156	2	1	深鉢？	口縁	～ 2.0mm	ふつう	ふつう		やや 良	やや 硬	橙	5YR6/6	なし	—	中期中葉		
169	3	拡張	SK	156	1	2	深鉢	胴	～ 2.0mm	やや 少	ふつう		良	やや 硬	明赤褐	5YR5/6	撚糸	撚糸L縦位	加曽利E I		
170	3	拡張	SK	157	1	1	深鉢	胴	～ 3.0mm	少	少	チャート	良	やや 硬	橙	7.5YR6/6	隆帯・沈線・縄文	篋状工具・縄文RL縦位	加曽利E I	縄文施文後隆帯貼付	
171	3	拡張	SK	157	2	2	深鉢	口縁	～ 2.0mm	少	やや 少		良	やや 硬	灰褐	7.5YR4/2	沈線	丸棒	勝坂系	磨き入念	
172	3	拡張	SK	157	3	3	深鉢	底	～ 3.0mm	ふつう	やや 多		良	ふつう	橙	5YR6/8	なし	—	中期中葉末		
173	3	拡張	SK	158	1	1	深鉢	口縁	～ 3.0mm	やや 少	やや 多		やや 良	ふつう	明赤褐	5YR5/6	隆帯	—	加曽利E I		
174	3	拡張	SK	159	1	1	深鉢	口縁	～ 1.0mm	やや 少	ふつう		やや 良	ふつう	にぶい黄 橙	10YR7/2	隆帯・沈線・撚糸	丸棒・撚糸L縦位	加曽利E I		
175	3	拡張	SK	159	2	2	深鉢	胴	～ 3.0mm	ふつう	やや 多	結晶片岩	やや 良	やや 硬	にぶい褐	7.5YR5/3	隆帯・沈線・撚糸	丸棒・撚糸L縦位	加曽利E I	撚糸施文後隆帯貼付	
176	3	拡張	SK	160	1	1	深鉢	口縁	～ 2.0mm	ふつう	ふつう		やや 良	やや 硬	にぶい橙	7.5YR7/3	隆帯・沈線・磨消縄文	丸棒・縄文LR横位	加曽利EⅢ		
177	3	拡張	SK	160	2	2	深鉢	胴	～ 2.0mm	やや 少	ふつう		ふつう	やや 軟	にぶい橙	7.5YR7/4	隆帯・沈線	丸棒		風化により地文不明	
178	3	拡張	SK	161	1	1	深鉢	胴	～ 2.0mm	やや 少	少		良	硬	灰白	10YR8/1	沈線・磨消縄文	丸棒・縄文LR横位	称名字		
179	3	拡張	SK	161	3	2	深鉢	口縁	～ 3.0mm	やや 少	多		やや 良	ふつう	褐灰	5YR4/1	隆帯・沈線	丸棒	加曽利E I 古		
180	3	拡張	SK	161	2	3	深鉢	口縁	～ 3.0mm	ふつう	やや 少	チャート	やや 良	ふつう	浅黄橙	10YR8/3	隆帯・沈線・縄文	丸棒・縄文RL縦位？	加曽利EⅡ	やや風化	
181	3	拡張	SK	162	3	1	深鉢	胴上半	～ 3.0mm	やや 少	やや 多		ふつう	ふつう	にぶい褐	7.5YR5/4	沈線	丸棒	加曽利E I		
182	3	拡張	SK	162	5	2	深鉢	胴上半	～ 2.0mm	ふつう	やや 多		やや 良	ふつう	にぶい橙	7.5YR7/3	隆帯・沈線・磨消縄文	棒状工具・縄文LR横位	堀之内 I		
183	3	拡張	SK	162	2	3	深鉢	胴	～ 3.0mm	ふつう	やや 多	結晶片岩	やや 良	ふつう	淡黄	2.5YR8/3	隆帯・縄文	丸棒・縄文RL縦位	加曽利E I	縄文施文後隆帯貼付	
184	3	拡張	SK	162	4	4	深鉢	胴	～ 2.0mm	やや 少	やや 多		やや 良	やや 硬	にぶい褐	5YR5/4	撚糸	撚糸L縦位	加曽利E I		
185	3	拡張	SK	162	1	5	深鉢	胴	～ 2.0mm	やや 少	やや 多		やや 良	ふつう	橙	5YR6/6	隆帯・撚糸	撚糸L縦位	加曽利E I		
186	3	拡張	SK	163	3	1	深鉢	口縁	～ 2.0mm	ふつう	やや 多	チャート	やや 良	やや 硬	橙	5YR6/6	—	—	中期中葉末		
187	3	拡張	SK	163	2	2	深鉢	胴上半	～ 2.0mm	やや 少	やや 多		やや 良	やや 硬	橙	5YR6/6	隆帯・沈線・撚糸	棒状工具・撚糸L縦位	加曽利E I	撚糸施文後隆帯貼付	
188	3	拡張	SK	163	1	3	深鉢？	胴上半	～ 3.0mm	少	やや 少	結晶片岩	やや 良	ふつう	灰白	2.5YR8/2	隆帯	—	加曽利EⅢ		
189	3	拡張	SK	164	3	1	深鉢	口縁	～ 3.0mm	ふつう	やや 多		やや 良	やや 硬	橙	5YR7/6	—	—	加曽利E I		
190	3	拡張	SK	164	5	2	深鉢	口縁	～ 1.5mm	ふつう	ふつう		やや 良	やや 硬	にぶい橙	5YR7/3	隆帯・沈線	丸棒	加曽利EⅡ		
191	3	拡張	SK	164	1	3	深鉢	胴上半	～ 2.0mm	やや 多	ふつう		やや 良	やや 硬	にぶい赤 褐	5YR5/3	隆帯・沈線・撚糸	撚糸L縦位	加曽利E I		
192	3	拡張	SK	164	2	4	深鉢	胴上半	～ 3.0mm	やや 少	ふつう		やや 良	やや 硬	にぶい赤 褐	5YR4/3	隆帯・押引・沈線	半裁竹管	中期中葉末		
193	3	拡張	SK	164	4	5	器台	底	～ 2.0mm	ふつう	ふつう		良	やや 硬	浅黄橙	10YR8/3	沈線	丸棒	中期	透かし孔は外から切り取り	
194	3	拡張	SK	165	3	1	深鉢	口縁	～ 2.0mm	やや 多	ふつう		やや 良	やや 硬	淡黄	2.5YR8/3	隆帯・沈線・縄文	丸棒・縄文RL斜位	加曽利EⅡ		
195	3	拡張	SK	165	2	2	深鉢	口縁	～ 1.5mm	ふつう	やや 少		良	やや 硬	にぶい橙	7.5YR7/4	沈線・刺突・縄文	角～丸棒・縄文RL縦位	加曽利EⅡ		

No.	区	区備考	遺構	遺構	整理	図版	器種	部位	胎土砂粒径	雲母	長石石英	その他	焼成	硬度	色調	色調備考	文様要素	施文具	時期・型式	備考	図版番号
196	3	拡張	SK	165	6	3	深鉢	口縁	～ 2.0mm	やや多	ふつう		やや良	やや硬	灰白	7.5YR8/2	隆帯・沈線	丸棒	加曽利EⅡ	波状口縁	
197	3	拡張	SK	165	7	4	深鉢	口縁	～ 3.0mm	やや少	やや少		良	やや硬	にぶい橙	5YR7/4	隆帯・沈線	丸棒	加曽利EⅠ		
198	3	拡張	SK	165	8	5	深鉢	口縁	～ 2.0mm	少	ふつう		ふつう	ふつう	にぶい橙	5YR7/3	隆帯・沈線・撚糸	丸棒・撚糸L横位	加曽利EⅠ	波状口縁	
199	3	拡張	SK	165	4	6	深鉢	口縁	～ 2.5mm	ふつう	やや多		良	やや硬	橙	5YR7/6	隆帯・沈線・撚糸	丸棒・撚糸L縦位	加曽利EⅠ	撚糸施文後隆帯貼付	
200	3	拡張	SK	165	10	7	浅鉢	胴上半	～ 3.0mm	少	やや多		やや良	ふつう	浅黄橙	7.5YR8/3	沈線・キザミ	丸棒・篋状工具	加曽利EⅠ	SK188-14と同一個体・最大径推定52cm	
201	3	拡張	SK	165	1	8	深鉢	胴	～ 3.0mm	ふつう	やや多		やや良	やや硬	にぶい橙	5YR7/4	沈線・縄文	丸棒・縄文RL縦位	加曽利EⅠ		
202	3	拡張	SK	165	9	9	深鉢	胴	～ 3.0mm	やや多	多		やや良	ふつう	灰白	7.5YR8/2	隆帯・押引・沈線	篋？	加曽利EⅠ		
203	3	拡張	SK	165	5	10	深鉢	胴上半	～ 4.0mm	ふつう	やや多	白色軽石	やや良	やや硬	にぶい橙	5YR7/4	隆帯・沈線	丸棒	加曽利EⅠ		
204	3	拡張	SK	166	6	1	浅鉢？	胴上半	～ 1.0mm	少	少	チャート	ふつう	やや軟	灰白	10YR7/1	隆帯・沈線	篋？	加曽利EⅠ		
205	3	拡張	SK	166	3	2	深鉢	口縁	～ 3.0mm	ふつう	やや多		良	やや硬	にぶい橙	5YR7/4	隆帯・沈線・刺突	丸棒	勝坂系		
206	3	拡張	SK	166	4	3	深鉢	口縁	～ 2.0mm	少	やや少		良	やや硬	にぶい黄橙	10YR6/3	挟りもしくは刺突	丸棒？	堀之内		
207	3	拡張	SK	166	7	4	浅鉢？	口縁	～ 3.0mm	少	やや少		ふつう	やや軟	にぶい黄橙	10YR6/3	沈線	丸棒	中期中葉	波状口縁	
208	3	拡張	SK	166	1	5	深鉢	把手	～ 3.0mm	やや多	やや多		良	やや硬	にぶい橙	5YR6/4	隆帯・沈線	丸棒・篋状工具	加曽利EⅠ		
209	3	拡張	SK	166	2	6	深鉢	胴上半	～ 2.0mm	やや少	やや少		良	やや硬	灰褐	5YR5/2	隆帯・沈線・刺突・押引	半裁竹管	加曽利EⅠ		
210	3	拡張	SK	166	8	7	深鉢	胴上半	～ 3.0mm	やや少	やや多		良	やや硬	にぶい橙	5YR7/4	隆帯・沈線	丸棒	加曽利EⅠ		
211	3	拡張	SK	166	5	8	深鉢	胴	～ 1.5mm	ふつう	やや多		やや良	やや硬	明褐灰	7.5YR7/2	撚糸・沈線	丸棒・撚糸L縦位	加曽利EⅠ	撚糸施文後沈線	
212	3	拡張	SK	167	9	1	深鉢	口縁	～ 1.5mm	少	やや少		やや良	やや軟	浅黄橙	7.5YR8/3	隆帯・沈線	丸棒	加曽利EⅠ		
213	3	拡張	SK	167	8	2	深鉢	口縁	～ 2.0mm	やや少	やや少		やや良	やや硬	にぶい橙	7.5YR6/4	隆帯・沈線・刺突	丸棒・角棒・竹管	加曽利EⅠ		
214	3	拡張	SK	167	7	3	浅鉢？	口縁	～ 4.0mm	少	ふつう	結晶片岩	やや良	ふつう	橙	7.5YR6/6	隆帯	－	中期中葉	結晶片岩極多・器面風化	
215	3	拡張	SK	167	5	4	深鉢	口縁	～ 8.0mm	少	やや多		やや良	やや硬	にぶい黄橙	10YR7/3	沈線・縄文	丸棒・縄文RL横位	加曽利EⅡ		
216	3	拡張	SK	167	4	5	深鉢	口縁	～ 2.0mm	やや少	ふつう		やや良	やや硬	にぶい橙	7.5YR6/4	縄文	縄文RL横位	加曽利EⅡ		
217	3	拡張	SK	167	3	6	浅鉢？	口縁	～ 1.5mm	少	やや少		やや良	ふつう	にぶい橙	7.5YR7/3	隆帯・沈線	丸棒	加曽利EⅡ		
218	3	拡張	SK	167	2	7	深鉢	口縁	～ 2.0mm	ふつう	やや多		良	やや硬	にぶい橙	7.5YR6/4	隆帯・沈線	丸棒・篋状工具	加曽利EⅠ	縦沈線施文後横沈線	
219	3	拡張	SK	167	1	8	深鉢	胴	～ 12.0m	少	やや少	結晶片岩	良	やや硬	にぶい褐	7.5YR5/3	隆帯・沈線・縄文	丸棒？・縄文RL縦位、斜位	勝坂系	隆帯貼付後縄文施文、その後沈線	
220	3	拡張	SK	167	10	9	注口	注口	～ 2.0mm	少	やや少		ふつう	やや軟	浅黄橙	7.5YR8/4	－	－	堀之内		
221	3	拡張	SK	167	6	10	深鉢	胴	～ 3.0mm	ふつう	やや多		良	やや硬	橙	5YR6/6	隆帯・縄文	縄文LR横位	加曽利EⅡ	縄文施文後隆帯貼付	
222	3	拡張	SK	168	1	1	深鉢	胴上半	～ 3.0mm	多い	ふつう		良	硬	褐灰	5YR5/1	隆帯・沈線・押引	角棒・篋？	阿玉台Ⅰb	金雲母目立つ/天・地逆	
223	3	拡張	SK	168	2	2	深鉢	底	～ 1.5mm	やや少	やや多		やや良	ふつう	赤褐	5YR4/6	撚糸？	？	加曽利EⅠ	風化著しい。底径推定94mm	

No.	区	区備考	遺構	遺構	整理	図版	器種	部位	胎土砂 粒径	雲母	長石 石英	その他	焼成	硬度	色調	色調備考	文様要素	施文具	時期・型式	備考	図版 番号
224	3	拡張	SK	169	13	1	深鉢	口縁	～ 5.0mm	少	多	チャート	やや 良	ふつう	明褐灰	5YR7/2	隆帯・沈線・縄文	丸棒・縄文RL横位	加曽利EⅡ		
225	3	拡張	SK	169	5	2	深鉢	口縁	～ 2.0mm	やや 少	やや 多		やや 良	やや 硬	にぶい橙	5YR7/4	隆帯・沈線	丸棒	加曽利EⅠ		
226	3	拡張	SK	169	1	3	深鉢	口縁	～ 2.5mm	少	ふつう		良	硬	にぶい褐	7.5YR5/3	沈線	丸棒・篋状工具	加曽利B2		
227	3	拡張	SK	169	8	4	深鉢	口縁	～ 2.0mm	やや 少	ふつう		やや 良	やや 硬	黒褐	5YR3/1	隆帯・沈線	丸棒・篋状工具	加曽利EⅡ		
228	3	拡張	SK	169	18	5	深鉢	口縁	～ 2.0mm	少	やや 少		やや 良	やや 硬	褐	7.5YR4/3	隆帯・沈線	丸棒・篋状工具	加曽利EⅠ	上部にも把手が付く	
229	3	拡張	SK	169	3	6	深鉢	口縁	～ 2.0mm	やや 多	やや 多		やや 良	やや 硬	橙	5YR6/6	隆帯・沈線・縄文	丸棒・縄文RL斜位	加曽利EⅡ		
230	3	拡張	SK	169	17	7	深鉢	口縁	～ 2.0mm	少	やや 多	結晶片岩	良	やや 硬	橙	5YR6/6	隆帯・沈線・縄文？	丸棒・縄文R横位？	加曽利EⅠ		
231	3	拡張	SK	169	20	8	浅鉢	胴上半	～ 3.0mm	少	やや 多		やや 良	ふつう	浅黄橙	7.5YR8/3	沈線・キザミ	丸棒・篋状工具	加曽利EⅠ	SK188-14と同一個体・最大径推定 52cm	
232	3	拡張	SK	169	7	9	深鉢	胴	～ 2.0mm	やや 少	やや 多		やや 良	やや 硬	灰白	7.5YR8/2	沈線・撚糸	篋状工具・撚糸L縦位	加曽利EⅠ		
233	3	拡張	SK	169	19	10	深鉢	口縁	～ 3.0mm	少	多		やや 不良	ふつう	灰褐	7.5YR4/2	隆帯・沈線・縄文	丸棒・縄文RL縦位	加曽利EⅠ	波状口縁に把手が付く	
234	3	拡張	SK	169	15	11	深鉢	把手	～1. 5 mm	やや 少	やや 多		やや 良	ふつう	灰褐	5YR5/2	隆帯？・沈線	丸棒	加曽利EⅠ		
235	3	拡張	SK	169	14	12	深鉢	胴	～2. 0 mm	ふつう	ふつう		良	やや 硬	黒褐	5YR3/1	隆帯・縄文	縄文LR横位	加曽利EⅡ		
236	3	拡張	SK	169	12	13	深鉢	口縁	～2. 5 mm	少	多		やや 良	ふつう	にぶい褐	7.5YR6/3	隆帯・沈線	丸棒	加曽利EⅡ		
237	3	拡張	SK	169	6	14	深鉢	口縁	～ 3.0mm	やや 少	やや 多		やや 良	やや 硬	橙	5YR6/6	隆帯・沈線	丸棒	加曽利EⅡ		
238	3	拡張	SK	169	16	15	深鉢	胴	～ 3.0mm	やや 少	やや 多		良	硬	灰褐	5YR5/2	隆帯・沈線・撚糸	丸棒・撚糸L縦位	加曽利EⅠ		
239	3	拡張	SK	169	9	16	深鉢	胴上半	～ 3.0mm	やや 少	ふつう	チャート	やや 良	ふつう	にぶい褐	7.5YR5/4	隆帯	—	加曽利EⅠ		
240	3	拡張	SK	169	4	17	深鉢	胴	～ 2.0mm	やや 少	やや 多		やや 良	やや 硬	橙	5YR6/6	沈線・磨消縄文	丸棒・縄文RL縦位	加曽利EⅡ		
241	3	拡張	SK	169	11	18	深鉢	胴上半	～ 3.0mm	やや 少	ふつう		ふつう	ふつう	明褐灰	7.5YR7/2	隆帯・沈線・縄文	丸棒・縄文LR横位	加曽利EⅠ		
242	3	拡張	SK	169	2	19	深鉢	胴	～ 2.0mm	やや 多	ふつう		やや 良	やや 硬	にぶい黄 橙	10YR7/3	縄文・沈線・刺突	丸棒・縄文RL横位	加曽利EⅡ		
243	3	拡張	SK	169	10	20	深鉢	底	～ 1.5mm	少	やや 少		良	やや 硬	にぶい橙	7.5YR6/4	撚糸	撚糸L縦位	加曽利EⅠ		
244	3	拡張	SK	170	15	1	深鉢	口縁	～ 4.0mm	ふつう	やや 少		良	やや 硬	橙	5YR6/6	隆帯・沈線	丸棒	加曽利EⅡ		
245	3	拡張	SK	170	16	2	深鉢	口縁	～ 4.0mm	やや 少	やや 多		やや 良	ふつう	明赤褐	2.5YR5/6	隆帯・沈線	丸棒	加曽利EⅡ		
246	3	拡張	SK	170	24	3	深鉢	口縁	～ 3.0mm	少	やや 多	結晶片岩	良	ふつう	灰白	7.5YR8/2	隆帯・沈線・撚糸	丸棒・撚糸L縦位	加曽利EⅡ		
247	3	拡張	SK	170	20	4	深鉢	口縁	～ 3.0mm	ふつう	多		やや 良	やや 軟	にぶい橙	7.5YR7/3	隆帯・沈線	丸棒	加曽利EⅡ		
248	3	拡張	SK	170	14	5	深鉢	口縁	～ 3.0mm	やや 多	多		やや 良	やや 硬	橙	5YR6/6	隆帯・沈線	丸棒・篋状工具	加曽利EⅡ		
249	3	拡張	SK	170	4	6	深鉢	胴	～ 3.0mm	やや 多	やや 多		やや 良	ふつう	にぶい橙	7.5YR7/3	縄文	縄文RL横位	加曽利EⅡ	風化著しい	
250	3	拡張	SK	170	13	7	深鉢	胴上半	～ 5.0mm	少	ふつう	結晶片岩	やや 良	やや 硬	にぶい黄 橙	10YR7/3	隆帯・沈線	丸棒・篋状工具	加曽利EⅡ	SK170-11,12-,22と同一個体	
251	3	拡張	SK	170	17	8	深鉢	口縁	～ 2.0mm	やや 多	ふつう		やや 良	やや 硬	暗褐	10YR3/3	隆帯・沈線・縄文	丸棒・縄文RL横位(口 縁)・縄文RL縦位(胴部)	加曽利EⅡ	縄文施文後沈線施文	

No.	区	区備考	遺構	遺構	整理	図版	器種	部位	胎土砂 粒径	雲母	長石 石英	その他	焼成	硬度	色調	色調備考	文様要素	施文具	時期・型式	備考	図版 番号
252	3	拡張	SK	170	19	9	深鉢	口縁	～ 3.0mm	ふつう	やや多		良	やや硬	橙	5YR6/6	隆帯・沈線	丸棒・篋状工具	加曽利EⅡ		
253	3	拡張	SK	170	5	10	深鉢	胴	～ 3.0mm	やや多	やや多	チャート	やや良	ふつう	橙	5YR6/6	縄文	縄文RL横位？	加曽利EⅡ	風化著しい	
254	3	拡張	SK	170	23	11	深鉢	把手	～ 4.0mm	少	多		やや良	ふつう	灰黄褐	10YR6/2	隆帯・沈線	丸棒	加曽利EⅠ	SK170-7,12,22と同一個体・橋状把手	
255	3	拡張	SK	170	10	12	深鉢	胴上半	～ 3.0mm	やや少	やや少		やや良	やや硬	にぶい橙	7.5YR7/4	隆帯・沈線・刺突	丸棒	加曽利EⅠ	SK170-7,11,22と同一個体・えら張る	
256	3	拡張	SK	170	22	13	深鉢	口縁	～ 3.0mm	やや多	やや多		やや良	ふつう	橙	5YR6/6	隆帯・沈線	丸棒	加曽利EⅠ	把手付き	
257	3	拡張	SK	170	21	14	深鉢	口縁	～ 3.0mm	少	ふつう		やや良	ふつう	黒褐	7.5YR3/2	沈線	丸棒	加曽利EⅠ	橋状把手	
258	3	拡張	SK	170	18	15	深鉢	口縁	～ 3.0mm	やや多	ふつう		やや良	ふつう	橙	5YR6/6	隆帯・沈線・捺糸	丸棒・捺糸L縦位	加曽利EⅡ	把手付きか波状口縁	
259	3	拡張	SK	170	12	16	深鉢	胴上半	～ 5.0mm	少	やや少	結晶片岩・	やや良	ふつう	明褐灰	7.5YR7/2	隆帯・沈線	丸棒・篋状工具	加曽利EⅠ	11・13と同一個体	
260	3	拡張	SK	170	7	17	深鉢	胴上半	～ 3.0mm	やや多	やや多		やや良	ふつう	にぶい橙	7.5YR6/4	沈線・縄文	丸棒・縄文RL縦位？	加曽利EⅡ	風化著しい	
261	3	拡張	SK	170	6	18	深鉢	胴上半	～ 3.0mm	やや多	やや多		やや良	ふつう	にぶい橙	7.5YR6/4	沈線・縄文	丸棒・縄文RL縦位？	加曽利EⅡ	風化著しい	
262	3	拡張	SK	170	9	19	深鉢	胴	～ 2.0mm	やや少	ふつう		やや良	ふつう	にぶい橙	5YR7/4	隆帯・沈線・縄文	丸棒・縄文LR横位	加曽利EⅡ		
263	3	拡張	SK	170	3	20	深鉢	胴	～ 3.0mm	やや多	やや多		やや良	ふつう	にぶい橙	5YR6/4	縄文	縄文LR横位？	加曽利EⅡ	風化著しい	
264	3	拡張	SK	170	1	21	深鉢	胴	～ 2.0mm	少	やや少		やや良	ふつう	にぶい褐	7.5YR5/4	縄文	縄文RL横位	加曽利EⅡ	SK170-23と同一個体	
265	3	拡張	SK	170	11	22	深鉢	胴上半	～ 5.0mm	少	ふつう	結晶片岩	やや良	やや硬	にぶい黄橙	10YR7/3	隆帯・沈線	丸棒・篋状工具	加曽利EⅠ	SK170-7,11,12と同一個体	
266	3	拡張	SK	170	2	23	深鉢	胴	～ 2.0mm	少	やや少	チャート	やや良	ふつう	灰白	10YR8/2	縄文	縄文RL横位	加曽利EⅡ	SK170-21と同一個体	
267	3	拡張	SK	170	8	24	深鉢	底	～ 3.0mm	やや多	ふつう	チャート	やや良	やや軟	灰白	7.5YR8/2	縄文	縄文RL縦位	加曽利EⅠ	風化著しい	
268	3	拡張	SK	170	G	25	深鉢	胴	～ 2.0mm		やや少	金雲母	やや良	やや軟	明褐灰	7.5YR7/2	縄文・沈線	丸棒・縄文LR縦位	加曽利EⅠ（大木8b）	表面やや風化	
269	3	拡張	SK	170	A	26	深鉢	口縁～胴	～ 3.0mm		ふつう		やや良	ふつう	明褐灰	7.5YR7/2	隆帯・沈線・縄文	丸棒・縄文LR縦位	加曽利EⅠ		
270	3	拡張	SK	170	D	27	深鉢	底～胴上	～ 2.0mm	やや多	ふつう		良	ふつう	橙	5YR6/6	捺糸	捺糸文L縦位	加曽利EⅠ		
271	3	拡張	SK	170	B	28	深鉢	口縁～胴	～ 3.0mm		ふつう	結晶片岩	良	やや硬	灰白	7.5YR8/2	隆帯・沈線・捺糸	棒状工具・捺糸文L斜位	加曽利EⅠ		
272	3	拡張	SK	170	C	29	深鉢	底	～ 2.0mm	ふつう	少		やや良	ふつう	にぶい橙	5YR7/3	縄文	縄文LR縦位	加曽利EⅠ	表面風化	
273	3	拡張	SK	170	E	30	深鉢	底～胴下	～ 2.0mm	ふつう	やや多		やや良	ふつう	橙	5YR6/6	隆帯・沈線・篋・縄文	縄文LR横位	加曽利EⅠ		
274	3	拡張	SK	170	I	31	深鉢	口縁～胴	～ 2.0mm	やや多	やや少		良	やや硬	灰褐	5YR6/2	隆帯・沈線・丸棒・縄文	縄文LR横位	加曽利EⅠ		
275	3	拡張	SK	170	F	32	深鉢	底～胴下	～ 3.0mm	やや多	ふつう		やや良	やや軟	橙	2.5YR6/6	縄文	縄文RL縦位	加曽利EⅠ		
276	3	拡張	SK	170	H	33	深鉢	胴上半～	～ 3.0mm	やや多	ふつう		良	やや硬	橙	2.5YR7/6	縄文	縄文RL縦位	加曽利EⅠ		
277	3	拡張	SK	171	1	1	深鉢	胴	～ 2.0mm	やや多	ふつう		良	硬	橙	5YR6/6	縄文？	？	不明		
278	3	拡張	SK	172	8	1	深鉢	口縁	～ 2.0mm	やや多	ふつう		やや良	やや硬	明褐灰	5YR7/2	隆帯・沈線・縄文	丸棒・縄文RL横位？	加曽利EⅠ		
279	3	拡張	SK	172	15	2	深鉢	口縁	～ 3.0mm	ふつう	やや少		良	硬	褐灰	10YR4/1	隆帯・沈線・縄文	丸棒・縄文RL横位	加曽利EⅠ		

No.	区	区備考	遺構	遺構	整理	図版	器種	部位	胎土砂 粒径	雲母	長石 石英	その他	焼成	硬度	色調	色調備考	文様要素	施文具	時期・型式	備考	図版 番号
280	3	拡張	SK	172	12	3	深鉢	口縁	～ 4.0mm	ふつう	ふつう	チャート・ 結晶片岩	やや 良	やや 硬	にぶい赤 褐	5YR4/3	隆帯・沈線・縄文	丸棒・縄文RL横位	加曽利EⅡ		
281	3	拡張	SK	172	9	4	深鉢	口縁	～ 3.0mm	ふつう	ふつう	チャート	やや 良	やや 硬	橙	5YR6/8	隆帯・沈線・縄文	篋?・縄文RL縦位	加曽利EⅡ		
282	3	拡張	SK	172	6	5	深鉢	口縁	～ 3.0mm	ふつう	やや 少		やや 良	やや 硬	黄橙	7.5YR7/8	隆帯・沈線・縄文	丸棒・縄文RL横位	加曽利EⅡ		
283	3	拡張	SK	172	20	6	深鉢	把手	～ 3.0mm	少	やや 少	チャート	良	硬	にぶい黄 橙	10YR6/3	隆帯・沈線	丸棒	加曽利EⅠ		
284	3	拡張	SK	172	18	7	深鉢	口縁	～ 4.0mm	少	やや 少		やや 良	やや 硬	にぶい褐	7.5YR5/3	隆帯・沈線	丸棒	加曽利EⅠ		
285	3	拡張	SK	172	1	8	深鉢? ?	胴上半	～ 4.0mm	少	やや 多	チャート	良	やや 硬	灰白	10YR8/1	隆帯・沈線・刺突	角棒	加曽利EⅠ 併行		
286	3	拡張	SK	172	19	9	深鉢	口縁	～ 3.0mm	やや 多	やや 多		良	やや 硬	橙	5YR7/8	隆帯・沈線・刺突・縄 文	丸棒・竹管・縄文LR縦位	加曽利EⅠ	意図的な磨消無し	
287	3	拡張	SK	172	7	10	深鉢	口縁	～ 3.0mm	やや 多	ふつう		やや 良	やや 硬	灰褐	7.5YR4/2	隆帯・沈線・縄文	丸棒・縄文RL横位	加曽利EⅠ		
288	3	拡張	SK	172	5	11	深鉢	口縁	～ 3.0mm	やや 少	ふつう		良	やや 硬	黒褐	5YR3/1	隆帯・沈線	丸棒	加曽利EⅠ		
289	3	拡張	SK	172	13	12	深鉢	口縁	～ 3.0mm	やや 多	ふつう		やや 良	やや 硬	にぶい褐	7.5YR5/4	隆帯・沈線	丸棒・篋状工具	加曽利EⅠ		
290	3	拡張	SK	172	14	13	深鉢	口縁	～ 3.0mm	ふつう	やや 多		やや 良	やや 硬	褐	7.5YR4/3	隆帯・沈線・縄文	丸棒・縄文RL横位	加曽利EⅡ		
291	3	拡張	SK	172	17	14	深鉢	口縁	～ 3.0mm	やや 多	ふつう		やや 良	やや 硬	にぶい褐	7.5YR5/4	隆帯・沈線・縄文	丸棒・縄文LR横位	加曽利EⅡ		
292	3	拡張	SK	172	3	15	深鉢	胴	～ 2.0mm	やや 少	ふつう		良	やや 硬	灰褐	7.5YR4/2	沈線・縄文	丸棒・縄文RL縦位	加曽利EⅠ（大木 8bか）		
293	3	拡張	SK	172	10	16	深鉢	口縁	～ 3.0mm	やや 多	やや 少		やや 良	やや 硬	橙	5YR6/6	隆帯・沈線・縄文	丸棒・縄文RL横位	加曽利EⅡ		
294	3	拡張	SK	172	4	17	深鉢	口縁	～ 2.0mm	やや 少	ふつう		やや 良	やや 硬	褐	7.5YR4/3	隆帯・沈線	丸棒・篋状工具	加曽利EⅡ		
295	3	拡張	SK	172	2	18	深鉢	胴	～ 2.0mm	やや 少	やや 多		やや 良	やや 硬	橙	5YR6/8	沈線・縄文	丸棒・縄文LR横位	加曽利EⅠ（異系 統か）		
296	3	拡張	SK	172	16	19	深鉢	胴上	～ 3.0mm	少	やや 多		良	やや 硬	にぶい黄 橙	5YR7/4	隆帯・沈線	丸棒	加曽利EⅠ 古		
297	3	拡張	SK	172	C	20	深鉢	底部	～ 2.0mm	やや 多	やや 多	チャート	やや 不良	ふつう	橙	5YR6/6	条線	ササウ状工具	加曽利EⅠ		
298	3	拡張	SK	172	11	21	深鉢	底	～ 3.0mm	ふつう	やや 少	チャート	良	硬	にぶい褐	7.5YR6/3	隆帯・縄文	篋?・縄文LR縦位	加曽利EⅡ		
299	3	拡張	SK	172	A	22	深鉢	胴～ 底	～ 2.0mm	やや 少	やや 少	金雲母	ふつう	ふつう	浅黄橙	7.5YR8/3	平行沈線・捺糸	棒状工具・捺糸R縦位	加曽利EⅠ	1200ml・内面スス	
300	3	拡張	SK	172	B	23	深鉢	口縁	～ 3.0mm	やや 多	やや 多		ふつう	やや 硬	にぶい橙	7.5YR7/3	隆帯・沈線	丸棒	加曽利EⅠ		
301	3	拡張	SK	172	D	24	深鉢	底		ふつう	ふつう		ふつう	ふつう	橙	5YR7/6	捺糸	捺糸L縦位	加曽利EⅠ		
302	3	拡張	SK	173	1	1	深鉢	口縁	～ 4.0mm	やや 少	ふつう	チャート	良	硬	にぶい橙	7.5YR7/3	隆帯・沈線・捺糸	丸棒・捺糸L横位	加曽利EⅠ	捺糸施文後隆帯貼付	
303	3	拡張	SK	173	2	2	深鉢	胴	～ 5.0mm	ふつう	ふつう	チャート・ 結晶片岩	やや 良	ふつう	にぶい赤 褐	5YR5/4	隆帯・沈線	丸棒	加曽利EⅠ	把手つき。5もしくは6単位	
304	3	拡張	SK	173	A	3	深鉢	完形	～ 5.0mm	多	ふつう	チャート・ 結晶片岩	ふつう	ふつう	橙	5YR7/6	隆帯・沈線・縄文	縄文RL縦位・縄文LR縦 位・丸棒	加曽利EⅠ	2500ml・内面スス・内側炭化物付着	
305	3	拡張	SK	174	1	1	深鉢	口縁	～ 3.0mm	少	やや 少	チャート	やや 良	やや 硬	にぶい橙	7.5YR6/4	隆帯・沈線・捺糸	丸棒・捺糸L横位	加曽利EⅡ		
306	3	拡張	SK	174	4	2	深鉢	把手	～ 2.0mm	やや 少	やや 多	金雲母	やや 良	やや 硬	灰褐	7.5YR4/2	隆帯・沈線	丸棒	加曽利EⅠ		
307	3	拡張	SK	174	3	3	深鉢	口縁	～ 2.0mm	やや 少	やや 少		やや 良	やや 硬	橙	7.5YR7/6	隆帯・沈線・捺糸	丸棒・捺糸R横位	加曽利EⅡ	内側炭化物付着	

No.	区	区備考	遺構	遺構	整理	図版	器種	部位	胎土砂 粒径	雲母	長石 石英	その他	焼成	硬度	色調	色調備考	文様要素	施文具	時期・型式	備考	図版 番号
308	3	拡張	SK	174	2	4	深鉢	口縁	～ 2.0mm	やや 少	ふつう		やや 良	やや 硬	にぶい橙	7.5YR6/4	隆帯・沈線・縄文	丸棒・縄文LR縦位	加曽利EⅡ		
309	3	拡張	SK	175	2	1	深鉢	口縁	～ 4.0mm	少	多	金雲母	良	硬	橙	2.5YR6/6	隆帯・押引	竹管？	阿玉台Ⅱ		
310	3	拡張	SK	175	1	2	深鉢	胴	～ 3.0mm	やや 少	ふつう		やや 良	やや 硬	黒褐	5YR3/1	隆帯・沈線	丸棒・篋状工具	勝坂Ⅱ		
311	3	拡張	SK	175	3	3	深鉢	胴上	～ 5.0mm	やや 少	ふつう	結晶片岩	やや 良	やや 硬	にぶい褐	7.5YR5/3	隆帯・沈線・縄文	丸棒・縄文RL横位	勝坂Ⅱ		
312	3	拡張	SK	176	2	1	深鉢	胴	～ 3.0mm	ふつう	やや 多		やや 良	やや 硬	黒褐	7.5YR2/2	沈線・捺糸	丸棒・捺糸L縦位	加曽利EⅠ	沈線間磨消	
313	3	拡張	SK	176	1	2	浅鉢？	胴上	～ 1.0mm	少	やや 多		やや 良	ふつう	浅黄橙	10YR8/3	隆帯・沈線	丸棒・篋状工具	加曽利EⅠ		
314	3	拡張	SK	177	1	1	深鉢	底	～ 2.0mm	ふつう	やや 多	チャート	やや 良	やや 硬	橙	5YR6/6	捺糸	捺糸L縦位	加曽利EⅠ		
315	3	拡張	SK	177	2	2	深鉢	胴	～ 3.0mm	ふつう	やや 多		やや 良	やや 硬	にぶい赤 褐	5YR5/4	沈線・縄文	丸棒・縄文LR横位	加曽利EⅠ	沈線間磨消	
316	3	拡張	SK	178	3	1	深鉢	口縁	～ 2.0mm	やや 多	やや 多		やや 良	やや 硬	にぶい赤 褐	5YR5/4	隆帯・沈線	丸棒	加曽利EⅠ		
317	3	拡張	SK	178	2	2	深鉢	口縁	～ 3.0mm	ふつう	やや 多		やや 良	ふつう	にぶい赤 褐	5YR5/4	隆帯・沈線・縄文	丸棒・縄文RL横位？	加曽利EⅠ	やや風化	
318	3	拡張	SK	178	5	3	深鉢	口縁	～ 2.0mm	ふつう	ふつう		やや 良	やや 硬	灰褐	7.5YR4/2	隆帯・沈線・縄文	丸棒・縄文RL横位	加曽利EⅠ		
319	3	拡張	SK	178	6	4	深鉢	口縁	～ 1.5mm	やや 少	やや 少		やや 良	やや 硬	にぶい橙	7.5YR6/4	—	—	不明		
320	3	拡張	SK	178	7	5	浅鉢？	胴上	～ 1.0mm	やや 少	ふつう		良	やや 硬	灰白	10YR8/1	隆帯・沈線・キザミ	丸棒・篋状工具	加曽利EⅠ		
321	3	拡張	SK	178	4	6	深鉢	胴	～ 1.0mm	少	やや 少		やや 良	やや 硬	にぶい褐	7.5YR5/4	沈線・刺突・縄文	丸棒・縄文LR横位	加曽利EⅠ		
322	3	拡張	SK	178	1	7	深鉢	胴	～ 5.0mm	少	やや 少		良	硬	黒褐	5YR2/1	隆帯・沈線	丸棒・篋状工具	加曽利EⅠ		
323	3	拡張	SK	179	4	1	深鉢？	把手	～ 3.0mm	やや 少	やや 少		良	硬	橙	7.5YR7/6	沈線	丸棒	中期中葉		
324	3	拡張	SK	179	2	2	深鉢	口縁	～ 2.0mm	ふつう	ふつう	チャート・ 結晶片岩	やや 良	やや 硬	橙	2.5YR6/6	隆帯・沈線	丸棒・篋状工具	加曽利EⅡ		
325	3	拡張	SK	179	1	3	深鉢	胴上	～ 3.0mm	やや 多	やや 多	チャート	やや 良	やや 硬	にぶい褐	7.5YR5/3	隆帯・沈線・縄文？	丸棒・？	加曽利EⅡ	やや風化	
326	3	拡張	SK	179	3	4	深鉢	胴	～ 3.0mm	ふつう	やや 多	結晶片岩	やや 良	やや 硬	灰褐	7.5YR4/2	捺糸	捺糸L縦位	加曽利EⅠ	やや風化	
327	3	拡張	SK	180	1	1	深鉢	胴	～ 2.0mm	やや 多	ふつう		やや 良	やや 硬	にぶい黄 橙	10YR6/3	—	—	中期		
328	3	拡張	SK	187	1	1	深鉢	口縁	～ 4.0mm	やや 少	やや 少	チャート	やや 良	やや 硬	にぶい褐	7.5YR5/4	沈線	丸棒	加曽利EⅠ	内面炭化物付着	
329	3	拡張	SK	187	2	2	深鉢	口縁	～ 5.0mm	やや 少	やや 少		良	硬	黒褐	10YR3/1	隆帯・捺糸	捺糸R縦位	加曽利EⅠ	捺糸施文後隆帯貼付	
330	3	拡張	SK	187	3	3	深鉢	口縁	～ 3.0mm	ふつう	やや 多		やや 良	やや 硬	にぶい褐	7.5YR5/3	捺糸	捺糸L縦位	加曽利EⅠ		
331	3	拡張	SK	188	12	1	深鉢	口縁	～ 2.0mm	ふつう	ふつう		やや 良	やや 硬	明赤褐	5YR5/6	隆帯・沈線・縄文	丸棒・縄文LR横位	加曽利EⅡ	沈線間磨消・内面炭化物付着	
332	3	拡張	SK	188	13	2	深鉢？	口縁	～ 3.0mm	少	やや 多	チャート	ふつう	やや 軟	灰白	2.5Y7/1	隆帯・沈線	丸棒	加曽利EⅠ	風化著しい	
333	3	拡張	SK	188	14	3	深鉢	口縁	～ 2.0mm	やや 少	やや 多		やや 良	ふつう	橙	5YR6/6	隆帯・沈線・縄文	丸棒・縄文RL縦位	加曽利EⅡ	縄文施文後隆帯貼付	
334	3	拡張	SK	188	17	4	深鉢	口縁	～ 5.0mm	ふつう	ふつう	結晶片岩	やや 良	やや 硬	黒褐	7.5YR3/2	隆帯・沈線・縄文	丸棒・縄文RL縦位	加曽利EⅠ	内面炭化物付着	
335	3	拡張	SK	188	6	5	深鉢	口縁	～ 2.0mm	やや 少	やや 多		やや 良	やや 硬	にぶい橙	7.5YR7/4	隆帯・沈線・縄文	丸棒・縄文LR縦位？	加曽利EⅡ		

No.	区	区備考	遺構	遺構	整理	図版	器種	部位	胎土砂 粒径	雲母	長石 石英	その他	焼成	硬度	色調	色調備考	文様要素	施文具	時期・型式	備考	図版 番号
336	3	拡張	SK	188	15	6	深鉢	口縁	～ 2.0mm	ふつう	やや 少		やや 良	やや 硬	褐	7.5YR3/2	隆帯・沈線・縄文	丸棒・縄文RL横位	加曽利EⅡ		
337	3	拡張	SK	188	11	7	深鉢	口縁	～ 1.0mm	やや 少	やや 少		良	硬	にぶい褐	7.5YR5/3	隆帯・縄文	縄文RL横位	加曽利EⅡ		
338	3	拡張	SK	188	16	8	浅鉢	口縁	～ 7.0mm	少	やや 多	結晶片岩	やや 良	やや 硬	にぶい黄 褐	10YR7/2	彩色	—	加曽利EⅠ	表面風化	
339	3	拡張	SK	188	3	9	深鉢	口縁	～ 5.0mm	やや 少	ふつう		やや 良	やや 硬	にぶい橙	7.5YR5/4	隆帯・沈線	丸棒	加曽利EⅠ		
340	3	拡張	SK	188	4	10	深鉢	口縁	～ 4.0mm	やや 少	ふつう	チャート	やや 良	やや 硬	にぶい橙	7.5YR6/4	隆帯・沈線・撚糸	丸棒・撚糸R横位	加曽利EⅠ		
341	3	拡張	SK	188	2	11	深鉢	口縁	～ 4.0mm	やや 少	ふつう	チャート	やや 良	やや 硬	にぶい赤 褐	5YR5/4	隆帯・沈線	丸棒	加曽利EⅠ		
342	3	拡張	SK	188	1	12	深鉢	胴上	～ 2.0mm	やや 少	やや 少		やや 良	やや 硬	にぶい橙	7.5YR7/4	沈線・刺突	丸棒	加曽利EⅠ		
343	3	拡張	SK	188	5	13	深鉢	胴上	～ 7.0mm	やや 少	ふつう	チャート	やや 良	やや 硬	明赤褐	5YR5/6	隆帯・沈線・縄文	丸棒・縄文LR縦位	加曽利EⅡ		
344	3	拡張	SK	188	9	14	浅鉢	胴上 半	～ 3.0mm	少	やや 多		やや 良	ふつう	浅黄橙	7.5YR8/3	沈線・キザミ	丸棒・篋状工具	加曽利EⅠ	SK165-7、169-8と同一個体・最大 径推定52cm	
345	3	拡張	SK	188	7	15	深鉢	胴	～ 2.0mm	ふつう	ふつう		やや 良	やや 硬	橙	5YR6/6	沈線・縄文	丸棒・縄文RL縦位	加曽利EⅡ		
346	3	拡張	SK	188	8	16	深鉢	胴	～ 3.0mm	ふつう	やや 多		やや 良	やや 硬	にぶい褐	7.5YR5/4	隆帯・縄文	縄文RL縦位	加曽利EⅡ		
347	3	拡張	SK	188	10	17	深鉢	底	～ 3.0mm	ふつう	ふつう		やや 良	やや 硬	明赤褐	5YR5/6	—	—	加曽利EⅠ		
348	3	拡張	SK	188	A	18	浅鉢	口縁	～ 4.0mm	やや 少	やや 少		やや 良	やや 硬	浅黄橙	7.5YR8/4	隆帯・沈線・刻み・縄 文	丸棒・縄文RL縦位	加曽利EⅠ（異系 統か）	縄文施文後隆帯貼付	
349	3	拡張	SK	188	B	19	浅鉢	胴下 ～底	～ 2.0mm	ふつう	ふつう		やや 良	やや 硬	橙	5YR6/8	沈線・縄文	丸棒・縄文LR縦位	加曽利EⅡ	内面スス	
350	3	拡張	SK	192	1	1	深鉢	口縁	～ 3.0mm	ふつう	ふつう		やや 良	やや 硬	にぶい褐	7.5YR5/4	隆帯・沈線・縄文	丸棒・縄文RL横位？	加曽利EⅡ		
351	3	拡張	SK	192	4	2	深鉢	胴上	～ 2.0mm	ふつう	やや 多		やや 良	やや 硬	灰黄褐	10YR4/2	隆帯・撚糸	撚糸R縦位	加曽利EⅠ	撚糸施文後隆帯貼付	
352	3	拡張	SK	192	2	3	深鉢	胴下	～ 2.0mm	ふつう	やや 少		やや 良	やや 硬	にぶい橙	10YR6/3	沈線・撚糸	竹管？・撚糸L縦位	加曽利EⅠ	沈線内磨消	
353	3	拡張	SK	192	3	4	深鉢	胴上	～ 2.0mm	ふつう	やや 少		やや 良	やや 硬	にぶい褐	7.5YR5/4	隆帯・沈線・縄文	丸棒・縄文LR縦位	加曽利EⅠ	縄文施文後隆帯貼付	
354	3	拡張	SK	193	1	1	深鉢	口縁	～ 3.0mm	少	やや 少		やや 良	やや 硬	にぶい黄 橙	10YR7/2	隆帯・磨消縄文	縄文LR横位？	加曽利EⅢ		
355	3	拡張	SK	194	3	1	深鉢	口縁	～ 2.0mm	ふつう	やや 少		やや 良	やや 硬	にぶい黄 橙	10YR6/4	隆帯・沈線	丸棒	加曽利EⅠ		
356	3	拡張	SK	194	1	2	深鉢	口縁	～ 3.0mm	ふつう	やや 多		やや 良	やや 硬	にぶい褐	7.5YR5/4	隆帯・沈線・縄文	丸棒・縄文LR斜位？	加曽利EⅠ	縄文施文後隆帯貼付	
357	3	拡張	SK	194	2	3	深鉢	口縁	～ 4.0mm	ふつう	やや 多		やや 良	やや 硬	にぶい黄 褐	10YR5/3	隆帯・沈線・縄文	丸棒・縄文RL縦位	加曽利EⅠ	縄文施文後隆帯貼付	
358	3	拡張	SK	194	A	4	深鉢	口縁	～ 4.0mm	ふつう	ふつう		やや 良	やや 硬	橙	5YR6/6	隆帯・沈線・刺突・撚 糸	丸棒・撚糸L+S114縦位	加曽利EⅠ		

## 6. 8. 16. 18 区土器一覽表



No.	区	遺構	遺構No.	図版 番号	器種	部位	胎土砂 粒径	黒雲母	長石・石英	その他	焼成	硬度	色調	色調備考	文様要素	施文具	時期 型式	備考
1	6	sk	214	1	深鉢	口縁	～ 2.0mm	ふつつ	やや少		ふつつ	ふつつ	表:にぶい黄橙 フレロ:黒褐	10YR6/3 7.5YR3/1	縄文	縄文RL横位	不明	
2	8	sk	183	1	深鉢	口縁～胴	～ 6.0mm	ふつつ	ふつつ	結晶片岩	やや良	やや硬	にぶい橙	5YR7/4	沈線・刺突・波状文	ササラ状工具・丸棒	加曽利EⅡ	
3	8	sk	183	2	深鉢	胴	～ 2.0mm	ふつつ	やや多		ふつつ	ふつつ	にぶい橙	7.5YR7/4	沈線・捺糸	捺糸R縦位・捺糸L縦位・丸棒	加曽利EⅡ	
4	8	sk	183	3	深鉢	口縁～胴	～ 1.0mm	やや多	ふつつ		ふつつ	ふつつ	橙	5YR7/8	沈線・刺突・捺糸	棒状工具・捺糸R縦位	加曽利EⅡ	
5	8	sk	183	4	深鉢	口縁～胴	～ 1.0mm	やや少	ふつつ		やや良	やや硬	にぶい橙	7.5YR7/4	沈線・刺突・捺糸	棒状工具・捺糸R縦位	加曽利EⅡ	
6	8	sk	183	5	浅鉢	口縁	～ 2.0mm	やや少	やや少		ふつつ	ふつつ	にぶい橙	7.5YR7/4	—	—	不明	表面に少し赤彩・内面黒色
7	18	sk	8	1	浅鉢	口縁	～ 3.0 mm	やや多	ふつつ		やや良	やや硬	表:明褐 フレロ:褐灰	7.5YR5/6 7.5YR5/1	沈線・隆帯	棒状工具	加曽利EⅡ	
8	18	sk	8	2	浅鉢	口縁	～ 3.0 mm	ふつつ	ふつつ		やや良	やや硬	表:にぶい赤褐 フレロ:褐灰	5YR5/4 7.5YR4/1	沈線・隆帯	棒状工具	加曽利EⅡ	
9	18	sk	8	3	浅鉢	口縁	～ 2.0mm	ふつつ	ふつつ		やや良	やや硬	にぶい橙	5YR6/4	沈線・隆帯	棒状工具	加曽利EⅡ	
10	18	sk	8	4	深鉢	胴上	～ 2.0mm	ふつつ	やや少		やや良	やや硬	明黄褐	10YR7/6	沈線・捺糸	棒状工具・捺糸R縦位	加曽利EⅡ	
11	18	sk	8	5	土製 円盤		～ 1.0mm	やや少	やや少		やや良	やや硬	橙 フレロ:褐灰	5YR6/6 5YR5/1	—	—	不明	
12	18	sk	8	6	深鉢	口縁	～ 2.0mm	やや少	やや少		やや良	やや硬	表:にぶい赤褐 フレロ:褐灰	2.5YR5/4 5YR5/1	沈線・隆帯	棒状工具	加曽利EⅡ	
13	18	sk	16	1	深鉢	胴～ 胴 上	～ 4.0mm	少	多		良	やや硬	明赤褐	2.5YR5/6	沈線・隆帯・縄文	丸棒・縄文LR横位	加曽利EⅡ	
14	18	sk	16	2	深鉢	胴上	～ 3.0mm	やや多	ふつつ		ふつつ	ふつつ	明赤褐	5YR5/6	沈線・縄文	丸棒・縄文LR横位	加曽利EⅡ	
15	18	sk	39	1	深鉢	胴上	～ 4.0mm	少	多		やや良	やや硬	明赤褐	5YR5/6	沈線・隆帯・捺糸	丸棒・捺糸R縦位	加曽利EⅡ	

### 3. 自然科学分析調査報告書

# 自然科学分析調査報告書

－高崎市、高崎情報団地遺跡－

株式会社 古環境研究所

## I. 高崎情報団地遺跡の土層について

高崎情報団地遺跡 2 区の発掘調査では縄文時代の遺構が検出された。遺構の性格に関する分析に先だって、地質調査を行い、遺跡の基本土層断面における土層の層序および遺構の覆土についての記載を行うことにした。調査分析の対象となった地点は、西壁、SK36、配石土壇（SK30）、集石（SK28）の 4 地点である。

### （１）西壁

この地点では、本遺跡の代表的な土層の断面を観察することができた。ここでは、下位より垂円礫を含む白色泥流堆積物（層厚 10cm 以上、礫の最大径 89mm）、黄褐色土（層厚 25cm）、黄褐色土のブロックを多く含む暗灰色土（層厚 15cm）、縄文時代中期の土器を含む黒褐色土（層厚 17cm）、黒褐色土（層厚 25cm）、褐色砂質土（層厚 26cm）、灰褐色砂質土（層厚 17cm）の連続が認められる（図 1）。

### （２）SK36

加曾利 E 式土器の埋甕の内部には、下部の暗灰褐色土（層厚 8 cm）と上部の黒灰色土（層厚 7 cm）が認められる。

### （３）配石土壇（SK30）

黒灰色土中に掘り込まれたこの土壇の覆土は、下部の暗灰褐色土（層厚 5 cm）と上部の黒灰色土（層厚 8 cm）から構成されている。

### （４）集石（SK28）

暗褐色土に掘り込まれたこの土壇の覆土は、暗褐色土（層厚 6 cm）からなる。

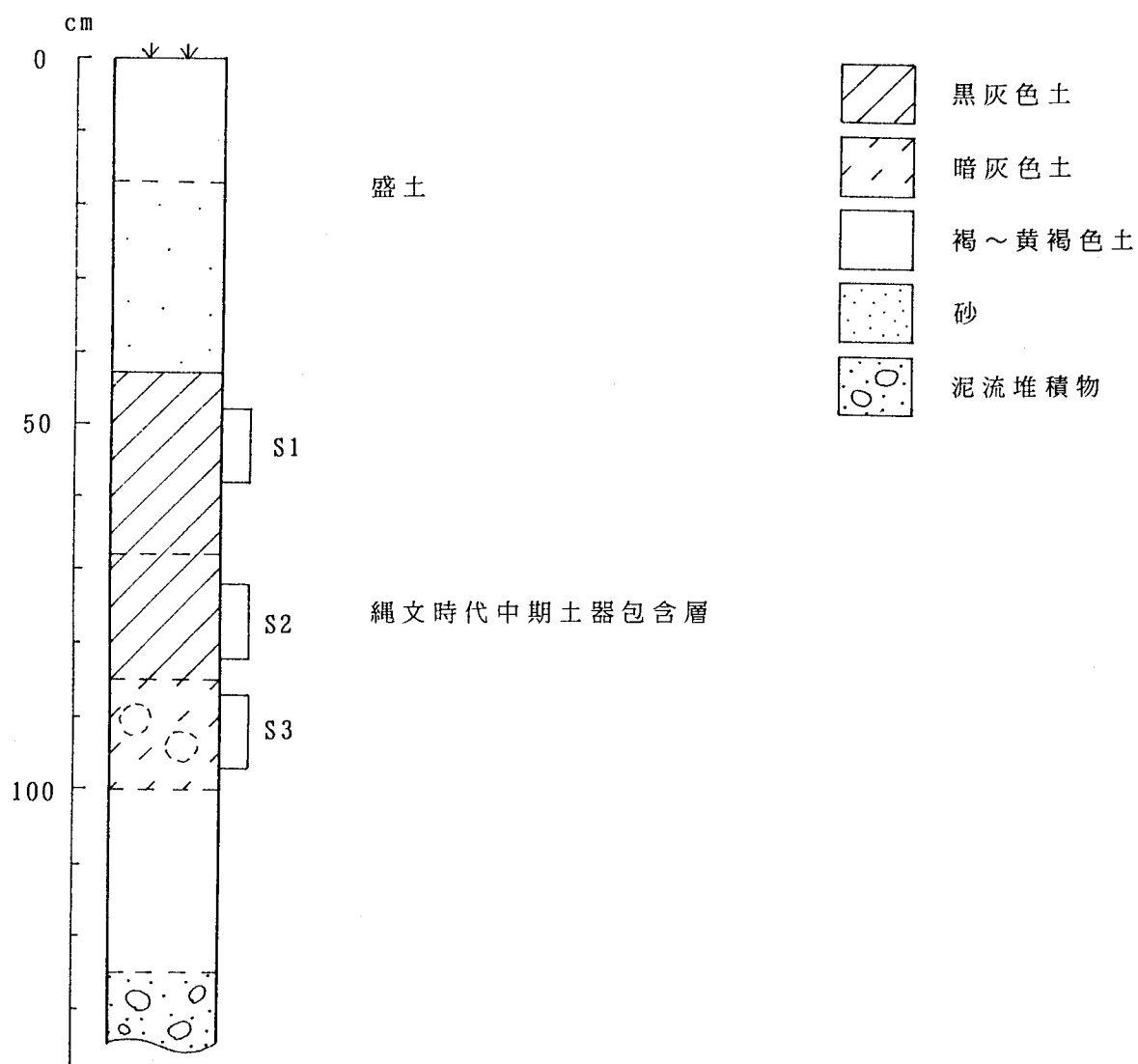


図1 2区西壁の土層柱状図

S 数字は土壤理化学分析の試料番号

## II. 高崎情報団地遺跡におけるリン・カルシウム分析

### 1. 試料

試料は、西壁（基本土層）、埋壅（SK36）、配石土壙（SK30）、集石（SK28）から採取された10点である。試料の詳細を分析結果の図表に示す。

### 2. 分析方法

蛍光X線分析装置（日本電子，JSX3201）を用いて、ファンダメンタルパラメータ法（PF法）による定量分析を行った。

### 3. 分析結果

リン酸（ $P_2O_5$ ）とカルシウム（CaO）の定量分析結果（wt%）を、次表および図1に示す。

地点・遺構	試料	$P_2O_5$	CaO
西壁（基本土層）	No. 1, 黒褐色土	0.32	2.75
	No. 2, 黒褐色土(縄文中期)	0.51	2.57
	No. 3, 暗灰色土	0.28	2.20
埋壅（SK36）	No. 1, 埋壅底部	0.50	2.99
配石土壙（SK30）	No. 1, 埋土上部	0.77	2.71
	No. 2, 埋土下部	0.52	2.38
	No. 3, 遺構外(比較試料)	0.59	2.28
集石（SK28）	No. 1, 焼石横	0.54	2.58
	No. 2, 焼石下	0.44	2.56
	No. 3, 遺構外(比較試料)	0.74	2.76

### 4. 考察

土壌中のリン酸（ $P_2O_5$ ）の起源は、母材および表土からの有機物があり、畑地や水田ではこれに施肥によるリン酸、遺跡では植物遺体や動物遺体によるリン酸が加わる。土壌中における全リン酸の含量は、通常0.1～0.5%であり、畑地や水

田でリン酸肥料が多投された場合でも1.0%程度である。

分析の結果、縄文時代中期とされる遺構内の土壌のリン酸含量は0.44～0.77%であり、比較試料（遺構外の土壌）の0.51～0.74%を大きく上回るものは認められなかった。カルシウム（CaO）含量も、遺構内の土壌では2.38～2.99%であり、比較試料の2.28～2.76%を大きく上回るものは認められなかった。

以上のように、今回のリン・カルシウム分析では、縄文時代中期とされる遺構内に人体などの生物遺体が存在したことを確認するには至らなかった。

#### 参考文献

竹迫紘（1993）リン分析法．第四紀試料分析法．日本第四紀学会編，p.38-45．

土壌の化学（1980）．学会出版センター

土壌の辞典（1993）．朝倉書店



図 1 高崎情報団地遺跡におけるリン・カルシウム分析結果



# 自然科学分析調査報告書

高崎情報団地Ⅱ遺跡

(3区拡張部)

株式会社 古環境研究所

高崎市、高崎情報団地Ⅱ遺跡3区拡張部における自然科学分析

株式会社 古環境研究所

I. 高崎情報団地Ⅱ遺跡3区拡張部土壌における放射性炭素年代測定

1. 試料と方法

試料	種類	前処理・調整	測定法
SK169S	腐植質土壌	酸洗浄・低濃度処理・ベンゼン合成	$\beta$ 線法
SK169	炭	酸－アルカリ－酸洗浄・石墨調整	AMS法
SK170	炭	酸－アルカリ－酸洗浄・石墨調整	AMS法
SK174	炭	酸－アルカリ－酸洗浄・石墨調整	AMS法

2. 測定結果

試料	$^{14}\text{C}$ 年代 (年BP)	$\delta^{13}\text{C}$ (‰)	補正 $^{14}\text{C}$ 年代 (年BP)	暦年代	測定No. beta-
SK169S	4590 $\pm$ 70	-25.7	4570 $\pm$ 70	交点：BC3345 2 $\sigma$ ：BC3510～3410, BC3395～3045 1 $\sigma$ ：BC3365～3300, BC3235～3115	116651
SK169	4130 $\pm$ 110	-27.4	4090 $\pm$ 110	交点：BC2595 2 $\sigma$ ：BC2905～2325 1 $\sigma$ ：BC2875～2790, BC2780～2475	116652
SK170	4170 $\pm$ 70	-26.6	4150 $\pm$ 70	交点：BC2860,2815, 2680 2 $\sigma$ ：BC2900～2490 1 $\sigma$ ：BC2880～2590	116653
SK174	12350 $\pm$ 110	-25.4	12340 $\pm$ 110	交点：- 2 $\sigma$ ：- 1 $\sigma$ ：-	116654

#### 1) $^{14}\text{C}$ 年代測定値

試料の  $^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$  比から、単純に現在（1950年AD）から何年前（BP）かを計算した値。 $^{14}\text{C}$ の半減期は5,568年を用いた。

#### 2) $\delta^{13}\text{C}$ 測定値

試料の測定  $^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$  比を補正するための炭素安定同位体比（ $^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$ ）。この値は標準物質（PDB）の同位体比からの千分偏差（‰）で表す。

#### 3) 補正 $^{14}\text{C}$ 年代値

$\delta^{13}\text{C}$ 測定値から試料の炭素の同位体分別を知り、 $^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$ の測定値に補正値を加えた上で算出した年代。

#### 4) 暦年代

過去の宇宙線強度の変動による大気中  $^{14}\text{C}$ 濃度の変動を補正することにより、暦年代（西暦）を算出した。補正には年代既知の樹木年輪の  $^{14}\text{C}$ の詳細な測定値を使用した。この補正は10,000年BPより古い試料には適用できない。

暦年代の交点とは、補正  $^{14}\text{C}$ 年代値と暦年代補正曲線との交点の暦年代値を意味する。 $1\sigma$ （確率68％）・ $2\sigma$ （確率95％）は、補正  $^{14}\text{C}$ 年代値の偏差の幅を補正曲線に投影した暦年代の幅を示す。したがって、複数の交点が表記される場合や、複数の  $1\sigma \cdot 2\sigma$  値が表記される場合もある。

### 3. 測定結果に関するコメント

今回、放射性炭素年代測定を行った試料のうち、SK174についてはとくに古い年代値（ $12340 \pm 110 \text{ y.BP}$ , beta-116654）が得られた。この年代値については、本遺跡において厚く堆積している井野川泥流堆積物の層位から推定される年代と矛盾しない。井野川泥流堆積物（早田，1990）は、約1.3～1.4万年前に浅間火山から噴出した浅間板鼻黄色軽石（As-YP，新井，1962，町田・新井，1992）を挟む泥炭層の上位にある（早田，未公表資料）。実際、本遺跡で認められる井野川泥流堆積物中には、多くの材化石が含まれている。これらのことから、SK174の測定対象となった材試料については、下位の泥流堆積物中の材が土壌内に露出していたものか、あるいは泥流堆積物中の材が土壌構築時に何らかの目的で利用されたものの可能性が考えられる。

文献

新井房夫（1962）関東盆地北西部の地質．群馬大学紀要自然科学編，10，p.1-79．

町田 洋・新井房夫（1992）火山灰アトラス．東京大学出版会，276p．

早田 勉（1990）群馬県 of 自然と風土．群馬県史通史編原始古代，1，p.37-129．

## II. 高崎情報団地 II 遺跡出土炭化材の樹種同定

### 1. 試料

試料は、3区拡張部のSK169（縄文時代）から出土した炭化材（No.13）である。

### 2. 方法

試料を割折して新鮮な基本的三断面（木材の横断面、放射断面、接線断面）を作製し、落射顕微鏡によって75～750倍で観察した。樹種同定は解剖学的形質および現生標本との対比によって行った。

### 3. 結果

分析の結果、ブナ科のコナラ属クヌギ節（*Quercus* sect. *Aegilops*）と同定された。以下に、同定根拠となった特徴および各断面の顕微鏡写真を示す。

横断面：年輪のはじめに大型の道管が、1～数列配列する環孔材である。晩材部では厚壁で丸い小道管が、単独でおおよそ放射方向に配列する。早材から晩材にかけて道管の径は急激に減少する。

放射断面：道管の穿孔は単穿孔で、放射組織は平伏細胞からなる。

接線断面：放射組織は同性放射組織型で、単列のものと大型の広放射組織からなる複合放射組織である。

### 4. 所見

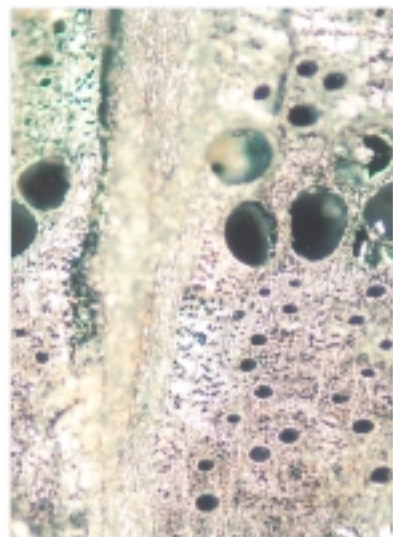
コナラ属クヌギ節には、クヌギ、アベマキなどがあり、本州、四国、九州に分布する。落葉の高木で、高さ15m、径60cmに達する。材は強靱で弾力に富み、器具、農具などに用いられる。

### 文献

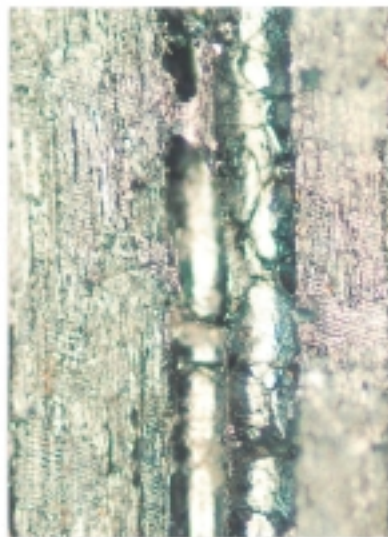
佐伯浩・原田浩(1985)針葉樹材の細胞．木材の構造，文永堂出版，p.20-48．

佐伯浩・原田浩(1985)広葉樹材の細胞．木材の構造，文永堂出版，p.49-100．

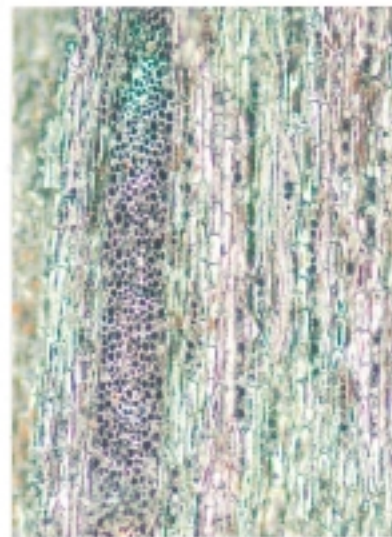
高崎情報団地Ⅱ遺跡出土炭化材の顕微鏡写真



横断面 ————— :0.4mm  
No.13 コナラ属クヌギ節



放射断面 ————— :0.4mm



接線断面 ————— :0.2mm

# 自然科学分析調査報告書

高崎市 高崎情報団地Ⅱ遺跡

株式会社 古環境研究所

## I. 高崎情報団地Ⅱ遺跡の土層とテフラ

### 1. はじめに

高崎市とその周辺に分布する後期更新世以降に形成された火山灰土や水成堆積物中には、浅間火山や榛名火山をはじめとする北関東地方とその周辺に分布する火山のほか、九州地方の始良カルデラや鬼界カルデラなど遠方の火山に由来するテフラ（火山砕屑物，いわゆる火山灰）が多く認められる。テフラの中には、噴出年代が明らかにされている示標テフラがあり、これらとの層位関係を遺跡で求めることで、土層の形成年代のほか、遺構の構築年代や遺物包含層の堆積年代を知ることができるようになっている。

そこで、形成年代の不明な土壌が認められた高崎情報団地Ⅱ遺跡において、地質調査とテフラ検出分析さらに屈折率測定を合わせて行って、土層の層序を記載するとともに、示標テフラの層位を把握して、遺構の構築年代に関する資料を収集することになった。調査の対象となった土壌は、SK87、SK96、SK97の3遺構である。

### 2. 土層の層序

#### (1) SK87 (SP1)

浅間火山の噴火に由来する可能性の高い井野川泥流堆積物（早田，1990，未公表資料）の上位に構築されたSK87の覆土は、下位より暗灰色砂層（層厚8cm）、黒灰色粘質土（層厚18cm）、暗灰色砂質土（層厚5cm）、黒灰色粘質土（層厚16cm）、亜円～亜角礫混じり灰色砂層（層厚13cm，礫の最大径68mm）、亜円～亜角礫混じり黒色砂質土（層厚14cm，礫の最大径43mm）、灰色砂層（層厚4cm）、暗褐色土（層厚90cm）、黒灰褐色砂質土（層厚15cm）、暗褐色砂質土（層厚11cm）、盛土（層厚33cm）からなる（図1）。これらのうち、亜円～亜角礫混じり灰色砂層からは、縄文時代中期中葉～後葉の土器が検出されている。

#### (2) SK96

SK96の覆土は、下位より灰色砂層（層厚3cm）、黒色土（層厚1cm）、下位の



灰色泥流堆積物ブロック層（層厚7cm）、黒灰色粘質土（層厚15cm）、白色軽石混じり黒灰色粘質土（層厚13cm）、亜円～亜角礫混じり灰色砂層（層厚11cm）、砂混じり黒灰色土（層厚12cm）からなる（図2）。これらのうち、亜円～亜角礫混じり灰色砂層からは、縄文時代中期中葉～後葉の土器が検出されている。

### （3）SK97

SK97の覆土は、下位より灰色砂層（層厚0.5cm）、灰色砂と黒灰色土の互層（層厚13cm）、黒灰色粘質土（層厚21cm）、灰白色軽石黒灰色土（層厚9cm、軽石の最大径2mm）、亜円～亜角礫混じり灰色砂層（層厚1cm）からなる（図3）。これらのうち、亜円～亜角礫混じり灰色砂層からは、縄文時代中期中葉～後葉の土器が検出されている。

## 3. テフラ検出分析

### （1）分析試料と分析方法

遺構の年代に関する資料を収集するために、とくに土層の状況の良いSK87の覆土を対象にテフラ検出分析を行うことになった。分析試料は、基本的に5cmごとに採取された土壌試料13点である。テフラ検出分析の手順は次の通りである。

- 1）試料10gを秤量。
- 2）超音波洗浄装置により泥分を除去。
- 3）80℃で恒温乾燥。
- 4）実体顕微鏡下でテフラ粒子の特徴を観察。

### （2）分析結果

テフラ検出分析の結果を表1に示す。試料番号37および25には、よく発泡した白色軽石（最大径2.1mm）がごく少量含まれている。班晶には斜方輝石や単斜輝石が認められる。この軽石は、その岩相から、井野川泥流堆積物に由来する浅間火山起源の軽石と考えられる。また、試料番号11にはスポンジ状に比較的良好に発泡した灰白色軽石（最大径1.4mm）がごく少量認められた。

試料番号21には、スポンジ状に比較的良好に発泡した灰白色軽石（最大径3.7mm）が多く検出された。班晶鉱物としては、斜方輝石や単斜輝石が認められた。この軽石は、その特徴から4世紀中葉に浅間火山から噴出した浅間C軽石（As-C，新井，1979）に由来すると考えられる。また、試料番号15には、As-Cに由来する軽

石のほかに、あまり発泡のよくない白色軽石（最大径2.3mm）が少量検出された。班晶鉱物の中には角閃石が認められる。この白色軽石は、その特徴から6世紀初頭に榛名火山から噴出した榛名二ツ岳渋谷テフラ層（Hr-FA，新井，1979，坂口，1986，早田，1989，町田・新井，1992）に由来すると考えられる。Hr-FA起源の軽石は、試料番号1にもごく少量認められる。

SK87では、試料番号1に比較的よく発泡した淡褐色軽石（最大径3.4mm）が多く含まれている。班晶鉱物としては、斜方輝石や単斜輝石が認められた。この軽石は、その特徴から1108（天仁元）年に浅間火山から噴出した浅間Bテフラ（As-B，新井，1979）に由来すると考えられる。

#### 4. 屈折率測定

##### （1）測定試料と測定方法

起源の不明な灰白色軽石が検出されたSK87の試料番号31について、位相差法（新井，1962）により屈折率の測定を行った。

##### （2）測定結果

屈折率測定の結果を表2に示す。試料番号31には、ごくわずかな軽石のほかに、重鉱物として斜方輝石や単斜輝石が認められる。含まれる火山ガラス（n）と斜方輝石（ $\gamma$ ）の屈折率は、順に1.502±と1.705-1.709である。これらの特徴から、試料番号11には浅間火山起源のテフラが多く含まれていると考えられる。ごくわずかに含まれている火山ガラスについては、屈折率から井野川泥流堆積物中の浅間火山軽石流期（荒牧，1968）のテフラに由来する可能性が考えられるが、斜方輝石の屈折率については、縄文時代に浅間火山から噴出した浅間藤岡テフラ（As-Fo，約8,200年前，早田，1995）、浅間六合軽石（As-Kn，約5,400年前，早田，1990，1996）や浅間D軽石（As-D，約4,500年前，新井，1979，早田，1996）のそれと非常によく似ている。したがって、試料番号31付近に、いずれかの降灰層準のある可能性が考えられる。

なお、縄文時代に浅間火山より噴出したテフラについては、軽石流期に属する浅間総社軽石（As-Sj，約1.1万年前，早田，1990，1996）を除いて、非常によく似た傾向にある。今後これらのテフラについてさらに研究を行い、同定上の特徴を把握していく必要はもちろんであるが、一方で放射性炭素（ $^{14}\text{C}$ ）年代測定などを合わせて行って、年代資料を収集しておくことが望まれる。

## 5. 小結

高崎情報団地Ⅱ遺跡で検出された土壌覆土を対象に、地質調査とテフラ検出分析さらに屈折率測定を行った。その結果、下位より縄文時代の浅間火山起源のテフラ、浅間C軽石(As-C, 4世紀中葉)、榛名二ツ岳渋川テフラ(Hr-FA, 6世紀初頭)、浅間Bテフラ(As-B, 1108年)に由来するテフラ粒子を検出することができた。

## 文献

- 新井房夫(1962) 関東盆地北西部地域の第四紀編年. 群馬大学紀要自然科学編, 10, p.1-79.
- 新井房夫(1972) 斜方輝石・角閃石の屈折率によるテフラの同定ーテフロクロロジーの基礎的研究. 第四紀研究, 11, p.254-269.
- 新井房夫(1979) 関東地方北西部の縄文時代以降の示標テフラ層. 考古学ジャーナル, no.53, p.41-52.
- 荒牧重雄(1968) 浅間火山の地質. 地団研専報, no.14, p.1-45.
- 町田 洋・新井房夫(1992) 火山灰アトラス. 東京大学出版会, 276p.
- 坂口 一(1986) 榛名二ツ岳起源FA・FP層下の土師器と須恵器. 群馬県教育委員会編「荒砥北原遺跡・今井神社古墳群・荒砥青柳遺跡」, p.103-119.
- 早田 勉(1989) 6世紀における榛名火山の2回の噴火とその災害. 第四紀研究, 27, p.297-312.
- 早田 勉(1990) 群馬県の自然と風土. 群馬県史通史編, 1, p.37-129.
- 早田 勉(1995) テフラからさぐる浅間火山の活動史. 御代田町誌自然編, p.22-43.
- 早田 勉(1996) 関東地方～東北地方南部の示標テフラの特徴ーとくに御岳第1テフラより上位のテフラについてー. 名古屋大学加速器質量分析計業績報告書, VII, p.256-267.

表 1 高崎情報団地 II 遺跡のテフラ検出分析結果

遺構	試料	軽石の量	軽石の色調	軽石の最大径
SK87	1	+++	淡褐>白	3.4, 2.2
	3	+	淡褐	2.2
	7	+	灰白	3.1
	11	+	灰白	2.6
	15	++	灰白>白	3.7, 2.3
	19	++	灰白	4.4
	21	+++	灰白	3.7
	23	-	-	-
	25	+	白	1.1
	29	-	-	-
	31	+	灰白	1.4
	33	-	-	-
	37	+	白	2.1

++++ : とくに多い, +++ : 多い, ++ : 中程度,  
+ : 少ない, - : 認められない. 最大径の単位は, mm.

表 2 高崎情報団地 II 遺跡における屈折率測定結果

地点	試料	鉱物	火山ガラス (n)	斜方輝石 ( $\gamma$ )
SK87	11	opx>cpx	1.502±	1.705-1.709

opx : 斜方輝石, cpx : 単斜輝石, ho : 角閃石. 屈折率の測定は,  
新井 (1972) による

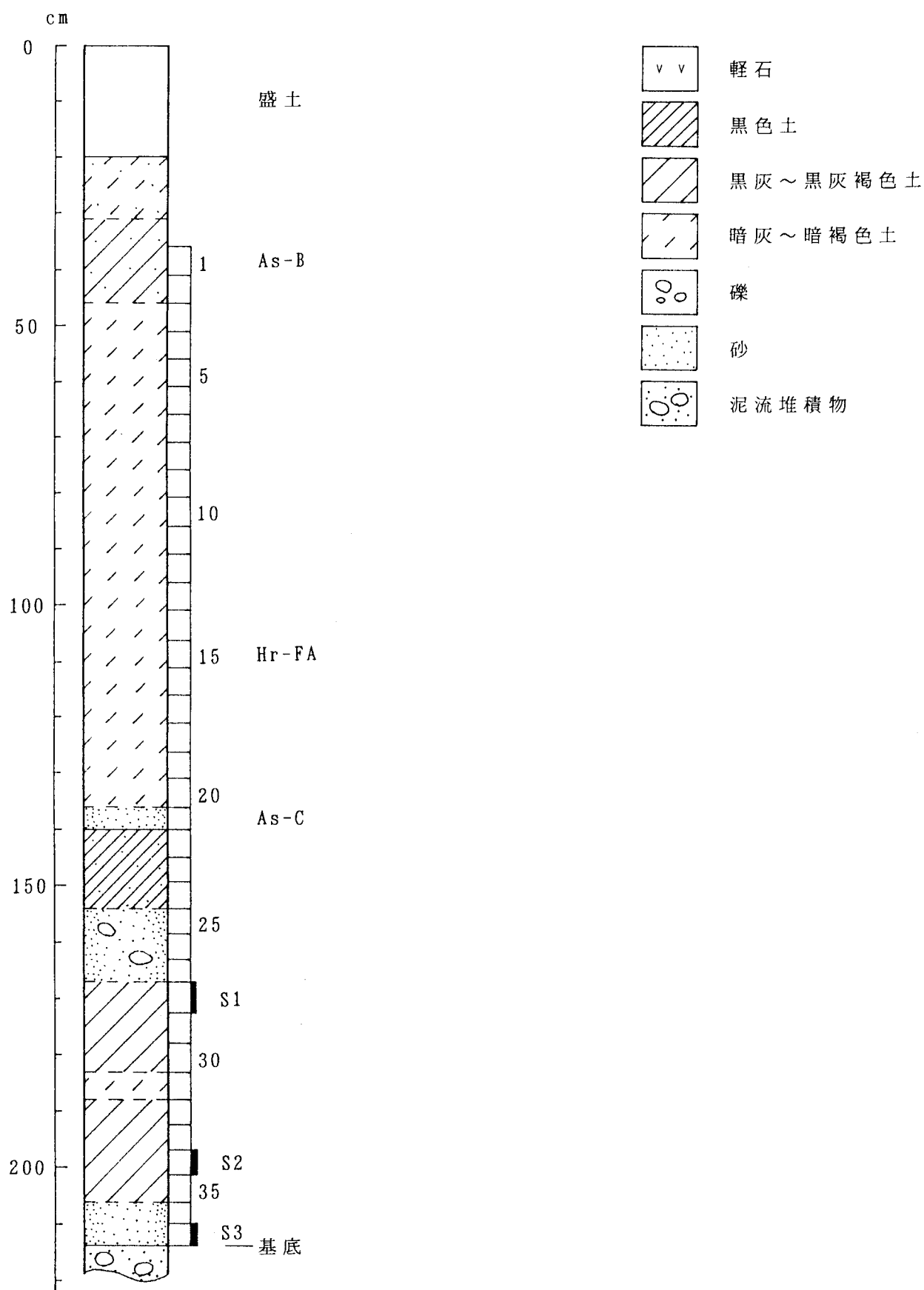


図1 SK87SP1の土層柱状図

数字はテフラ分析の試料番号.

S数字は土壌理化学分析の試料番号.

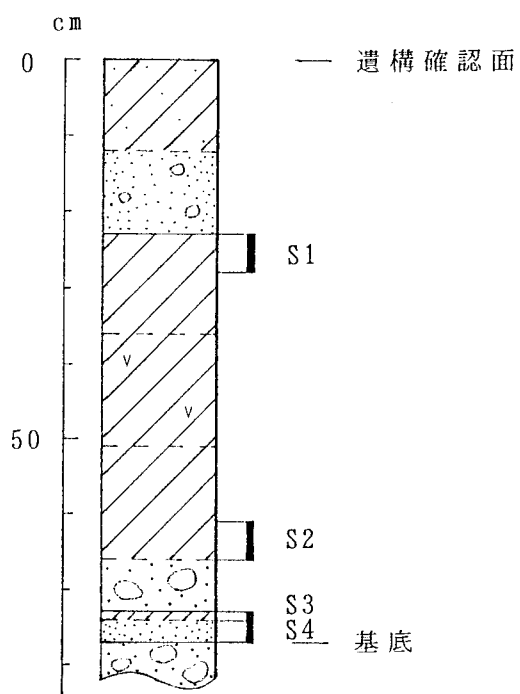


図 2 SK96の土層柱状図

S数字は土壌理化学分析の試料番号.

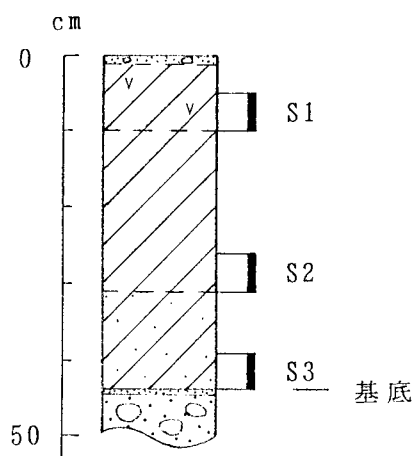


図 3 SK97の土層柱状図

S数字は土壌理化学分析の試料番号.

## II. 高崎情報団地II遺跡におけるリン・カルシウム分析

### 1. 試料

試料は、縄文時代中期とされるSK87、SK96、SK97の覆土から採取された計10点である。試料採取箇所を分析結果の柱状図に示す。

### 2. 分析方法

蛍光X線分析装置（日本電子，JSX3201）を用いて、ファンダメンタルパラメータ法（PF法）による定量分析を行った。

### 3. 分析結果

リン酸（ $P_2O_5$ ）とカルシウム（CaO）の定量分析結果（wt%）を、次表および図1～3に示す。

地点・遺構	試料	$P_2O_5$	CaO
SK87土壙	No. 1, 黒灰色粘質土	0.30	2.84
	No. 2, 黒灰色粘質土	0.39	3.34
	No. 3, 暗灰色砂層	0.35	4.04
SK96土壙	No. 1, 黒灰色粘質土	0.27	3.02
	No. 2, 黒灰色粘質土	0.56	3.51
	No. 3, 黒色土	0.33	3.35
	No. 4, 灰色砂層	0.38	4.12
SK97土壙	No. 1, 灰色砂層	0.30	3.36
	No. 2, 黒灰色粘質土	0.72	3.90
	No. 3, 黒灰色土	0.46	3.76

### 4. 考察

土壌中のリン酸（ $P_2O_5$ ）の起源は、母材および表土からの有機物があり、畑地や水田ではこれに施肥によるリン酸、遺跡では植物遺体や動物遺体によるリン酸が加わる。土壌中における全リン酸の含量は、通常0.1～0.5%であり、畑地や水田でリン酸肥料が多投された場合でも1.0%程度である。

分析の結果、SK97土壌の覆土下部（No. 2）では、リン酸含量が0.72%と比較的高い値であり、覆土上部（No. 1）の2倍以上の値となっている。また、SK96土壌の覆土下部（No. 2）でも、リン酸含量が0.56%と比較的高い値であり、覆土上部（No. 1）の2倍以上の値となっている。さらに、カルシウム（CaO）についても、各土壌の覆土下部の方が覆土上部よりも含量が高くなる傾向が認められた。以上の結果から、縄文時代中期とされる各土壌内に、リン酸（ $P_2O_5$ ）やカルシウム（CaO）を多く含む人体などの生物遺体が存在していた可能性が考えられる。

なお、今回の調査では試料の採取間隔が10～20cm以上と広いため、リン酸やカルシウム含量のピークを明瞭にとらえることはできなかった。土壌に添加されたリンは、生活面や遺体安置面にごく薄く層状に堆積することから、試料は垂直方向に5 cm以下の厚さで採取するのが望ましい（竹迫，1993）。

#### 参考文献

- 竹迫紘（1993）リン分析法．第四紀試料分析法．日本第四紀学会編，p.38-45．  
土壌の化学（1980）．学会出版センター  
土壌の辞典（1993）．朝倉書店



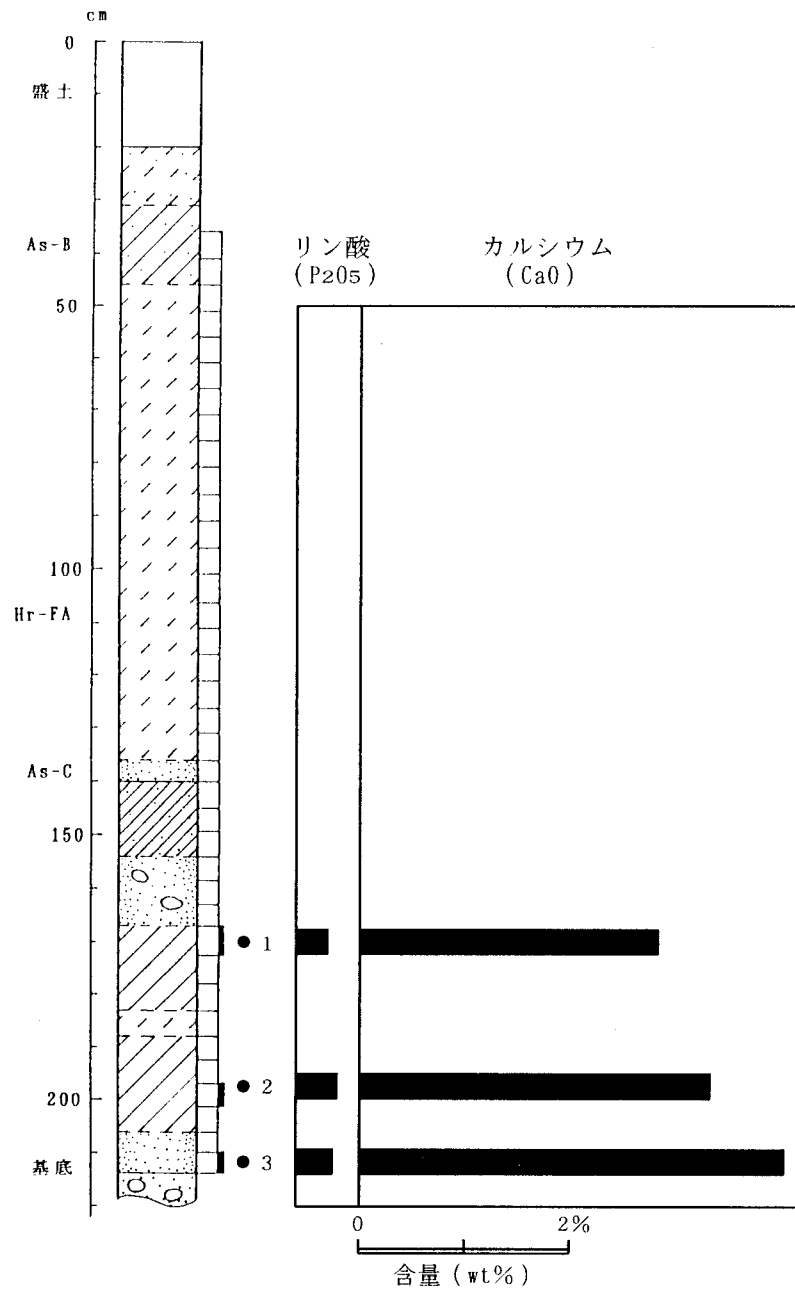


図1 高崎情報団地Ⅱ遺跡、SK87土壌におけるリン・カルシウム分析結果

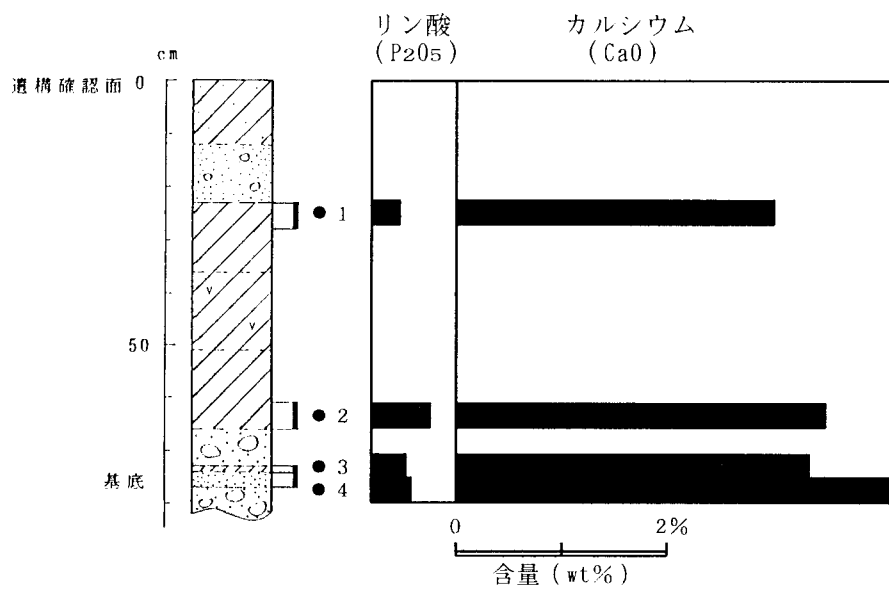


図2 高崎情報団地Ⅱ遺跡、SK96土壌におけるリン・カルシウム分析結果

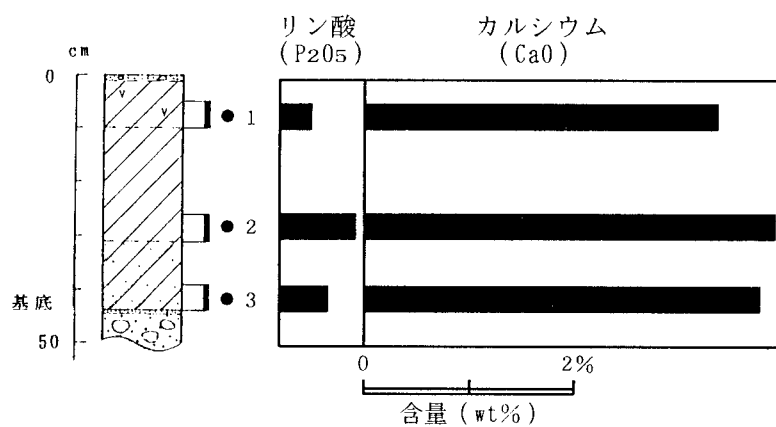


図3 高崎情報団地Ⅱ遺跡、SK97土壌におけるリン・カルシウム分析結果

高崎市教育委員会

高崎情報団地Ⅱ遺跡出土骨の自然科学分析報告

パリノ・サーヴェイ株式会社

年 月 日

高崎情報団地Ⅱ遺跡出土骨の自然科学分析

<目 次>

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 1

1. 試料・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 1

2. 動物遺体同定・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 1

    (1) 目的・試料・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 1

    (2) 方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 1

    (3) 結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 1

3. 出土骨の脂質分析・・・・・・・・・・・・ p. 1

    (1) 目的・試料・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 1

    (2) 方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 1

    (3) 結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 1

4. 考察・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 1

<図一覧>

図1 脂肪酸・ステロール組成

高崎情報団地Ⅱ遺跡は、前橋台地上に立地する縄文時代中期の集落跡である。今回は、墓とみられる土坑から出土した動物遺体の種類について、形態学的な分類同定と脂肪酸分析による検討を実施した。なお、動物遺体の種類の同定については早稲田大学の金子浩昌先生、脂肪酸分析については北陸学院短期大学の坂井良輔先生にお願いした。

## 1. 試料

試料は、SK169から出土した骨片である。

## 2. 動物遺体同定

### (1) 方法

試料を肉眼および双眼実体顕微鏡下で観察し、その形態的特徴から種類を同定する。

### (2) 結果

同定結果は、獣骨片であり、種類・部位は不明である。しかし、骨の大きさに比べ、厚さが薄いので人骨とは考えにくいと思われる。

## 3. 出土骨の脂質分析

### (1) 方法

脂肪酸分析定法（坂井ほか，1996）に基づき、1）脂質の抽出、2）クロマトグラフィーでの測定、3）測定データの解析を行う。

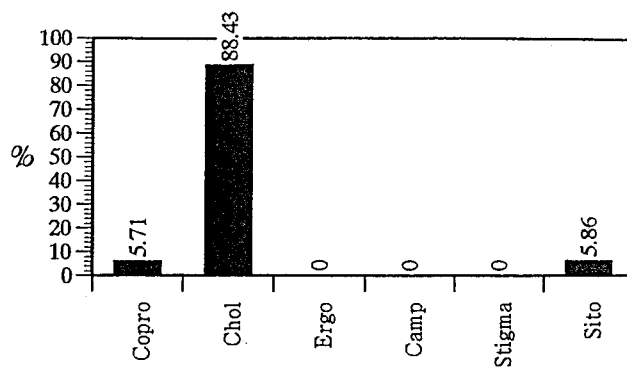
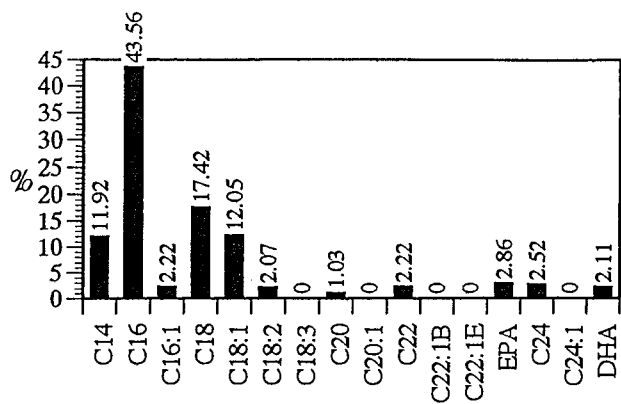
### (2) 結果

測定結果は、脂肪酸組成パターンからは、人骨であるという限定は難しい（図1）。しかし、ステロールはコレステロールが主体となっており、コプロスタノール・シトステロールが含まれる。試料は人を含む動物の骨であると考えられるが、人骨であるという確証は得られなかった。

## 4. 考察

縄文時代中期の土坑から出土した骨片は、上記分析の結果、人骨に由来するかは判断ができなかった。骨片の形態からは、人骨でない可能性もあることから、発掘調査成果と合わせた評価が必要である。

図1 脂肪酸・ステロール組成



## 4. 赤彩土器修復

## 第2節 彩色土器の保存と復元

(有)武蔵野文化財修復研究所 石原 道知

はじめに

高崎情報団地 遺跡では、赤と黒の彩色された縄文時代の土器片が、多数発掘された。筆者は、これら土器の洗浄・保存処理および修復・復元作業を高崎市教育委員会より依頼され、実際に行った。これらの土器片の彩色は、非常に剥離しやすく、付着した土を水洗いすると、彩色も同時に洗い落とされてしまうような状態であった。

そこで、できるだけ彩色の剥落を抑え泥の除去をし、あわせて彩色塗膜の保存処理を施すことにした。3区154号、187号土壌出土の土器片については、接合すると、現存率が約9割あり非常に優良な資料であることから、接合し欠損部は復元した。ここでは、これらクリーニングと保存、復元について記すことにする。

### クリーニング

彩色の状態は、塗膜の残っている比較的しっかりした物から、すでに粉状になっていて、手で触ると指に赤い粉が着いてくるような脆いものまで、さまざまであった。いずれもクリーニングの為に水洗いをする、かなりの彩色が泥といっしょに流れ落ちてしまうと判断された。この工程での剥落を最低限抑えたい、そこで、次のようなクリーニング法を実施した。

土器片を泥やその他の汚れが付着した出土時のまま保存処理用のアクリル系合成樹脂で含浸する。合成樹脂で、ある程度土器片が固まり、丈夫になったところで泥や汚れの除去をする。除去方法はできるだけ泥や汚れのみに溶剤を塗布し軟らかくなったところで、少しずつ除去した。



泥の付着状況 1



泥の付着状況 2

表1 クリーニング使用薬剤

品 名	内 容
パラロイドB-72	アクリル系合成樹脂
キシレン	溶剤沸点144
アセトン	溶剤洗浄、溶解、希釈に使用 沸点56.1～56.5



塗膜が剥離し始めている箇所



### 3区154号、187号土壌出土の土器復元について

これらの土器片は現存率が90%以上で、上記のクリーニング要領で、泥や汚れ等を洗浄したのちに、接合、欠損部復元、復元部の彩色などの作業を行い完形に近く復元した。

#### 復元工程

##### 1. 接合

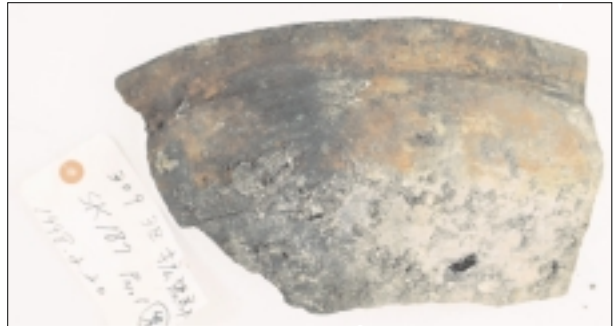
接合は不整合「ずれ」のないように努力し、将来の再修理を考慮し、溶剤で容易に溶解可能なセルロース系接着剤を使用した。

接合時の「ずれ」が生じる原因としては 土器自体の歪みから生じる不整合「ずれ」すなわち、土器製作時の焼成中に生じる歪みや埋蔵時に土圧で生じた歪み。 接着剤に十分な強度が表れるまでに動いてしまい、生じる「ずれ」などが考えられる。

上記の「ずれ」の矯正と固定方法は、クランプ・包帯・紐・ゴムの利用等さまざまな方法が考えられる。

これらは、適切な力で絞められなかったり、クランプの取り付け箇所がなかったりと土器の形態によっても左右される。そして、しばしば粘着テープで固定している接合現場を見かけるが、これは著しく土器表面を傷める方法である。ましてや今回は、彩色が浅鉢の内、外面に残っているのだから、粘着テープを土器表面に貼り付けるわけにはいかない。そこで、短時間で固まる合成樹脂（エポキシアクリレート樹脂）を矯正と固定に利用することにした。この樹脂は土器胎土に染み込まない粘度で、硬化剤を使用せず紫外線を照射することにより数秒で硬化する。この固定材を施す箇所は、接合主材のセルロース系接着剤が実用強度に達した後、容易に取り外せ、器面を汚損しないような接合部分の断面に限定し使用した。また、この樹脂はとても硬度が高く容易に削れないことから、接合部に残すことが、文化財の修理理念にそぐわないと考え、接合作業終了後、除去した。（註1）

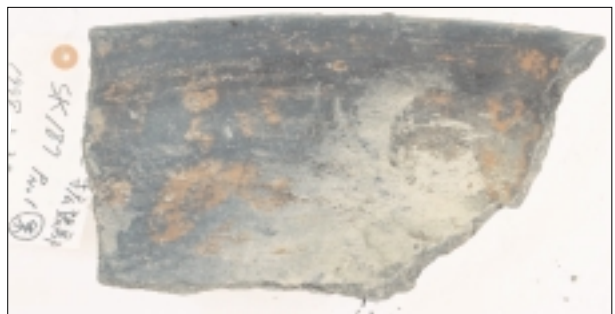
上記固定方法で、極力歪みを矯正したが、今回の浅鉢は、2点とも出土時からひび割れていた部分などかなり歪みがあり、特に底部の歪みはどうしても解消できず、この数mmほどの「ずれ」はこのまま復元した。



泥の付着状況187号土壌出土土器



泥の付着状況187号土壌出土土器



187号土壌出土土器片内側  
彩色が残っている。

## 2. 復元

器形・文様・接合部分（亀裂）は、遺存部分を参考に全体の形状を考慮しつつ、違和感のないように復元した。復元材料はエポキシ樹脂を使用した。

将来、再度の修理の必要性ができれば、容易に除去でき、修復作業前の状態に戻せるように処置する、という基本方針にしたがい修復材料は、比較的容易に除去できるものが選択されるが、展示の為などの移動時に簡単に壊れてしまつては困る。

石膏は、手に入りやすく使用方法も比較的簡単、再修理時に除去もできるので現在土器の復元に多く使用されているが、複製品の為のかたどり材として利用される材料だけに、離形性に優れ、移動時のちょっとした振動で土器と離れてしまうこともしばしばである。それから作業時に土器表面の小さな穴の中に付着し、実際の姿よりもかなり白っぽくなっている土器が展示されているのをみかける。筆者はこのような土器の修理を多数してきたが、石膏の付着した白っぽさをクリーニングするのはとても時間のかかる作業であり完全な除去は困難である。

石膏より丈夫でしかも作業性の良い材料として、近年合成樹脂が利用されている。合成樹脂使用の利点は、パティ状で粘土のように盛り付け、木材のように木工器具で切削でき、強度もある程度調製できる点であろう。

除去する際は、石膏ほど簡単では無いが、はずした跡の資料の痛みは石膏と同程度のようにみうけられる。薄い土器、もろい土器、接点の磨耗した土器、などは、合成樹脂の利用価値は高いと思われる。

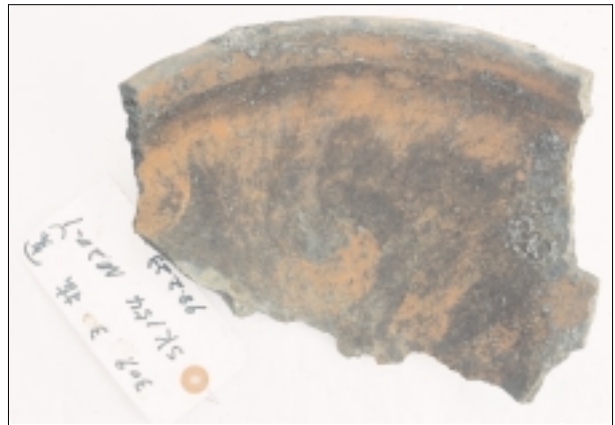
問題点は、合成樹脂の汚れ等を除去するのに有機溶剤を使い、危険物を取り扱ううえで誰でも容易に使用できない。さらに、衛生面にも気を配る必要がある。現在筆者は土器修復に使用している合成樹脂を十年以上使用しているが、稀にアレルギー反応で皮膚障害を起こす人がいる。環境ホルモンを含む合成樹脂もあり注意する必要がある。（註<sup>2</sup>）

これらの欠点を考慮しつつ注意して合成樹脂を使用した。

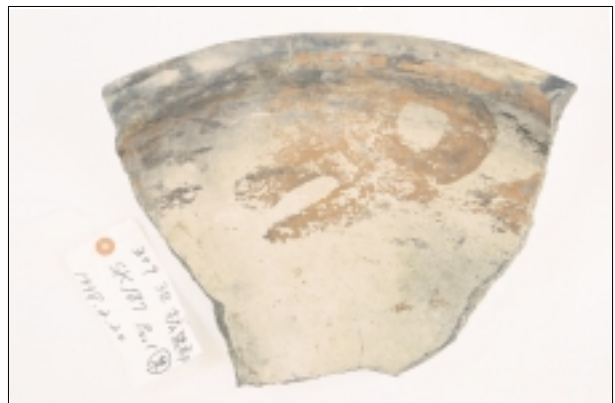
## 3. 彩色

彩色は、アクリル絵の具を使用した。埋蔵文化財の復元は、どの時点で復元するか、すなわち土器の製作された時点（今回は縄文中期）、使用され破損した後、廃棄（埋納）時に復元する場合と、出土時（現在）の欠損部のみを復元する場合などがあり、土器をどの時点に戻すかによって当然仕上がりが違ってくる。（註<sup>3</sup> 本資料にはベンガラ（科学分析済み。213頁からの別項参照）による彩色が施されているが、一部は埋蔵環境などによって剥落したと考えられる。

彩色を劣化前の状態に復元すると、資料の土器表面が修復材料（塗料）で覆われることになり、資料を壊すことになる。劣化前の状況を復元するには、複製による復元方法もあり、復元後の活用方法（展示方法など）を含めた、様々な角度からの検討が必要と考える。



154号土壇出土土器片内側  
赤と黒の彩色が残っている。  
文様がある。



187号土壇出土土器片内側  
赤と黒の彩色が残っている。  
文様がある。

今回は近距離で観察すると、復元部が判るような仕上がりだが、復元部が容易に判別でき、同時に復元部と現存部の一体感があり美しい仕上がりというのが土器修復の彩色仕上げの理想と考えているが、現在研究中である。

おわりに

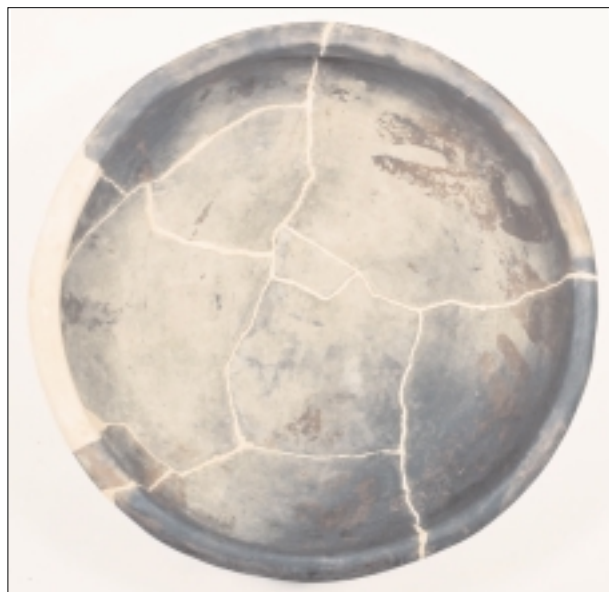
今回処理した彩色のある土器片は、破片数134点という量であった。一遺跡から出土した彩色のある土器片の量としては全国的に多いのか、少ないのか調査不足で定かでないが、これだけの量の彩色土器片が出土しているのにかかわらず、復元できる現存率の高い土器はわずかに2点のみと少ない印象である。

さらに今回復元した土器の欠損部は口縁のほんの一部だけであり、そこだけがなぜ失われたのか、はたして自然に欠損したのか。

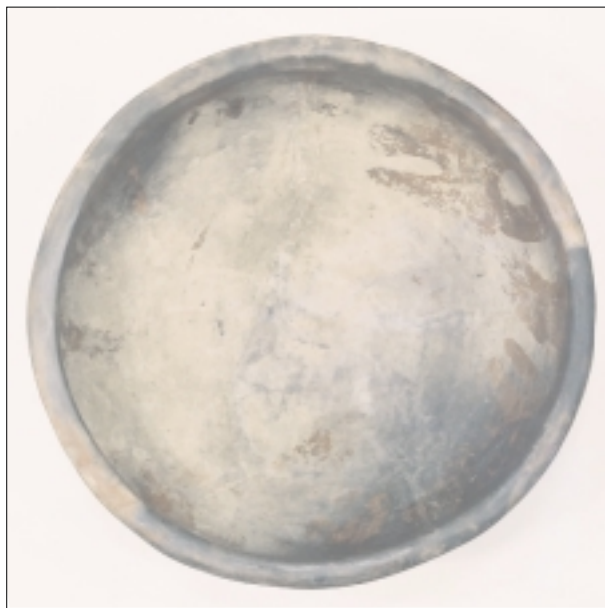
復元できなかった他の彩色土器片の多くが口縁部であることから、今回復元した土器も他の多くの土器片のように埋納時に口縁の一部を故意に打ち欠き他の土坑に埋めたり、住居に持ち帰ったりしたのではないだろうか。筆者が復元にかかった土器で、高崎市と距離もさほど遠くない北橋村の道訓前遺跡JP-67号土坑出土の土器は<sup>(註4)</sup>、同じく縄文中期の土器だが、二つある突起の片方が本体の出土した土坑とは別の住居址から出土した。同じく道訓前の土器で、JP-216号土坑出土の土器は<sup>(註5)</sup>、ほぼ完形だが、4単位の突起の一つと胴部の一部、底部のみ欠損している。そして底部の一部がちがう場所で出土しており、故意に割り、別の場所へ移したことが指摘されている。このような扱いをされる土器は、前述北橋村の房谷戸遺跡にも例があり、土肥 孝・中束耕志・山口逸弘(1996)<sup>(註6)</sup>の論文で詳しく検討されている。そのなかで 完形のまま遺棄



187号土坑出土土器内側  
復元前



187号土坑出土土器内側  
仕上げ作業前明るい個所は復元部分



187号土坑出土土器内側  
復元後

突起を打ち欠いて遺棄      打ち欠いた突起のみを遺棄      紋様を剥して遺棄      胴部以上を打ち欠いて遺棄  
 (底部のみを遺棄)      底部を打ち欠いて遺棄      胴部以上底部を打ち欠いて遺棄      紋様で最も目立つ部分を  
 遺棄、と八種類の遺棄方法を指摘している。

今回保存処理した土器は、なぜ彩色がこれほど残ったのか他の遺跡の土器も本来彩り豊かであり、埋蔵中にその色が剥落してしまうのか、それともやはり彩色のある土器は祭祀に使う土器であり、特別な存在なのか、今後の調査に期待する。

なお、本稿を草するにあたり、北橘村歴史民俗資料館、北橘村教育委員会、高崎市教育委員会には、資料提供等の便宜を図っていただいた。記して感謝する。

表 2 接合と復元材

品 名	内 容
セメダインC	接合に使用 セルロース系接着剤
UVレジン XNR5403W	接合固定材 エポキシアクリレート樹脂
アラルダイト XN1264A/B	復元に使用 エポキシ樹脂
リキテックスアクリル絵の具	彩色に使用 アクリリックポリマーエマルジョン

## 註

1. 筆者はこの素材を10年以上使用しているが、今のところ重大な不適合は起きていない。石原道知 1998「大崎台遺跡出土土器の修復について」佐倉市教育委員会『大崎台遺跡発掘調査報告書』p5-p10
2. 石原道知 1999「土器の修復技術」東京大学原子力研究総合センター、総合研究博物館、埋蔵文化財調査室『第1回考古科学シンポジウム発表要旨』p109-p114
3. 石原道知・木村直子 2001.2「合成樹脂を使用した土器の補強、保存復元について」北橘村教育委員会『道訓前遺跡』p532-p536
4. 長谷川福次 2001.2「縄文時代中期中葉～後半の土壌(JP-67)」北橘村教育委員会『道訓前遺跡』p234-p237
5. 長谷川福次 2001.2「縄文時代中期中葉～後半の土壌(JP-216)」北橘村教育委員会『道訓前遺跡』p302-p308
6. 土肥 孝・中束耕志・山口逸弘 1996.3「紋様を剥された土器 - 縄文中期の土器廃絶例について - 」財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団『研究紀要13』p43-p70

## 参考文献

1. 石原道知 2001「武田先端知ビル地点出土の弥生土器修復と遺構の保存」同上『第3回考古科学シンポジウム発表要旨』pp.125-128
2. 今泉泰之、伊藤彰敏、石原道知 1993『瓦塔・瓦堂解体修復報告書』埼玉県教育委員会
3. 堀江武史「縄文土器の復原」「合成樹脂の諸問題」「土器の復原材料」文化財の造形保存Vol5～Vol8 1999～2000
4. 青木 豊 1985『博物館技術学』雄山閣出版株式会社
5. 中澤幸男 1996「遺物整理に於ける土器復元について」『十日町市教育委員会文化財課年報』
6. 徳永哲秀 1995「「土器復元」改良の試み - 形状記憶樹脂とエポキシ樹脂心材補強剤として - 」『長野県埋蔵文化財センター研究紀要4』
7. 比佐陽一郎 1997「埋蔵文化財の修復に関する一考察」『日本文化財科学会第14回大会研究発表要旨集』
8. 木沢直子 1997『創立三十周年記念誌』元興寺文化財研究所
9. 沢田正昭 1997 文化財保存科学ノート 近未来社





道訓前遺跡JP-67号土壙出土土器

右側の写真は突起をはずした所。取りはずし可能なように復元してある。

道訓前遺跡JP-216号土壙出土土器

底部とひとつの突起（写真では一番左の突起）の復元部はわかりやすく明るめの色で仕上げている。

撮影 堀越知道



187号土壙出土土器

復元後 全景



154号土壙出土土器

復元後 全景

### 第3節 高崎情報団地 遺跡出土の縄文式土器表面の赤彩顔料分析

(有)武蔵野文化財修復研究所 小泉 好延

高崎市情報団地 遺跡出土の縄文式土器表面に塗布された赤彩色顔料の分析を行った。その結果、顔料は弁柄（酸化第二鉄）であることが明らかとなった。試料名は187号土壇出土の彩色浅鉢である。

#### 分析方法

縄文土器や弥生式土器をはじめとして、古墳や寺院の壁画、絵画など多くの文化財に無機顔料が用いられている。しかし、土器の胎土や壁材表面の顔料は数マイクロメートルから100マイクロメートル程度の厚さに塗布されているに過ぎず、通常の非破壊分析に用いられているX線やガンマ線による分析では透過力が強いいため、下地と顔料材質が混在した分析となる。下地が木、漆や紙などを除き、表面に薄く塗布された顔料の非破壊分析は困難である。報告者は透過力の弱いベータ線を用いて、土器胎土の影響を受けない表面顔料の分析方法を開発した\*。本資料は土器表面に塗布された赤彩色顔料であり、通常の方法では胎土に含まれる鉄の影響を受けるため、この方法を使って分析を行った。使用したベータ線はCa-45から放出される250keV（最大エネルギー）、照射ビーム径3mmである。ベータ線照射によって得られる顔料材質からの特性X線検出にはCZT半導体検出器を用いた。



187号土壇出土の浅鉢 全景



187号土壇出土の浅鉢 側面

写真は復元中の写真ひび割れに合成樹脂を充填してある。

部分が分析個所。

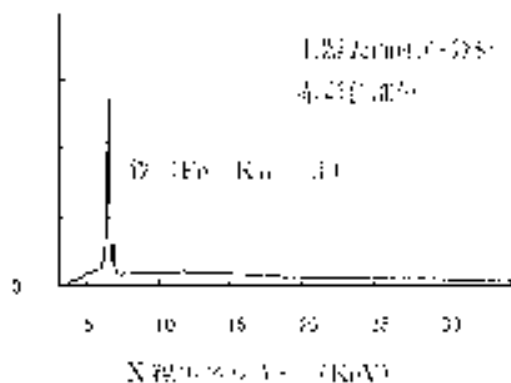


図1．土器表面の赤彩色顔料部  
縦軸：計数値

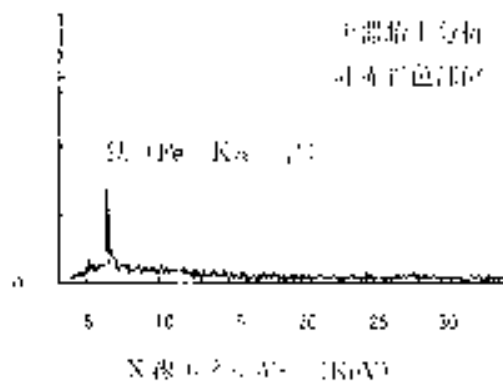


図2．土器胎土部位（非赤彩色部）  
縦軸：計数値

## 分析結果

土器表面の赤彩色顔料部と非顔料部をそれぞれ測定した。その結果、赤彩色部では大きな鉄（Fe）のピークが検出され、この顔料は弁柄（酸化第二鉄）であることが明らかとなった。なお、弁柄以外に赤彩色顔料として古代から水銀朱が用いられているが、分析では水銀（Hg）が検出されなかったことから、本資料には水銀朱が使用されていない。比較のために測定した非赤彩色部（胎土部）では、胎土中のFeピークが検出されたが、弁柄顔料が塗布された部位よりFeピークは小さい。図1に赤彩色部、図2に土器胎土部の測定結果を示す。

小泉好延、小林紘一、河野益近 「線を用いた古代顔料の非破壊分析」1998、第15回大会日本文化財科学会

